

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|------|------|-------------|---------------------------------|---------|--------------------|------|------|------|
| 科目名 | 日本美術史（1美デ） | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1670101 | 区分 | 選択 | | |
| 英文表記 | History of Japanese Art | | | 開講期 | 集中 | 開講形態 | 遠隔 | 単位数 | 4 | | |
| 担当教員 | 関根浩子（常勤） 中村玲（非常勤） | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川棟 芸術学部 非常勤講師室 | | | | | オフィス 授業時間前後の非常勤講師室、月 アワー 曜5限 | | | | | |
| メールアドレス | seki1963@art.sajo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 美術史(日本美術)の知識・理解 造形思考を滋養する美学の知識 教養的知識 仏教 浮世絵 キリシタン遺物 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | (前期分)先史時代から中世の日本の美術と文化を概観し、基本的な流れや様式の変遷を理解する。美術作品の画像や映像を鑑賞し、歴史的、文化的な事情を踏まえたうえで、それらの作品があらわれた背景や造形的な特質について学んでいく。また、当時の美術作品と、私たちが生きる現代社会との関わりなどについても検討していきたい。(後期分)近世に入ると、美術は上層の権力者のためのものから市井の人々を包括するものへと裾野が広がった。それに伴い美術の形式も多様化し、様式も時勢を反映して目まぐるしく展開していくこととなる。とくに「制作者」と「享受者」の関係性がより近くなったという点は、近世以降の日本美術に多大な影響を及ぼしたといえる。本講義では、日本における様式変遷とその背景を各時代の代表的な美術作品を通して概観するとともに、日本美術の特質についてその諸相を検討する。また作家たちがどのような姿勢で作品制作に向かっていたのかに注目することで、東洋、西洋、近現代の美術と文化にも理解を広げ、鑑賞にとどまらない制作のヒントを得るためのアプローチについても考えていきたい。なお、フィードバックとして、次回の講義の冒頭等で適宜補足説明を行う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 東洋美術史、美術概論、西洋美術史など | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。) | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE 記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 自分の造形活動がどのような歴史的な文脈の上に成り立つものかを理解することができる。時代による様式の変遷、美術の特徴を理解することができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 芸術活動の制作上の技法を支える造形的な思考を形作るための知識を身に付けることができる。日本美術の代表的な作品・作家についての知識を身につけることができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | 人文科学分野について、基礎的な理解ができる。日本美術についての基礎的な知識を鑑賞の際に役立てることができる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 45 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する。 毎回資料を配布する。 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | すぐわかる日本の絵画 東京美術 守屋正彦 日本美術館 小学館 青柳正規、他 カラー版 日本美術史 美術出版社 辻惟雄監修 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | <p>図書館などで美術全集などの書籍を閲覧し、基礎知識を取得しておくことが望ましい。本講義は、美術史に関する演習や特論を受講する上での基礎科目であり、受講後は関心をもった分野について、より深い理解につなげるための自主的な学びの継続が期待される。</p> |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | <p>①時代による様式の変遷を理解する ②おのおのの時代の美術の特徴を把握する ③日本美術の代表的な作品・作家についての知識を身につける ④日本美術についての基礎的な知識を鑑賞の際に役立てることができる</p> |

毎回パワーポイントによるスライドを使用するため、必要に応じて筆記すること。試験は授業プリントの持ち込み可なので、適宜メモをとり内容の理解に努めること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|--|--------------|--|-------|
| 1回 | テーマ | イントロダクション・先史時代の美術 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 日本美術史という学問や、授業の進め方等について説明を行う。縄文時代から弥生時代の美術を概観する。 | 講義 | | |
| 2回 | テーマ | 古墳壁画と副葬品 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 主に九州地方に所在する古墳を中心に、権力者を祀るために描かれた壁画や、さまざまな副葬品について紹介する。 | 講義 | | |
| 3回 | テーマ | 仏教絵画と古代寺院 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 飛鳥時代に朝鮮半島から伝来した仏教絵画と、法隆寺などの古代寺院および伽藍について解説する。 | 講義 | | |
| 4回 | テーマ | 正倉院宝物 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 奈良時代の聖武天皇の遺愛品であり、国際色豊かな正倉院宝物を鑑賞する。 | 講義 | | |
| 5回 | テーマ | 密教美術 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 平安時代前期に、密教の展開とともに誕生した絵画、彫刻などについて説明する。 | 講義 | | |
| 6回 | テーマ | 浄土教美術・垂迹美術 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 平安時代後期の浄土信仰に伴って生まれた美術を概観する。神像彫刻に代表される、垂迹美術について学習する。 | 講義 | | |
| 7回 | テーマ | 王朝文化と物語絵 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 平安時代後期までにあられた、王朝文化を背景とした「源氏物語絵巻」のほか、さまざまな絵巻物について学ぶ。美術作品にさらに親しみを持ってもらうため、絵巻の複製品を用いた取り扱い実習も行う。 | 講義 | | |
| 8回 | テーマ | 慶派の彫刻 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 鎌倉時代を代表する、蓮慶や快慶らの仏教彫刻について講義する。 | 講義 | | |
| 9回 | テーマ | 肖像画 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 鎌倉時代の武家文化の台頭を背景に描かれた肖像画について紹介する。美術作品にさらに親しみを持ってもらうため、掛軸の複製品を用いた取り扱い実習も行う。 | 講義 | | |
| 10回 | テーマ | 禅宗と水墨画 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 鎌倉時代に伝来した、禅宗に関するさまざまな美術、特に水墨画について解説する。 | 講義 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---|--------------|--|-------|
| 11回 | テーマ | 土佐派とやまと絵 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 室町時代を中心に菅絃絵所を支配した土佐派によるやまと絵について講じる。 | 講義 | | |
| 12回 | テーマ | 障壁画と城郭建築 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 安土桃山時代の天下人が好み、彼らの住まいを装飾した大画面の障壁画や、城郭建築の構造について紹介する。 | 講義 | | |
| 13回 | テーマ | 狩野派 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 室町時代以降に活躍し、日本絵画史上、最大の流派となり御用絵師の頂点に立った狩野派について学ぶ。 | 講義 | | |
| 14回 | テーマ | 戦国武将たちの装い・南蛮美術 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 安土桃山時代を中心に、戦国武将たちが戦の場で好んだ衣装や具足などの独特な造形を鑑賞する。ヨーロッパ文化の影響を受け、九州地方に大いに関連する南蛮美術について学ぶ。 | 講義 | | |
| 15回 | テーマ | まとめ・ディスカッション・試験 | 遠隔 | 配布するプリントを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 講義や実習のまとめを行う。これまでに学んだ日本美術についての興味や関心、魅力に関するディスカッションをし、試験を実施する。 | 講義 | | |
| 16回 | テーマ | イントロダクション 桃山～江戸時代初期の美術 | 遠隔 | アップしたテキスト・スライド資料を予習、復習する。 | 45 |
| | 内容 | 天下人の造形「城郭」「障壁画」 | 講義 | | |
| 17回 | テーマ | 桃山～江戸時代初期の美術 | 遠隔 | アップしたテキスト・スライドを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 天下人の造形「王雲意匠」「苦典と数寄」 | 講義 | | |
| 18回 | テーマ | 桃山～江戸時代初期の美術 | 遠隔 | アップしたテキスト・スライドを予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 「都市の風俗」(洛中洛外図、歌舞伎・遊軍・遊樂図屏風) | 講義 | | |
| 19回 | テーマ | 桃山～江戸時代初期の美術 | 遠隔 | アップしたテキスト・スライド資料を予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 「都市の風俗」(南蛮屏風、初期洋風画) | 講義 | | |
| 20回 | テーマ | 桃山～江戸時代初期の美術 | 遠隔 | アップしたテキスト・スライド資料を予習、復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 「都市の風俗」初期洋風画「聖像」(キリシタン美術) | 講義 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-------------------------|--------------|--|-------|
| 21回 | テーマ | 江戸時代中期・後期の美術Ⅰ | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 狩野派・琳派・その他の画派 | | | |
| 22回 | テーマ | 江戸時代中期・後期の美術Ⅱ | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 文人画 | | | |
| 23回 | テーマ | 江戸時代中・後期の美術Ⅱ | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 写生画 | | | |
| 24回 | テーマ | 江戸時代中・後期の美術 | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 浮世絵(初期) | | | |
| 25回 | テーマ | 江戸時代中・後期の美術 | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 浮世絵(中・後期) | | | |
| 26回 | テーマ | 江戸時代中・後期の美術 | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 浮世絵(後期) | | | |
| 27回 | テーマ | 江戸時代中・後期の美術 | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 工芸(漆工・陶磁) | | | |
| 28回 | テーマ | 近代(明治初期) | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習し、質問に答えられるようにしておくとともに、図書館等を利用して参考書を自主的に参照すること。 | 60 |
| | 内容 | 混乱の時代 | | | |
| 29回 | テーマ | 近代(明治～大正) | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習する。定期試験に備え、16回目以降の復習をする。 | 120 |
| | 内容 | 秩序を求めて、新しき創造の時代 | | | |
| 30回 | テーマ | 現代Ⅱ | 遠隔 講義 | アップしたテキスト・スライドを予習・復習する。定期試験に備え、16回目以降の復習をする。 | 180 |
| | 内容 | 戦後の日本美術の多様な展開(岡本太郎を中心に) | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|----------------|--------------|-------------|-------|
| 31回 | テーマ | 定期試験 | | | |
| | 内容 | 後期分(16~30回)の試験 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|------|------|-------------|--------------------|------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 西洋美術史(1美デ) | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1670201 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | History of Western Art | | | 開講期 | 通年 | 開講形態 | 遠隔双方向型 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 永田 郁 | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川実習棟(北キャンパス) | | | | | オフィス アワー 水曜日 5限 | | | | |
| メールアドレス | mahabala @art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | 美術史 西洋絵画 芸術鑑賞 教養的知識 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 本講義はルネサンスから20世紀の西洋美術の歴史(動向)について、ルネサンス以降、西洋人にとって「美」となるものがどのように捉えられ、その造形美を生み出してきたか、その変遷を巡り、日本と東洋の動向をも比較しながら理解していく。また、芸術作品の中に潜む理念や概念、表現の傾向、作者の意図作風、さらにはその芸術作品が生み出された社会状況も考慮しながら、西洋美術の視覚イメージの諸相から世界のものの方、考え方を読み解いていく。また、本講義の視覚的思考法を通じて汎用的な観察力・審美眼を養う。作品カード①②の結果を9の授業で、また夏休みの課題(展評・書評)については21の総括の際にフィードバックする。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | すべての芸術学部開講科目に関連する。教職課程科目(必修) | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】・・・美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。) | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 各回の内容を通して、芸術に関する基礎的な知識・ものの見方・考え方を理解できる。 | | | | | | | | |
| | ② | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 45 | 0 | 15 | 0 | 15 | 10 | 15 | 100 | |
| 教科書 | 特に指定しない。 | | | | | | | | | |
| 参考書 | アート&デザイン表現史1800s-2000s 左右社 松田行正 イメージを読むー美術史入門ー 筑摩書房 若桑みどり 美術を書く 東京美術 S.パーネット著/竹内順一監訳 補新装カラー版 西洋美術史 美術出版社 高階秀爾監修 反アート入門 幻冬社 樫木野衣 | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 特になし。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 出席レポート(Webclass)、レポート類(展覧会レビュー(1点)、書評(2点)等で評価する。前期・後期各100点の平均を出してそれを成績とする。 |

通年の授業であるので、前期・後期を通じて受講しないと単位取得できません(履修登録は前期のみ)。単位取得の条件は①出席(出席レポート)3分の2以上②展評・書評を提出していること。対面授業とするが、新型コロナウイルス感染状況により遠隔授業に切り替える。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|--------------------|--------------|--------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 総論 | 対面 | 1の配布資料の復習。 | 180 |
| | 内容 | 美術史とは?(第1、2回) | | | |
| 2回 | テーマ | 美術史入門 | 対面 | 2の配布資料の復習。 | 90 |
| | 内容 | 美術史を記述する。(第3回) | | | |
| 3回 | テーマ | ものを見るとは1 | 対面 | 3の配布資料の復習。 | 180 |
| | 内容 | 視覚イメージを読むi(第4、5回) | | | |
| 4回 | テーマ | ものを見るとは2 | 対面 | 課題:木を簡略して描く。 | 180 |
| | 内容 | 視覚イメージを読むii(第6、7回) | | | |
| 5回 | テーマ | 初期ルネサンス美術1 | 対面 | 5の配布資料の復習。作品カード作成① | 180 |
| | 内容 | 建築・彫刻(第8、9回) | | | |
| 6回 | テーマ | 初期ルネサンス美術2 | 対面 | 作品カード作成① | 180 |
| | 内容 | 絵画(第10、11回) | | | |
| 7回 | テーマ | 盛期ルネサンス美術 | 対面 | 7の配布資料の復習。作品カード作成② | 180 |
| | 内容 | 建築・絵画・彫刻(第12、13回) | | | |
| 8回 | テーマ | マニエリスム | 対面 | 8の配布資料の復習。 | 90 |
| | 内容 | 建築・絵画・彫刻(第14回) | | | |
| 9回 | テーマ | 前期総括 | 対面 | 定期試験 | 90 |
| | 内容 | 前期定期試験(第15回) | | | |
| 10回 | テーマ | 15世紀の北方美術・北方ルネサンス | 対面 | 10の配布資料の復習。 | 180 |
| | 内容 | 建築・絵画・彫刻(第16、17回) | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------------------------------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | バロック① | 対面 | 11の配布資料の復習。 | 180 |
| | 内容 | イタリヤ・オランダ（南ネーデルラント）（第18,19回） | | | |
| 12回 | テーマ | バロック② | 対面 | 12の配布資料の復習。 | 180 |
| | 内容 | オランダ・スペイン・フランス（イギリス・ドイツ）（第20,21回） | | | |
| 13回 | テーマ | ロココの美術 | 対面 | 13の配布資料の復習。 | 90 |
| | 内容 | 18世紀の美術（第22回） | | | |
| 14回 | テーマ | 近代美術とは？ | 対面 | 14の配布資料の復習。 | 90 |
| | 内容 | 「神が死んだ」の巻（第23回） | | | |
| 15回 | テーマ | 近代1 | 対面 | 15の配布資料の復習。 | 90 |
| | 内容 | 新古典主義と革命期の美術（第24回） | | | |
| 16回 | テーマ | 近代2 | 対面 | 16の配布資料の復習。 | 90 |
| | 内容 | ブレ・ロマン主義／ロマン主義（フランス）（第25回） | | | |
| 17回 | テーマ | 近代2 | 対面 | テーマ特集の復習。 | 180 |
| | 内容 | テーマ特集：絵画と鉄道／ロマン主義（イギリスなど）（第26,27回） | | | |
| 18回 | テーマ | 近代3 | 対面 | 18の配布資料の復習。 | 90 |
| | 内容 | 写実主義とその時代（第28回） | | | |
| 19回 | テーマ | 近代4 | 対面 | 18の配布資料の復習。 | 90 |
| | 内容 | 写真の時代（第29回） | | | |
| 20回 | テーマ | 近代5 | 対面 | 20の配布資料の復習。 | 90 |
| | 内容 | 印象主義・象徴主義・後期印象主義、そして世紀末芸術へ（第30回） | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|--------------|--------------|-------------------|--------|
| 21回 | テーマ | 総括 | 対面 | 後期定期試験 目標到達レポート作成 | 90 |
| | 内容 | 後期定期試験(第31回) | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|------|------|-------------|------------------|---------|-----------------|------|------|------|
| 科目名 | 西洋彫刻論（1美デ） | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1670301 | 区分 | 選択 | | |
| 英文表記 | History of Western Sculpture | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 遠隔 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 関根 浩子 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川棟101 | | | | | オフィス アワー 金曜3限 | | | | | |
| メールアドレス | seki1963@art.soyo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 美術(特に彫刻)史の知識・理解 造形志向を滋養する美学の知識 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>本学科の人材育成の目標の一つ芸術・文化における多様な基礎的知識と教養を身に付けることがあるが、中でも本科目は教職を目指す学生の必修科目となっている。本科目では古代ギリシア・ローマから近代までの西洋彫刻の流れを代表的な作家や作例を挙げて解説しながら概説する。今年度も、古代ギリシアからバロックまでの彫刻の流れを代表的な作例や作家を挙げて概説して基礎的知識を養うとともに、彫刻の主な展開場所であった建築に関しても基礎的な知識の習得や用語の習熟を目指す。さらに学生が美術教諭を目指すことを想定し、将来の鑑賞教育授業や制作活動の示唆になるよう、西洋彫刻と日本や東洋、現代の彫刻や建築、文化との関わりなどにも言及して理解を広げていきたい。さらに中間試験後、結果をフィードバックし、後半の授業や最終定期試験に備えられるようにする。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 西洋美術史、美術領域論Ⅱ ほか | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…必修【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 西洋の彫刻の歴史や、自身の造形活動がどのような歴史的文脈の上に成り立っているのかを理解できる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 芸術活動の制作上の技法を支える造形的な思考を形作るための知識を身に付けることができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 45 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で配布する。 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 世界美術大全集 第3～5、第7～13巻、15、16巻 小学館 大系世界の美術 第5、6、10、12～14、16巻 学習研究社 世界の彫刻 1000の偉業 二玄社 ジョゼフ・マンカ他 杉山昌夫訳 彫刻—その制作過程と原理— 中央公論美術出版社 ルドルフ・ウィットコウアー 池上忠治監訳 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 特になし |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 成績の評価は、小(中間)試験(35点)と定期試験(40点)、その他(15点)、ポートフォリオ(10点)によって行い、合計60点以上を合格とする。 |

中間試験と定期試験の両方を必ず受ける必要がある。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|--------------------------------|--------------|-------------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 古代 | 遠隔 | 1回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | オリエンテーション導入、古代ギリシアの彫刻 | 講義 | | |
| 2回 | テーマ | 古代 | 遠隔 | 2回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 古代ギリシア/アルカイック | 講義 | | |
| 3回 | テーマ | 古代 | 遠隔 | 3回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 古代ギリシア/アルカイック～クラシック(厳格様式期) | 講義 | | |
| 4回 | テーマ | 古代 | 遠隔 | 4回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 古代ギリシア/クラシック(厳格様式期～盛期クラシック様式期) | 講義 | | |
| 5回 | テーマ | 古代 | 遠隔 | 5回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 古代ギリシア/盛期クラシック(バルテノン神殿) | 講義 | | |
| 6回 | テーマ | 古代 | 遠隔 | 6回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 古代ギリシア/後期クラシック | 講義 | | |
| 7回 | テーマ | 古代 | 遠隔 | 7回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 古代ギリシア/ヘレニズム彫刻 | 講義 | | |
| 8回 | テーマ | 中間試験 | 遠隔 | 1～7回目の復習 | 180 |
| | 内容 | 古代ギリシア/ヘレニズム彫刻/中間試験 | 試験・講義 | | |
| 9回 | テーマ | 中世 | 遠隔 | フィードバックした点について再復習、8回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 中間試験のフィードバック/初期キリスト教美術における彫刻 | 講義 | | |
| 10回 | テーマ | 中世 | 遠隔 | 9回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | ロマネスク彫刻 | 講義 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|--|--------------|------------------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 中世 | 遠隔 | 10回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | ゴシック彫刻 | 講義 | | |
| 12回 | テーマ | ルネサンス | 遠隔 | 11回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 初期ルネサンス(ライオンツェ洗礼堂門扉ゴシック) | 講義 | | |
| 13回 | テーマ | ルネサンス | 遠隔 | 12回目の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 初期ルネサンスの彫刻家～ミケランジェロ | 講義 | | |
| 14回 | テーマ | 盛期ルネサンス～バロック | 遠隔 | 13回の配布資料の復習 | 40 |
| | 内容 | 盛期ルネサンス～バロック(ミケランジェロとその追随者、バロックのベルニニーまで) | 講義 | | |
| 15回 | テーマ | 近代フランス | 遠隔 | 14回の配布資料の復習、定期試験準備(9～15回の復習) | 180 |
| | 内容 | ロダンとガミーユ・クローデルの彫刻 | 講義 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|----------------------------------|------|------|-------------|----|-------------------|--|------|------|------|
| 科目名 | 基礎デッサンⅠ(1美) | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1670401 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | basic drawingⅠ | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 中村賢次 佐藤和歌子 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A416 A412 | | | | | | オフィス アワー 木曜日午後 | | | | |
| メールアドレス | ken1214@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 形、空間 構図 色、グラデーション、量感 制作姿勢 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 二次元空間の基本要素である点、線、面、またはその連続により生じる形体の持つ動勢、機能について考え、観察を通してその視覚表現の方法の可能性をデッサン・スケッチを通して探る。自然物に見出される緊張感や躍動感、バランスの美しさといった様々な美的要素をデッサンの量と枚数を通して追及することを目的とする。これは現代の幅広い美術活動の根とも言うべき、大切な勉強である。制作途中、随時互いに鑑賞する時間を持ち合い(講評会)、お互いの表現の意図・形体・色彩・材質感の理解を深める。このような一連のプロセスを辿ることで様々な分野で役立つような企画力、計画性、コミュニケーション力を養う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本画実習 洋画実習 アートイラストレーション実習 3Dアート実習 共通絵画実習Ⅰ、Ⅱ 共通立体実習 基礎デッサンⅡ | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…必修【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | モチーフの理解:観察力を身に付けることができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | コンポジションの理解:画面の構図が理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | グラデーションの理解:明暗・陰影(調子)の理解ができるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | 集中力と持続力を身に付けることができるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業にて指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業にて指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 専門科目(専門基礎・コース選択必修科目)全般 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 課題毎の講評会での発表 提出作品の総合的評価 ポートフォリオでの自己課題発見 出席及び制作姿勢 |

デッサン用具一式(紙・描画材等)を課題ごとに準備する 授業ごとに目的・目標を明確にして制作に取り組む

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------------|--------------|-----------------|-------|
| 1回 | テーマ | 授業への理解 | 講義 | 授業の目的を理解する | 240 |
| | 内容 | 授業内容・目的及び準備物等の説明 | | | |
| 2回 | テーマ | 観察による対象の理解 | 実習 | 自身が描く対象への理解を深める | 240 |
| | 内容 | 季節の植物のスケッチ | | | |
| 3回 | テーマ | | 実習 | | 240 |
| | 内容 | 季節の植物のスケッチ | | | |
| 4回 | テーマ | | 実習 | | 240 |
| | 内容 | 季節の植物のスケッチ | | | |
| 5回 | テーマ | | 実習 | 課題発見 | 240 |
| | 内容 | 講評会 | | | |
| 6回 | テーマ | | 実習 | 自身が描く対象への理解を深める | 240 |
| | 内容 | 風景スケッチ | | | |
| 7回 | テーマ | | 実習 | | 240 |
| | 内容 | 風景スケッチ | | | |
| 8回 | テーマ | | 実習 | | 240 |
| | 内容 | 風景スケッチ | | | |
| 9回 | テーマ | | 実習 | 課題発見 | 240 |
| | 内容 | 講評会 | | | |
| 10回 | テーマ | | 実習 | 自身が描く対象への理解を深める | 240 |
| | 内容 | 「石」の細密デッサン | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | 「石」の細密デッサン | 実習 | | 240 |
| | 内容 | | | | |
| 12回 | テーマ | 「石」の細密デッサン | 実習 | | 240 |
| | 内容 | | | | |
| 13回 | テーマ | 「石」の細密デッサン | 実習 | | 240 |
| | 内容 | | | | |
| 14回 | テーマ | 「石」の細密デッサン | 実習 | | 240 |
| | 内容 | | | | |
| 15回 | テーマ | 「石」の細密デッサン | 実習 | | 240 |
| | 内容 | | | | |
| 16回 | テーマ | 講評会 | 屋外実習 | 課題発見 | 240 |
| | 内容 | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|---|------|------|-----------------|----|-------------------|----------|------|------|------|
| 科目名 | コンピュータ基礎実習（1美） | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1670601 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Computer basic training | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 柳田 也寿志 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | | オフィス アワー 月曜1・2 | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | ポートフォリオ マネジメント コンピュータグラフィック プレゼンテーション リテラシー アカデミックスキル 自己管理能力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 本実習では、アーティストが対外的に作品を見せる手段として用いる、「ポートフォリオ」を制作し、同時にコンピュータによる画像処理、コンピュータグラフィックソフトの基礎的な活用方法を学び、今後の作家活動への足掛かりとしながら、コンピュータによる様々な作業を行える力を養う物である。また、昨今では紙媒体の「ポートフォリオ」と同じく、web上で閲覧可能な「ポートフォリオサイト」も見られる。本実習の最終的な取り組みとして、いつでもどこでも閲覧可能な「ポートフォリオサイト」を制作し、今後の作品をそこへ集積し、卒業後に様々な場面で使用できるようすることを目指す物である。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | コンピュータ演習 | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…必修【科目区分】…文部科学省令で定める科目【各科目に含めることが必要な事項】…情報機器の操作 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | コンピュータを使用する知識を持ち、必要な使い方ができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | ポートフォリオについての知識を持ち、自己のポートフォリオに活かすことができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | 画像処理やグラフィックについて理解し、ポートフォリオに活かすことができる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | ポートフォリオやサイトを作成するにあたり、計画を立て計画通りに進めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポート フォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 10 | 20 | 50 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 授業内で使用するアプリケーションを使用しておく。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1.レポートによる評価(20点) 授業内容に関するレポートは、授業を真剣に受けて理解することができるか計ものであり、同時にコンピュータを使用した文書作成が見やすくできていることも評価する。2.成果発表による評価(20点) ポートフォリオやポートフォリオサイトをプレゼンテーションし、自己の表現を鑑賞者に効果的に伝える姿勢を持ち、積極的に発表できていることを評価する。3.作品による評価(30点) 実際に完成したポートフォリオについて、効果的に画像や文章を利用しているか、鑑賞者が見やすく興味をもてる仕様にできていることを評価する 4.ポートフォリオによる評価(10点) 大学ポータルにて、授業の振り返りを客観的に行い、アンケートに答えている。 |

作品のポートフォリオは、卒業後も非常に重要な意味を持っています。特に、今後のクリエイティブ業界において、これまでどのような作品を制作し、どのような技術を持っているのかを瞬時に理解してもらうためにもポートフォリオは効果的です。また、ファイルを持ち歩くことは簡単ではないですが、ポートフォリオサイトを持つことで、名刺にQRコードを載せるなど、URLをLINEやメールで送るなどすることで即座に作品を閲覧可能とすることができます。作家として活動する人や、クリエイティブな業界に進む人も重要な課題となりますので積極的に本科目を行ってください。

学修上の
注意
(SBOs)

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|--|--------------|---------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 本授業の説明 | 実習 | | |
| 2回 | テーマ | 紙媒体のポートフォリオ制作 | 対面 | 作品画像の収集 | 180 |
| | 内容 | 資料作成の基本として、Microsoft Word・Excelの使い方 | 実習 | | |
| 3回 | テーマ | 紙媒体のポートフォリオ制作 | 対面 | 作品画像の収集 | 180 |
| | 内容 | 作品画像を紙媒体へと転換し、必要な情報を選別することを理解し、自己のポートフォリオを制作する。作品画像の加工・編集・レイアウトと、補足するための文章制作を行う。 | 実習 | | |
| 4回 | テーマ | 紙媒体のポートフォリオ制作 | 対面 | ポートフォリオのイメージを固めておく。 | 180 |
| | 内容 | 作品画像を紙媒体へと転換し、必要な情報を選別することを理解し、自己のポートフォリオを制作する。作品画像の加工・編集・レイアウトと、補足するための文章制作を行う。 | 実習 | | |
| 5回 | テーマ | 紙媒体のポートフォリオ制作 | 対面 | ポートフォリオのイメージを固めておく。 | 180 |
| | 内容 | 作品画像を紙媒体へと転換し、必要な情報を選別することを理解し、自己のポートフォリオを制作する。作品画像の加工・編集・レイアウトと、補足するための文章制作を行う。 | 実習 | | |
| 6回 | テーマ | 紙媒体のポートフォリオ制作 | 対面 | ポートフォリオのイメージを固めておく。 | 180 |
| | 内容 | 作品画像を紙媒体へと転換し、必要な情報を選別することを理解し、自己のポートフォリオを制作する。作品画像の加工・編集・レイアウトと、補足するための文章制作を行う。 | 実習 | | |
| 7回 | テーマ | 紙媒体のポートフォリオ制作 | 対面 | ポートフォリオのイメージを固めておく。 | 180 |
| | 内容 | 作品画像を紙媒体へと転換し、必要な情報を選別することを理解し、自己のポートフォリオを制作する。作品画像の加工・編集・レイアウトと、補足するための文章制作を行う。 | 実習 | | |
| 8回 | テーマ | 紙媒体のポートフォリオ制作 | 対面 | ポートフォリオのイメージを固めておく。 | 180 |
| | 内容 | 作品画像を紙媒体へと転換し、必要な情報を選別することを理解し、自己のポートフォリオを制作する。作品画像の加工・編集・レイアウトと、補足するための文章制作を行う。ポートフォリオを相互に鑑賞し合い、振り返る。 | 実習 | | |
| 9回 | テーマ | ポートフォリオサイト制作 | 対面 | ポートフォリオのイメージを固めておく。 | 180 |
| | 内容 | フリーホームページ制作サイトを使い、自身のポートフォリオサイトを制作する。様々なサイトを事例として調査し、どのような情報が必要かを選別し自身のサイトに活かす。 | 実習 | | |
| 10回 | テーマ | ポートフォリオサイト制作 | 対面 | ポートフォリオのイメージを固めておく。 | 180 |
| | 内容 | フリーホームページ制作サイトを使い、自身のポートフォリオサイトを制作する。様々なサイトを事例として調査し、どのような情報が必要かを選別し自身のサイトに活かす。 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---|--------------|---------------------|-------|
| 11回 | テーマ | ポートフォリオサイト制作 | 対面 | ポートフォリオのイメージを固めておく。 | 180 |
| | 内容 | フリーホームページ制作サイトを使い、自身のポートフォリオサイトを制作する。様々なサイトを事例として調査し、どのような情報が必要かを選別し自身のサイトに活かす。 | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | ポートフォリオサイト制作 | 対面 | ポートフォリオのイメージを固めておく。 | 180 |
| | 内容 | フリーホームページ制作サイトを使い、自身のポートフォリオサイトを制作する。様々なサイトを事例として調査し、どのような情報が必要かを選別し自身のサイトに活かす。 | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | プレゼンテーション動画の作成 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | PowerPoint, keynoteを利用してプレゼンテーションを作成する。プレゼンテーションの動画を作成し発表する。 | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | プレゼンテーション動画の作成 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | PowerPoint, keynoteを利用してプレゼンテーションを作成する。プレゼンテーションの動画を作成し発表する。 | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | プレゼンテーション発表 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | PowerPoint, keynoteを利用してプレゼンテーションを作成する。プレゼンテーションの動画を作成し発表する。 | 実習 | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------------------------|------|------|-------------|-------------------|------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 日本画実習ⅠA*1(1美) | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1670901 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Japanese PaintingⅠA | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 8 | |
| 担当教員 | 中村 賢次(実務経験) 田淵 恵理(非常勤) | | | | | | | | | |
| 研究室 | A416 | | | | | オフィス アワー 水曜昼休み | | | | |
| メールアドレス | ken1214@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | 日本画の画材 日本画の技法 制作姿勢 制作スキル 描写力 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 日本画には特有の用具・材料があり、基本的にその原材料の全てがこの日本国内の自然から採取することが出来る。その使用方法に於いては季節や時間、気候等と深く関連があり、この授業では前職における文化財保存修復の実務の経験を活かし、伝統的な画材に関する基礎知識と技術修得において授業の中で学生たちに教授している。また、日本画制作に於いて最も基本的、且つ重要である写生に重点を置いて、描くことの基本姿勢や日本特有の空間に対する意識や感性としての美意識、自然観を身に付ける。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | 日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画) | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 日本画の画材の名称及び原材料を理解できるようになる。 | | | | | | | | |
| | ② | 日本画の画材の基本的な使用方法を理解することができる | | | | | | | | |
| | ③ | 日常的に制作に取り組む姿勢を養うことができる | | | | | | | | |
| | ④ | 描たくめに必要な集中力を身に付けることができるようになる | | | | | | | | |
| | ⑤ | 基本的な描写力を身に付けることができる | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 10 | 100 | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 高校美術までの日本画に関する基礎知識 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 日常的に作品を前に口頭での質疑を行うことによって理解度を確認。一作品ごとに合評・採点を行う。 |

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------------------|--------------|------------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 日本画の基礎知識 | | 日本画の定義について自分なりの考えを探る | 720 |
| | 内容 | 現在に至るまでの日本画の歴史的背景を理解する | | | |
| 2回 | テーマ | 日本画の画材 | | 実際の画材に触れ、その用途について確認する | 720 |
| | 内容 | 名称・原材料・基本的な使用方法を理解する | | | |
| 3回 | テーマ | 筍 | | 鉛筆の使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 鉛筆による細密写生 | | | |
| 4回 | テーマ | 筍 | | 鉛筆の使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 鉛筆による細密写生 | | | |
| 5回 | テーマ | 筍 | | 鉛筆の使用方法を検討する 自身の作品を客観的に観察・評価 | 720 |
| | 内容 | 鉛筆による細密写生及び合評・採点 | | | |
| 6回 | テーマ | ジャガイモとネギ | | 画材の特性と使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 和紙(美濃紙)を水貼りし鉛筆で描写 | | | |
| 7回 | テーマ | ジャガイモとネギ | | 画材の特性と使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 墨入れ(骨描き及び濃淡)と地塗り | | | |
| 8回 | テーマ | ジャガイモとネギ | | 画材の特性と使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 細密写生(水干絵具) | | | |
| 9回 | テーマ | ジャガイモとネギ | | 画材の特性と使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 細密写生(水干絵具) | | | |
| 10回 | テーマ | 合評及び採点 | | 自身の作品を客観的に観察・評価 | 720 |
| | 内容 | 客観的に自身の作品を捉える | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------------|--------------|-----------------|-------|
| 11回 | テーマ | スルメ | 実習 | 画材の特性と使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 和紙(美濃紙)を水貼りし鉛筆で描 | | | |
| 12回 | テーマ | スルメ | 実習 | 画材の特性と使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 墨入れ(膏描き及び濃淡)と地塗り | | | |
| 13回 | テーマ | スルメ | 実習 | 画材の特性と使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 細密描写(水干絵具) | | | |
| 14回 | テーマ | スルメ | 実習 | 画材の特性と使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 細密描写(水干絵具) | | | |
| 15回 | テーマ | スルメ | 実習 | 画材の特性と使用方法を検討する | 720 |
| | 内容 | 細密描写(水干絵具) | | | |
| 16回 | テーマ | 合評及び採点 | 講義・実習 | 自身の作品を客観的に観察・評価 | 180 |
| | 内容 | 客観的に自身の作品を捉える | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|------|------|-------------|----------------------------------|--|------|------|------|
| 科目名 | 洋画実習ⅠA*2(1美) | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1671101 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Oil PaintingⅠA | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 8 | |
| 担当教員 | 下城賢一 熊谷有展 中川百合恵(非常勤) | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館D201 | | | | | オフィス 月1・2 水1・2 木1・2 金1・ アワー 2 | | | | |
| メールアドレス | shimojo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | 基礎造形 油彩表現 基礎デッサン 人物・人体デッサン 静物デッサン | | | | | | | | | |
| 授業概要 | この科目は平面絵画形式にかかわる基礎造形力を身につけ、その特性を生かすために必要な実力を獲得することを主眼において組まれている。適切な観察によるモチーフの理解(観察力)・再現性の高い描写力(技術)・美しい画面に不可欠な構成力と構図を組む力(構成力)。この3点を軸に具体的な課題に取り組んでもらう。さらには2年次における当該科目の連続性を考慮した必須項目として、モチーフにおける形体や色彩、固有色についても学ぶ。この課題によって完成した作品から以下の評価基準を基に観察力・技術・構成力のポイントにしぼり評価採点する。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | 洋画実習ⅠB、洋画実習ⅡA、洋画実習ⅡB、洋画実習ⅢA、洋画実習ⅢB、洋画実習ⅣA、洋画実習ⅣB | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 平面領域(洋画)において必要なデッサン力(写生力)や基礎的な技法を身につけている | | | | | | | | |
| | ② | 観察力:モチーフ(対象物)を客観的に観察できる | | | | | | | | |
| | ③ | 再現性:立体物としてのモチーフを平面画面に置き換える(描く)ことができる | | | | | | | | |
| | ④ | 構成力:平面絵画における画面の構図・構成に関するデッサン技能を駆使できる | | | | | | | | |
| | ⑤ | 芸術活動の制作上の技法を支える造形的な思考を形作るための知識を身につけている | | | | | | | | |
| | ⑥ | それぞれの専門領域をより深化させ、高度な制作に向かうための学びを自ら率先してできる | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 | 50 | 10 | 10 | 100 | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 基礎デッサン、西洋美術史、日本美術史、絵画技法論 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1.成果発表(作品講評会)において適切な評価、指導、感想を交えて次回の作品制作へと発展させることができる。(10点×3回 計40点) 2.出題された課題と、設定されたモチーフのテーマを良く理解し、完成度、課題への理解度、表現力、取り組む姿勢などを総合評価する。(50点) 3ポートフォリオによる振り返り(10点) |

課題制作に必要な画材を事前に用意する。実技・技法・画材などの専門用語と知識を習得する。それぞれが成果発表にて得た知識や自らの問題点をノートまとめ復習すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------|--------------|-------------------|-------|
| 1回 | テーマ | デッサン | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 自画像 | | | |
| 2回 | テーマ | デッサン | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 自画像 | | | |
| 3回 | テーマ | デッサン | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 自画像 | | | |
| 4回 | テーマ | デッサン | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 自画像 | | | |
| 5回 | テーマ | デッサン | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 自画像 | | | |
| 6回 | テーマ | デッサン | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 静物デッサンⅠ | | | |
| 7回 | テーマ | 講評 | 実習 講評 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 静物デッサンⅠ | | | |
| 8回 | テーマ | デッサン | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 静物デッサンⅠ | | | |
| 9回 | テーマ | デッサン | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 静物デッサンⅠ | | | |
| 10回 | テーマ | デッサン | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 静物デッサンⅠ | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------|--------------|-------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 講評 | | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 人物デッサンⅠ | | | |
| 12回 | テーマ | デッサン | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 人物デッサンⅠ | | | |
| 13回 | テーマ | デッサン | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 人物デッサンⅠ | | | |
| 14回 | テーマ | デッサン | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 人物デッサンⅠ | | | |
| 15回 | テーマ | デッサン | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 人物デッサンⅠ | | | |
| 16回 | テーマ | 講評 | | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 人物デッサンⅠ | | | |
| 17回 | テーマ | デッサン | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 人物デッサンⅠ | | | |
| 18回 | テーマ | 油彩画 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 19回 | テーマ | 油彩画 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 20回 | テーマ | 油彩画 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-------|--------------|-------------------|-------|
| 21回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 22回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 23回 | テーマ | 油彩画 | 実習 講評 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 24回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 25回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 26回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 27回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 28回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 29回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |
| 30回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |
| | 内容 | 静物/油彩 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|-----------|-----------------------|--------------|-------------------|-------|
| 31回 | テーマ 内容 | 油彩画 静物/油彩 | 実習 | 講評に基づいた今後の自身の課題確認 | 180 |

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|------|------|-------------|-------------------|---|------|------|------|
| 科目名 | アート・イラストレーション実習ⅠA*3(1美) | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1671301 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Art・illustration | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 6 | |
| 担当教員 | 柳田也寿志 高倉万優(非常勤) | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | オフィス アワー 水曜1・2 | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | イラストレーション クロッキー デッサン デジタルクロッキー 細密描画 基礎造形力の三要素 専門分野における基礎造形力 専門分野における基礎造形力 専門分野における基礎造形力 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 1年時のカリキュラムでは平面表現に関わる基礎造形力を理解し、身につける事を念頭に置いた課題を出題している。特に、観察力、構成力、描画力を含む基礎造形力が今後の土台となる為、その点に着目しそれぞれの力を養うことを目的としている。また、デジタルツール演習の進行と連携し、デジタルツールを用いたデジタル表現と紙、鉛筆などのアナログ表現とを相互に関連させた基礎造形力を養う。制作課題の結果は、講評会時など適宜口頭によるフィードバックをこなしていく。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | アート・イラストレーション実習ⅠB、アート・イラストレーション実習ⅡA、アート・イラストレーション実習ⅡB、アート・イラストレーション実習ⅢA、アート・イラストレーション実習ⅢB、アート・イラストレーション実習ⅠB、デジタルツール演習Ⅰ、デジタルツール演習Ⅱ、アート・イラストレーションメディア演習Ⅰ、アート・イラストレーションメディア演習Ⅱ | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 絵画的な基礎造形力を理解し、目的を持ってクロッキーやデッサンを行うことができる。 | | | | | | | | |
| | ② | 絵画的な基礎造形力を身につけ、イラストレーション制作に活かすことができる。 | | | | | | | | |
| | ③ | デジタルツールのイラストレーションソフトを駆使し、実習で身につけた基礎造形力をデジタル表現でも発揮できる。 | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | |
| 教科書 | 必要ないです | | | | | | | | | |
| 参考書 | 必要ないです | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 基礎デッサン、デジタル演習Ⅰ、デジタル演習Ⅱ、アート・イラストレーションⅠB |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1. 作品講評会において自己の作品の評価と問題点を理解し、次回の制作に活かす姿勢を持つことができている。(20点) 2. 出題されている課題を理解しようという姿勢があり、完成度の高い作品が制作できている。(60点) 3. ポートフォリオによる振り返り(10点) 4. 授業において、課題に対し積極的に行い、創意工夫を持って制作に挑む姿勢を持っている。(10点) |

作品制作準備を十分に行い、出席することで制作時間を確保できるように心がけてください。

学修上の
注意
(SBOs)

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|--|--------------|----------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 本授業の計画・説明 | 実習 | | |
| 2回 | テーマ | クロッキー | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 鉛筆・ペジ・パスデルなどの画材を使用したクロッキーとデジタルツールを使ったクロッキーを行う。 | 実習 | | |
| 3回 | テーマ | 細密デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 本単元の計画・説明 植物をモチーフに、観察と細密描写を行う。 | 実習 | | |
| 4回 | テーマ | 細密デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 植物をモチーフに、観察と細密描写を行なう。 | 実習 | | |
| 5回 | テーマ | 細密デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 植物をモチーフに、観察と細密描写を行なう。 | 実習 | | |
| 6回 | テーマ | 細密デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 植物をモチーフに、観察と細密描写を行なう。 | 実習 | | |
| 7回 | テーマ | 細密デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 植物をモチーフに、観察と細密描写を行なう。 | 実習 | | |
| 8回 | テーマ | 細密デッサン・デジタルツールを使ったグリザイユ表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 細密デッサンをデジタルに取り込み、デジタルグリザイユ表現を行う。 | 実習 | | |
| 9回 | テーマ | 細密デッサン・デジタルツールを使ったグリザイユ表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 細密デッサンをデジタルに取り込み、デジタルグリザイユ表現を行う。作品の講評 | 実習 | | |
| 10回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モチーフデッサン制作の説明 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-------------|--------------|----------------|-------|
| 11回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モチーフデッサン制作 | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モチーフデッサン制作 | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モチーフデッサン制作 | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モチーフデッサン制作 | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モチーフデッサン制作 | 実習 | | |
| 16回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モチーフデッサン制作 | 実習 | | |
| 17回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モチーフデッサン制作 | 実習 | | |
| 18回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モチーフデッサン制作 | 実習 | | |
| 19回 | テーマ | 構成デッサン | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品の講評・アドバイス | 実習 | | |
| 20回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 写真模写の説明 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--------------------------|--------------|----------------|-------|
| 21回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 果物を撮影した写真をデジタルツールで模写を行う。 | 実習 | | |
| 22回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 果物を撮影した写真をデジタルツールで模写を行う。 | 実習 | | |
| 23回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 果物を撮影した写真をデジタルツールで模写を行う。 | 実習 | | |
| 24回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 果物を撮影した写真をデジタルツールで模写を行う。 | 実習 | | |
| 25回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 果物を撮影した写真をデジタルツールで模写を行う。 | 実習 | | |
| 26回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 果物を撮影した写真をデジタルツールで模写を行う。 | 実習 | | |
| 27回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 果物を撮影した写真をデジタルツールで模写を行う。 | 実習 | | |
| 28回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 果物を撮影した写真をデジタルツールで模写を行う。 | 実習 | | |
| 29回 | テーマ | 果物写真模写 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品の講評・アドバイス | 実習 | | |
| 30回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------------------|--------------|----------------|-------|
| 31回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 32回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 33回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 34回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 35回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 36回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 37回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 38回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 39回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 40回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|----------------------|--------------|----------------|-------|
| 41回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 42回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 43回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 44回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | ペン画の計画・説明 | 実習 | | |
| 45回 | テーマ | ペン画による細密イラストレーション表現 | 対面 | 前期の振り返り | 180 |
| | 内容 | 作品の講評・アドバイス 前期を通じた講評 | 実習 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|------|------|-------------|----|-------------------|---|-----|----|--|
| 科目名 | デジタルツール演習Ⅰ＊Ⅲ（Ⅰ美） | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1671401 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Digital tool exercises I | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面 | 単位数 | 2. | |
| 担当教員 | 柳田 也寿志 高倉 万優（非常勤） | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | | オフィス アワー 金曜1・2 | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | イラストレーション デジタルイラストレーション クリップスタジオペイント リテラシー 制作上の課題の発見・解決 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | デジタルツールを使用するための基礎技術、イラストレーション制作アプリの使用技術の理解やデジタルツールでの描画技術の向上を目指すと同時に、作品制作を行い実務的な技術を養う。制作課題の結果は、講評会時など適宜口頭によるフィードバックをこなっていく。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | アート・イラストレーション実習ⅠB、アート・イラストレーション実習ⅡA、アート・イラストレーション実習ⅡB、アート・イラストレーション実習ⅢA、アート・イラストレーション実習ⅢB、アート・イラストレーション実習ⅠB、デジタルツール演習Ⅰ、デジタルツール演習Ⅱ、アート・イラストレーションメディア演習Ⅰ、アート・イラストレーションメディア演習Ⅱ | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | デジタルツールの基礎的な使用技術を習得している。 | | | | | | | | | |
| | ② | イラストレーションアプリケーションの基礎的な使用技術を習得している。 | | | | | | | | | |
| | ③ | イラストレーションアプリの使用技術を習得し、作品制作に活用することができる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 基礎デッサン、アート・イラストレーション実習ⅠA・B |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1. 作品講評会において自己の作品の評価と問題点を理解し、次回の制作に活かす姿勢を持つことができている。(20点) 2. 出題されている課題を理解しようという姿勢があり、完成度の高い作品が制作できている。(60点) 3. ポートフォリオによる振り返り(10点) 4. 授業において、課題に対し積極的に行い、創意工夫を持って制作に挑む姿勢を持っている。(10点) |

作品制作準備を十分に行い、出席することで制作時間を確保できるように心がけてください。

学修上の
注意
(SBOs)

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|--|--------------|----------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 本授業の計画・説明 | | | |
| 2回 | テーマ | デジタルツールオペレーティング | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールであるipad内のイラストレーションアプリケーションの使い方を含めたイラストレーション制作を行う。 | | | |
| 3回 | テーマ | デジタルツールオペレーティング | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールであるipad内のイラストレーションアプリケーションの使い方を含めたイラストレーション制作を行う。 | | | |
| 4回 | テーマ | デジタルツールによる写真模写と擬人化によるキャラクター制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールとイラストアプリを使用し、花の写真模写を行う。 | | | |
| 5回 | テーマ | デジタルツールによる写真模写と擬人化によるキャラクター制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールとイラストアプリを使用し、花の写真模写を行う。 | | | |
| 6回 | テーマ | デジタルツールによる写真模写と擬人化によるキャラクター制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールとイラストアプリを使用し、花の写真模写を行う。 | | | |
| 7回 | テーマ | デジタルツールによる写真模写と擬人化によるキャラクター制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールとイラストアプリを使用し、花の写真模写を行う。 | | | |
| 8回 | テーマ | デジタルツールによる写真模写と擬人化によるキャラクター制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールとイラストアプリを使用し、花の写真模写を行う。作品の講評 | | | |
| 9回 | テーマ | 感情や状況を表現したイラストレーション制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 擬人化で制作したキャラクターを使用し、LINEスタンプを制作する。 | | | |
| 10回 | テーマ | 感情や状況を表現したイラストレーション制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 擬人化で制作したキャラクターを使用し、LINEスタンプを制作する。 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|--|--------------|----------------|-------|
| 11回 | テーマ | 感情や状況を表現したイラストレーション制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 擬人化で制作したキャラクターを使用し、LINEスタンプを制作する。 | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | 感情や状況を表現したイラストレーション制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 擬人化で制作したキャラクターを使用し、LINEスタンプを制作する。 | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | 感情や状況を表現したイラストレーション制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 擬人化で制作したキャラクターを使用し、LINEスタンプを制作する。 | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | 感情や状況を表現したイラストレーション制作 | 対面 | 内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 擬人化で制作したキャラクターを使用し、LINEスタンプを制作する。 | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | 感情や状況を表現したイラストレーション制作 | 対面 | 前期の振り返り | 180 |
| | 内容 | 擬人化で制作したキャラクターを使用し、LINEスタンプを制作する。作品の講評 | 実習 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-----------------------------|------|------|-------------|-------------------|---------------|---|------|------|------|
| 科目名 | 3Dアート実習IA*4(1美) | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1671701 | 区分 | 必修 | | |
| 英文表記 | 3 dimensional art work 1A | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | フレンド授業(対面+遠隔) | 単位数 | 6 | | |
| 担当教員 | 清島 浩徳(実務家教員) 涌井 晃(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L A-216 | | | | | オフィス アワー 月曜 5限 | | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 3DCG 3Dモデリング 彫刻 キャラクター造形 専門分野における基礎造形力 制作上の課題 の発見・解決力 基礎造形力の三要素 リテラシー 専門領域から派生した造形 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 3DCGソフトのZbrushの基本的な使用方法を修得するとともに、粘土による制作を通して確かな立体造形能力を身につける。実際の素材を用いた実習では、写実的な表現を試みることで、基礎的な立体造形力を身につけることを目指す。量感や奥行きといった、立体ならではの感覚を高め、粘土素材を自由に駆使できるようになるには、多くの修練が必要である。頭像制作は、人物の表情や人格までも写し出す、大変高度な技量が求められる。実際の素材に触れることで学習した造形感覚を3DCGの作品で制作する。キャラクター造形に重要な人体の頭部の基本的な構造を理解しながら、写実的な表現とキャラクター表現の両方の表現技術を獲得する。何度も繰り返し制作を続けながら、表現者としての感性、観察眼を養う。授業以外の時間で自主的に制作を深め、毎日制作する習慣を身につけることで、表現者としての資質の向上を目指す。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 西洋彫刻論 西洋美術史 3Dアート実習IB 立体造形技法実習A 立体造形技法実習B | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | モデルを観察して、特徴を把握できるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 粘土の性質を知って塑像の制作過程を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 塊や面などについて理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | 3DCG制作の基礎的な操作方法を理解する | | | | | | | | | |
| | ⑤ | 3DCGで動物表現、Room表現ができるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | 適宜指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 基礎科目:西洋美術史Ⅰ、西洋美術史Ⅱ、美術領域論Ⅱ(立体) |
| 実務経験のある 教員 | 清島浩徳 |
| 評価明細 基準 | ・デッサンの的確さ ・3DCGソフトオペレーションの基本的なスキルの獲得 ・塑像制作の基礎的な技法と立体造形感覚の獲得 ・準備、作品管理 ・制作への真摯な取り組み ・作品を高度化するための自主的な制作 |

・3DCGの基本的な技術の獲得だけでなく、自分なりの手法・解決策を見つけ出す意欲を持ち続ける。・制作に入る前の準備、制作後の片付け、さらに作品管理をすることも制作に必至。・実材での立体造形感覚を身につけるために粘土を常に最適な状態にし、またモデルへの配慮も忘れず授業に臨むという、基本的なマナーも身につける。観察眼を伸ばすためのデッサンや制作を毎日するペースを身につけ、表現者としての自覚を持つことが大切である。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--------------------------|--------------|-------------|-------|
| 1回 | テーマ | Zbrush Basic1 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 基本的なモデリング手順の説明【課題1「頭蓋骨」】 | | | |
| 2回 | テーマ | Zbrush Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 各種ブラシの使い方【課題1「頭蓋骨」】 | | | |
| 3回 | テーマ | Zbrush Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | モデルの分割と扱い方【課題1「頭蓋骨」】 | | | |
| 4回 | テーマ | Zbrush Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 解像度とリトポロジー【課題1「頭蓋骨」】 | | | |
| 5回 | テーマ | Zbrush Basic1 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 着色、完成【課題1「頭蓋骨」】 | | | |
| 6回 | テーマ | Zbrush Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2「動物のモデリング」】 | | | |
| 7回 | テーマ | Zbrush Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2「動物のモデリング」】 | | | |
| 8回 | テーマ | Zbrush Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2「動物のモデリング」】 | | | |
| 9回 | テーマ | Zbrush Basic2 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2「動物のモデリング」】 | | | |
| 10回 | テーマ | Zbrush Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2「動物のモデリング」】 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--------------------------|--------------|--------------|-------|
| 11回 | テーマ | Zbrush Basic3 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | {課題3-Room-} | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | Zbrush Basic3 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | {課題3-Room-} | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | Zbrush Basic3 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | {課題3-Room-} | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | Zbrush Basic3 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | {課題3-Room-} | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | Zbrush Basic3 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | {課題3-Room-} | 実習 | | |
| 16回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 頭像制作概説・粘土による頭像作品制作の準備 | 講義 | | |
| 17回 | テーマ | 頭像デッサン基礎 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | デッサン基礎学習とポイントの基本について学習する | 実習 | | |
| 18回 | テーマ | 塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 粘土によるリジゴの模刻を通じて量感の表現を試みる | 実習 | | |
| 19回 | テーマ | 頭部の人体解剖学基礎 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 頭部の人体解剖学についての基礎学習をする。 | 実習 | | |
| 20回 | テーマ | 塑像制作基礎2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 粘土によるスカル制作 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|----------------------------|--------------|--------------|-------|
| 21回 | テーマ | 女性頭像制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | あらゆる角度からモデルをデッサンして構造を理解する。 | | | |
| 22回 | テーマ | 女性頭像制作2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水粘土を用いて、頭像の荒付けをする。 | | | |
| 23回 | テーマ | 女性頭像制作3 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水粘土による頭像制作を進める。 | | | |
| 24回 | テーマ | 女性頭像制作4 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水粘土による頭像制作を進める。 | | | |
| 25回 | テーマ | 女性頭像制作5 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 頭像の仕上げを行い、講評・相互評価を行う。 | | | |
| 26回 | テーマ | 男性頭像制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | あらゆる角度からモデルをデッサンして構造を理解する。 | | | |
| 27回 | テーマ | 男性頭像制作2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水粘土を用いて、頭像の荒付けをする。 | | | |
| 28回 | テーマ | 男性頭像制作3 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水粘土による頭像制作を進める。 | | | |
| 29回 | テーマ | 男性頭像制作4 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水粘土による頭像制作を進める。 | | | |
| 30回 | テーマ | 男性頭像制作5 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 頭像の仕上げを行い、講評・相互評価を行う。 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---|--------------|--------------|-------|
| 31回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 頭像制作概説・3DCGによる頭像作品制作の準備 | | | |
| 32回 | テーマ | 頭像デッサン基礎 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | タブレットを用いたデッサン基礎学習とポードレートの基本 | | | |
| 33回 | テーマ | 頭部の人体解剖学基礎 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 3DCGによる頭部の人体解剖学の基礎学習 | | | |
| 34回 | テーマ | 3DCG制作基礎2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrushによる写真を参考に3DCGによるモデリング制作 | | | |
| 35回 | テーマ | 頭像制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | あらゆる角度からモデルを観察し、タブレットを用いてデッサンして構造を理解する。 | | | |
| 36回 | テーマ | 頭像制作2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrush coreを用いて、頭像の荒付けをする。 | | | |
| 37回 | テーマ | 頭像制作3 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrush coreによる頭像制作を進める。 | | | |
| 38回 | テーマ | 頭像制作4 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrush coreによる頭像制作を進める。 | | | |
| 39回 | テーマ | 講評・相互評価 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 頭像の仕上げを行い、講評・相互評価を行う。 | | | |
| 40回 | テーマ | キャラクター頭部制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Photoshopでアイデアスケッチを描く。 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-------------------------------|--------------|--------------|-------|
| 41回 | テーマ | キャラクター頭部制作2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrush coreを用いて、頭像の荒付けをする。 | 実習 | | |
| 42回 | テーマ | キャラクター頭部制作3 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrush coreによるキャラクター頭像制作を進める。 | 実習 | | |
| 43回 | テーマ | キャラクター頭部制作4 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrush coreによるキャラクター頭像制作を進める。 | 実習 | | |
| 44回 | テーマ | キャラクター頭部制作5 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrush coreによるキャラクター頭像制作を進める。 | 実習 | | |
| 45回 | テーマ | 講評・相互評価 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | キャラクター頭像の仕上げを行い、講評・相互評価を行う。 | 実習 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---------------------------------|------|------|-------------|------|-------------------------|---------------------------|------|------|------|
| 科目名 | ゲームデザイン演習*4 (1美) | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 1671801 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Game design exercises | | | | 開講期 | 前期集中 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 井上 幸喜 (非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館 A-101 | | | | | | オフィス アワー 月～金の5時限目終了後 | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | ゲームキャラクターデザイン 3DCG Photoshop Illustrator 教養的知識 論理力 キャリアデザイン能力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | デジタルコンテンツの世界観や登場人物の性格をアイコンとして表現すると共に、ゲーム表 現配慮したデザイン作成。コンテンツにおけるキャラクターデザインの手法を学びます。また、マーチャンダイズにおけるキャラクタービジネスについても学習します。毎回課題作成 と評価を行います。授業内でのソフト操作は中級レベルを学習します。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 3Dアート実習ⅠA,ⅠB 3Dアート実習ⅡA,ⅡB | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択 【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術) 【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | ゲームキャラクターの基本的な考え方を身につける。 | | | | | | | | | |
| | ② | キャラクターディレクションシートの作り方の基礎を身につける。 | | | | | | | | | |
| | ③ | クライアント課題に合わせたデザイン創造と提案能力を身につける。 | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 | 50 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | 適宜指示します | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示します | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|-------------------------|
| 予備知識 | Photoshop,Zbrushの基礎操作 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 作品と制作に対する姿勢を総合的に判断し評価する |

学修上の
注意
(SBOs)

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|--|--------------|----------------------------------|--------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
| 1回 | テーマ | オリエンテーション | 対面授業 | 事後/課題作成(2時間) | 90 |
| | 内容 | キャラクターデザイン作成の準備 プレゼンテーションの準備 | | | |
| 2回 | テーマ | キャラクターデザインの現在 | 対面授業 | 事前/プレゼンテーション準備(30分) 事後/課題作成(2時間) | 90 |
| | 内容 | キャラクターデザイン作成の準備とIllustratorによるキャラクター作画 | | | |
| 3回 | テーマ | キャラクターデザイン基礎 | 対面授業 | 事後/課題作成(2時間) | 90 |
| | 内容 | 自分についてキャラクターで表現 | | | |
| 4回 | テーマ | キャラクターデザイン作成(1) | 対面授業 | 事前/プレゼンテーション準備(30分) 事後/課題作成(2時間) | 90 |
| | 内容 | キャラクターマテリアルについてデザイン出し | | | |
| 5回 | テーマ | キャラクターデザイン作成(2) | 対面授業 | 事前/プレゼンテーション準備(30分) 事後/課題作成(2時間) | 90 |
| | 内容 | 主人公キャラクターの作成と中間講評 | | | |
| 6回 | テーマ | キャラクターデザイン作成(3) | 対面授業 | 事前/プレゼンテーション準備(30分) 事後/課題作成(2時間) | 90 |
| | 内容 | ライバルキャラクターの作成 | | | |
| 7回 | テーマ | キャラクターデザイン作成(4) | 対面授業 | 事後/課題作成(4時間) | 90 |
| | 内容 | キャラクターシート制作と中間講評 | | | |
| 8回 | テーマ | キャラクター設定基礎 | 対面授業 | 事後/課題作成(4時間) | 90 |
| | 内容 | 設定資料の準備と心得 | | | |
| 9回 | テーマ | ゲームキャラクターの作成(1) | 対面授業 | 事後/課題作成(4時間) | 90 |
| | 内容 | ドット絵作成の基本技能 | | | |
| 10回 | テーマ | ゲームキャラクターの作成(2) | 対面授業 | 事後/課題作成(4時間) | 90 |
| | 内容 | 2Dキャラクターの作成 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|-------------------------|--------------|---------------------|--------|
| 11回 | テーマ | ゲームキャラクターの作成(3) | 対面授業 | 事後/課題作成(4時間) | 90 |
| | 内容 | 3Dポリゴンキャラクターの作成 | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | ゲームキャラクターシート作成 (1) | 対面授業 | 事後/課題作成(4時間) | 90 |
| | 内容 | ゲーム作成向けキャラクター仕様書作成 仕様作成 | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | ゲームキャラクターシート作成 (2) | 対面授業 | 事後/課題作成(4時間) | 90 |
| | 内容 | ゲーム作成向けキャラクター仕様書作成 設定決定 | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | ゲームキャラクターシート作成 (3) | 対面授業 | 事後/最終課題作成(2時間) | 90 |
| | 内容 | ゲーム作成向けキャラクター仕様書作成 完成 | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | 発表と講評 | 対面授業 | 事前/プレゼンテーション準備(2時間) | 90 |
| | 内容 | 全体総括と個別評価 振り返り | 講義 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--|------|------|-------------|-------------------|---------|--|------|------|------|
| 科目名 | 東洋美術史（2美デ） | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1672201 | 区分 | 選必 | | |
| 英文表記 | History of Asian Art | | | 開講期 | 通年 | 開講形態 | 遠隔双方向型 | 単位数 | 4 | | |
| 担当教員 | 永田 郁 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸術学部棟A208 | | | | | オフィス アワー 水曜日5限 | | | | | |
| メールアドレス | mahabala @art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | アジア美術史 インド文化 仏教美術 ヒンドゥー教美術 教養的知識 論理力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>ギリシア・ローマの古典的技法とキリスト教の信仰を基盤とした西洋文明に対して、アジアの文明は必ずしも一体であり一貫しているというわけではなく、大きく3つの文明圏に分けて考えることができる。すなわち、一つは東アジア文明圏、一つは仏教・ヒンドゥー教を中心とするインド文明圏、そしてイスラムの信仰を核とする西アジア文明圏である。本講義は東洋、いわゆるアジアの中でも南アジア、特にインド美術を取り上げ、宗教美術（仏教・ヒンドゥー教など）を中心に講義していく。その際、我々が住む東アジア（中国・日本）の関係にも触れながら、古代のアジアの美術の様相について歴史的背景による表現形式の違い、民族や宗教の違いに留意して理解していく。また、アジアの文化や芸術に触れることで、異文化理解のための汎用的な観察力・洞察力を養う。本講義の課題や小テストに関しては適宜フィードバックを行う。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | <p>すべての芸術学部開講科目に関連する。特に日本美術史、西洋美術史、美術概論、教職課程科目（必修）</p> | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校美術）【各科目に含めることが必要な事項】・・・美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。） | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| 80 | ① | 各回の内容を通して、アジア芸術・文化に関する基礎的な知識・ものの見方・考え方を理解することができる。 | | | | | | | | | |
| 20 | ② | インドおよびアジアに仏像の様式を理解し、その違いを見分けることができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法（配点） | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表（口頭・実技） | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 70 | 20 | 0 | 0 | 10 | 0 | 100 | | |
| 教科書 | 特にテキストは使用しない。 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | <p>増補新装 カラー版東洋美術史 美術出版社 前田耕作監修 アジアの芸術史 造形篇II 朝鮮半島・西アジア・中央アジア・インド（芸術教養シリーズ4） 藝術学舎 金子典正編 インド文化事典 丸善出版 インド文化事典編集委員会 インド美術史 吉川弘文館 宮治昭 世界美術大全集 東洋編 1-13-15／中国、朝鮮半島、東南アジア、インド1、インド2・中央アジア 小学館</p> | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 特に予備知識は必要ないが、日頃アジアのニュースに関心を向けて貰いたい。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | WEBClassの前後期の出席レポート(小テスト、70点・前後期の平均点)とアジア地図(10点)およびアジア体験レポート(10点)、SOJOポートフォリオの学修到達度レポート10点で成績を出す。 |

通年の授業であるので、前期・後期を通じて受講しないと単位取得できません(履修登録は前期のみ)。単位修得の条件は①出席3分の2以上、②課題提出あるいは小テスト(Webclass)の点数が合計50点以上を満たしていること。対面授業とするが、新型コロナウイルスの感染状況により遠隔授業とする。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---|--------------|----------------------|------------|
| 1回 | テーマ | アジア、インドってどんなところ? | 遠隔(双方向) | アジア地図作成。 | 90(1) |
| | 内容 | アジア地図を作ろう。 | | | |
| 2回 | テーマ | インドってどんなところ? | 遠隔(双方向) | ヒンディー語で名前を書く。 | 180(3) |
| | 内容 | 其の2:インドの文学とヒンディー語 | | | |
| 3回 | テーマ | 付論:インド美術の曙 | 遠隔(双方向) | 3.の配布資料の復習。 | 90(4) |
| | 内容 | インダス文明 | | | |
| 4回 | テーマ | インド美術のはじまり | 遠隔(双方向) | 4.の配布資料の復習。 | 180(6) |
| | 内容 | マウリヤ朝の美術/民間信仰の造形 | | | |
| 5回 | テーマ | 仏教美術の開花① | 遠隔(双方向) | 5.の配布資料の復習。 | 90(7) |
| | 内容 | パールラット | | | |
| 6回 | テーマ | 仏教美術の開花② | 遠隔(双方向) | 6.の配布資料の復習。 | 90(8) |
| | 内容 | サニシチー | | | |
| 7回 | テーマ | クシャーーン朝の美術① | 遠隔(双方向) | 7.の配布資料の復習。 | 180(10) |
| | 内容 | ガシタニラ | | | |
| 8回 | テーマ | クシャーーン朝の美術② | 遠隔(双方向) | 8.の配布資料の復習。 | 90(11) |
| | 内容 | マトウラー | | | |
| 9回 | テーマ | 南インドの仏教美術①② | 遠隔(双方向) | 9.の配布資料の復習。 | 180(12-13) |
| | 内容 | ア馬拉ーヴァティ:チーガールジュナコシダ | | | |
| 10回 | テーマ | 展覧会あるいは寺社見学 | 遠隔(双方向) | 事前レポート/事後レポート 前期定期試験 | 180(14-15) |
| | 内容 | 展覧会あるいは寺社見学(2コマ分前期実施) 見学および展覧会レビュー 前期定期試験(第15回) | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|------------------------------------|---------------|-----------------------------|------------|
| 11回 | テーマ | グプタ朝の美術 | 遠隔(双方向) 講義 | 11.の配布資料の復習。 | 180(16-17) |
| | 内容 | 古典様式の仏像の成立 | | | |
| 12回 | テーマ | アジアと日本の仏たち | 遠隔(双方向) 講義 | アジアの仏像の復習。 | 180(18-19) |
| | 内容 | スリランカ、中央アジア、東南アジア、東アジア(中国・朝鮮半島)、日本 | | | |
| 13回 | テーマ | インドの石窟寺院:序 | 遠隔(双方向) 講義 | 13.の配布資料の復習。 | 180(20-21) |
| | 内容 | インドの石窟寺院とは? | | | |
| 14回 | テーマ | ヒンドゥー教美術の世界① | 遠隔(双方向) 講義 | 14.の配布資料の復習。 | 180(22-23) |
| | 内容 | 初期ヒンドゥー教美術(グプター朝)・シヴァ神の神話世界 | | | |
| 15回 | テーマ | ヒンドゥー教美術の世界② | 遠隔(双方向) 講義 | 15.の配布資料の復習。 | 180(24-25) |
| | 内容 | ヴァイシュナブ神の神話世界・女神その他・ジャイナ教の世界 | | | |
| 16回 | テーマ | ヒンドゥー教の石窟寺院 | 遠隔(双方向) 講義 | 16.の配布資料の復習。 | 90(26) |
| | 内容 | エレファンタ石窟・エローラ石窟(第21、29窟) | | | |
| 17回 | テーマ | インドの石彫寺院 | 遠隔(双方向) 講義 | 17.の配布資料の復習。石窟、石彫寺院理解度小テスト。 | 90(27) |
| | 内容 | 南インド、マニマニラプラムの世界遺産 | | | |
| 18回 | テーマ | 総括 | AL/PBL | 課題等の返却。 | 270(28~30) |
| | 内容 | アジアの美術・文化への理解 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-------------------|------|------|-------------|----|---------------------|---------|------|------|------|
| 科目名 | 色彩論演習(2美)B | | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1672401 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Seminar on theory of colors | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | ブレンド授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 永田和之(非常勤) 熊谷有展 柳田也寿志 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸学3F | | | | | | オフィス アワー 金曜日5時限目 | | | | |
| メールアドレス | kumagae@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 色彩論 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>私達の周りの環境は、色彩に満ちあふれている。そしてその色彩を通して、多くの情報が伝達されている。色彩は特に重要不可欠な要素の一つである。ここでは、平面作品の制作を通して、その作品における色彩の意味や必要性、重要性を学び、平面絵画における色彩の可能性をさぐる。また、色彩の基本的な特性、本質を理解させ、より良いかたちで色彩を活用していけるような手助けを目指したい。授業の中で適宜、作品講評会を行い作品上のアドバイスと評価を行う。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 実習 | | | |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p> | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 色彩の特性・本質を理解できる | | | | | | | | | |
| | ② | 色彩をより良く活用することができる | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | プリント、描画材料など | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 講義とそれらを踏まえての演習 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1 作品評価(70点) 2 ポートフォリオ(10点) 3 その他制作に関する姿勢など(20点) |

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|------------------|--------------|-----------------|-------|
| 1回 | テーマ | 色彩 | | 色彩の基本的特性について | 90 |
| | 内容 | 色彩とは何か 点描による演習 | | | |
| 2回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 3回 | テーマ | // | | 表色法 | 90 |
| | 内容 | 色の表し方 点描による演習 | | | |
| 4回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 5回 | テーマ | // | | 加法混色、減法混色、三原色など | 90 |
| | 内容 | 混色の原理と応用 点描による演習 | | | |
| 6回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 7回 | テーマ | // | | 刺激と色感覚 | 90 |
| | 内容 | 色彩の知覚的効果 点描による演習 | | | |
| 8回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 9回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 10回 | テーマ | // | | 色彩の感情効果 | 90 |
| | 内容 | 色彩の感情効果 点描による演習 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-----------------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 12回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 13回 | テーマ | // | | 色彩の調和 | 90 |
| | 内容 | 色彩の美的効果 点描による演習 | | | |
| 14回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 15回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-------------------|------|------|-------------|---------------------|---------|---------|------|------|------|
| 科目名 | 色彩論演習(2美)A | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1672402 | 区分 | 選択 | | |
| 英文表記 | Seminar on theory of colors | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | ブレンド授業 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 永田和之(非常勤) 熊谷有展 柳田也寿志 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸学3F | | | | | オフィス アワー 金曜日5時限目 | | | | | |
| メールアドレス | kumagae@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 色彩論 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>私達の周りの環境は、色彩に満ちあふれている。そしてその色彩を通して、多くの情報が伝達されている。色彩は特に重要不可欠な要素の一つである。ここでは、平面作品の制作を通して、その作品における色彩の意味や必要性、重要性を学び、平面絵画における色彩の可能性をさぐる。また、色彩の基本的な特性、本質を理解させ、より良いかたちで色彩を活用していけるような手助けを目指したい。授業の中で適宜、作品講評会を行い作品上のアドバイスと評価を行う。</p> | | | | | | | 関連科目 | | 実習 | |
| | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p> | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 色彩の特性・本質を理解できる | | | | | | | | | |
| | ② | 色彩をより良く活用することができる | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | プリント、描画材料など | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 講義とそれらを踏まえての演習 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1 作品評価(70点) 2 ポートフォリオ(10点) 3 その他制作に関する姿勢など(20点) |

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|------------------|--------------|-----------------|-------|
| 1回 | テーマ | 色彩 | | 色彩の基本的特性について | 90 |
| | 内容 | 色彩とは何か 点描による演習 | | | |
| 2回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 3回 | テーマ | // | | 表色法 | 90 |
| | 内容 | 色の表し方 点描による演習 | | | |
| 4回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 5回 | テーマ | // | | 加法混色、減法混色、三原色など | 90 |
| | 内容 | 混色の原理と応用 点描による演習 | | | |
| 6回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 7回 | テーマ | // | | 刺激と色感覚 | 90 |
| | 内容 | 色彩の知覚的効果 点描による演習 | | | |
| 8回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 9回 | テーマ | // | | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 10回 | テーマ | // | | 色彩の感情効果 | 90 |
| | 内容 | 色彩の感情効果 点描による演習 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-----------------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | // | // | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 12回 | テーマ | // | // | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 13回 | テーマ | // | // | 色彩の調和 | 90 |
| | 内容 | 色彩の美的効果 点描による演習 | | | |
| 14回 | テーマ | // | // | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |
| 15回 | テーマ | // | // | // | 90 |
| | 内容 | // | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|-------------------------------|------|------|-------------|----|------------------|---------|-----------------------|------|------|------|
| 科目名 | 美術領域論Ⅱ（立体造形）（2美デ） | | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1672501 | 区分 | 選択 | | |
| 英文表記 | Art theory 2 (3D modeling) | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 遠隔授業 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 清島 浩徳（実務経験） | | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L-A-216 | | | | | | オフィス アワー 月曜5限 | | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | | |
| キーワード | 立体造形 彫刻 教養的知識 美術史の知識・理解 アカデミックスキル リテラシー | | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 様々な国や時代の彫刻作品や立体造形物を概観し、作品の良さや美しさを感じ取り、作者の意図や心情についても考え、その作品の歴史的、社会的背景などにも触れながら、立体芸術への興味を引き出し、最終的に立体造形や作家研究のテーマを決めレポートを提出する。プレゼンや関連レポートについては適宜学生にフィードバックする。立体芸術を深く味わう楽しさを共有しながら、表現者としての資質を伸ばしていく。 | | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | | 彫刻実習、西洋彫刻論、彫刻特論、東洋美術史 | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。) | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | | |
| | ① | 立体造形物への興味と知識を深めることができる | | | | | | | | | | |
| | ② | 美術史と彫刻作品や作家などを関連づけて理解することができる | | | | | | | | | | |
| | ③ | 自らテーマを見つけ、研究することができるようになる | | | | | | | | | | |
| | ④ | 研究したものをプレゼンテーションすることができるようになる | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | | |
| | 0 | 0 | 0 | 50 | 30 | 0 | 10 | 10 | 100 | | | |
| 教科書 | 適宜指示する | | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 西洋美術史、日本美術史、東洋美術史、西洋彫刻論 |
| 実務経験のある 教員 | 清島浩徳 |
| 評価明細 基準 | ・立体造形物や彫刻家に対する興味と研究姿勢 ・研究内容のプレゼンテーションおよびレポート ・出席などを併せて評価する |

常に、いつ、誰が、どのように、なんの為にそれを作ったかという観点に立ち、自ら疑問を持つことで、研究のきっかけを見つける姿勢が必要。また表現者としての立場と、客観的な立場の双方から造形物や作家を考察することで、鑑賞力の向上を目指す。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---------------------------|--------------|---------------|-------|
| 1回 | テーマ | 立体の造形物について俯瞰する | 講義 | | 90 |
| | 内容 | 心に響く彫刻（導入） | | | |
| 2回 | テーマ | 古代の彫刻 | 講義 | 西洋美術史の予習 | 90 |
| | 内容 | 古代文明の彫刻概観 | | | |
| 3回 | テーマ | ギリシア彫刻 | 講義 | 西洋彫刻論の（予習、復習） | 90 |
| | 内容 | ギリシア彫刻概観 | | | |
| 4回 | テーマ | キリスト教美術の彫刻表現 | 講義 | 西洋彫刻論（予習・復習） | 90 |
| | 内容 | キリスト教的主題の彫刻、造形物 | | | |
| 5回 | テーマ | ルネサンスの彫刻 | 講義 | ミケランジェロ作品の検索 | 90 |
| | 内容 | 作家論：ミケランジェロとルネサンス、 マニエリスム | | | |
| 6回 | テーマ | バロックから近代の彫刻 | 講義 | バルニーニ作品の検索 | 90 |
| | 内容 | バロックから近代の彫刻概観 | | | |
| 7回 | テーマ | ロダン、ブールデル、マイヨールの彫刻 | 講義 | ロダン作品の検索 | 90 |
| | 内容 | 作家論：ロダンとその弟子たち | | | |
| 8回 | テーマ | 飛鳥から平安の仏像彫刻 | 講義 | 仏教美術史予習 復習 | 90 |
| | 内容 | 日本の仏教的主題の彫刻、造形物Ⅰ | | | |
| 9回 | テーマ | 鎌倉時代の慶派仏師の仏像彫刻 | 講義 | 仏教美術史予習 復習 | 90 |
| | 内容 | 日本の仏教的主題の彫刻、造形物Ⅱ | | | |
| 10回 | テーマ | 人物埴輪について | 講義 | 人物埴輪作品の検索 | 90 |
| | 内容 | 人物埴輪の造形的特徴概観Ⅰ | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-------------------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | ポストロダンの近代彫刻 | | 西洋美術史 復習 | 90 |
| | 内容 | 近代の彫刻概観 | | | |
| 12回 | テーマ | 現代の立体表現の展開 I | | 西洋美術史 復習 | 90 |
| | 内容 | 20世紀の立体表現 | | | |
| 13回 | テーマ | 現代の立体表現の展開 I | | 西洋美術史 復習 | 90 |
| | 内容 | 3DCGによる立体表現の展開 | | | |
| 14回 | テーマ | 個人プレゼン発表 | | 個人研究 | 90 |
| | 内容 | 個人研究プレゼンテーション | | | |
| 15回 | テーマ | 個人プレゼン発表 | | 個人研究 | 90 |
| | 内容 | 個人研究プレゼンテーション | | | |
| 16回 | テーマ | フィードバックをもとにした自己評価 | | 評価 | 90 |
| | 内容 | 相互評価 反省など | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--|------|------|-------------|----|---------------------|--------------------|------|------|------|
| 科目名 | 共通絵画実習Ⅰ（日本画）（2美） | | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1672701 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Common Japanese Painting practice I | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 佐藤 和歌子 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川実習棟204 | | | | | | オフィス アワー 火曜日・昼休み | | | | |
| メールアドレス | w-sato@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 日本画,写生,岩絵具,金箔,銀箔 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 美術学科に於ける各コースの専門教育のスキル向上のため、所属するコースの専門以外の領域を実体験する。この科目は日本画コース以外の美術学科の学生を対象とし、実習を通して日本画領域への理解を深めるものであり、そのために大きく二つの項目に於ける実習を行なう。最初に日本の文化・美術の成り立ちや日本画の精神性を理解することを目指した実習を行ない、次に日本画特有の画材を用いた技術・技法の習得を目指す。課題についての講評は、授業時間毎または次の授業までに学生一人ひとりに対して指導する。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 共通絵画実習Ⅱ、共通立体実習（彫刻） | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 古来より日本人が大切にしてきた自然界との関わり方を理解した上での写生ができるようになる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 室内装飾としての役割を踏まえた自然物のイメージ化とその表現への理解ができるようになる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | 日本画の画材の性質を理解できるようになる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 出席や制作姿勢(10点) | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 予備知識 | 1年次の各コース専門科目 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 出席及び制作姿勢と実習に於ける全ての作品に対して評価を行なう。 |

授業での実習をスムーズに実施するため、毎回事前に授業項目に必要な道具の検討及び知識を得ておくこと

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------|--------------------------------------|-------|
| 1回 | テーマ 日本画について | 日本画への理解 | 講義 | 日本の文化・美術の成り立ちや日本画の精神性及び画材に対する理解を得る講義 | 180 |
| 2回 | テーマ 写生 | 花または果実の写生(鉛筆) | 実習 | 屋外にて写生1 | 180 |
| 3回 | テーマ 写生 | 花または果実の写生(水彩絵具による着彩) | 実習 | 屋外にて写生2 | 180 |
| 4回 | テーマ 日本画の技法「溜め塗りとたらしこみ」 | 和紙・墨・筆への理解及び溜め塗り・たらしこみ技法・鳥の子紙 | 実習 | 和紙・墨・筆への理解及び溜め塗り・たらしこみ技法の習得 | 180 |
| 5回 | テーマ 日本画の技法「溜め塗りとたらしこみ」色紙 | 制作 | 実習 | 写生を元にした色紙・短冊制作「色紙」 | 180 |
| 6回 | テーマ 日本画の技法「溜め塗りとたらしこみ」短冊 | 制作 | 実習 | 写生を元にした色紙・短冊制作「短冊」 | 180 |
| 7回 | テーマ 日本画の技法「溜め塗りとたらしこみ」砂子 | 制作 | 実習 | 写生を元にした色紙・短冊制作「砂子」 | 180 |
| 8回 | テーマ 小下図 | 「小下図」制作 | 実習 | 2,3回目の写生をもとに下図を制作 | 180 |
| 9回 | テーマ 草稿 | 「草稿」制作 | 実習 | 小下図を見ながら草稿に入る | 180 |
| 10回 | テーマ パネル作成・水張り | ベニヤ板を切り出し、白麻紙を水張り | 実習 | 和紙の水張り | 180 |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---------------------|--------------|--------------|-------|
| 11回 | テーマ | 地塗り | 実習 | 水干絵具で地塗り | 180 |
| | 内容 | 前回水張りした百麻紙に永年黄土を地塗り | | | |
| 12回 | テーマ | 転写・墨入れ | 実習 | 下図の転写、墨入れ・濃淡 | 180 |
| | 内容 | 下図を転写し、墨で膏描き・濃淡をつける | | | |
| 13回 | テーマ | 盛上と箔 | 実習 | 盛上、金箔または銀箔 | 180 |
| | 内容 | 岩絵具「盛上」による効果と箔 | | | |
| 14回 | テーマ | 岩絵具 | 実習 | 岩絵具による彩色 | 180 |
| | 内容 | 制作 | | | |
| 15回 | テーマ | 岩絵具 | 実習 講義 | 岩絵具による彩色 | 180 |
| | 内容 | 総評 各評 採点 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|------------------------------|------|------|-------------|----|--------------------|--------------|------|------|------|
| 科目名 | 共通絵画実習Ⅱ（洋画）（2美） | | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1672801 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Common OilPainting practiceⅡ | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 下城賢一 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A102 | | | | | | オフィス アワー 月1・2限目 | | | | |
| メールアドレス | shimojo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 絵画史 絵画鑑賞 スケッチ | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>平面絵画に共通する基礎的な知識と技法および絵画鑑賞の心得を学ぶ。通常の制作実習ではカバーしていない領域の技法に取り組み、各々の作品制作の幅を広げ深めるような課題を用意している。そこでは表現形式の特性を模索し、構造や色彩構成などについて学び思考する。適切な絵画展や展覧会を鑑賞することで美術全般の見識と理解を深める。絵画史がどのように発展し、変遷を経て現在に至るのかを理解できるようにする。授業の中で適宜、レポートの評価を行い理解度の評価を行う。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 共通絵画実習Ⅰ(日本画) | | | |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p> | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 画家とその作品の時代性が理解できる | | | | | | | | | |
| | ② | 優れた作品と対峙する事で、自身の作品を考えることができる | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 50 | 10 | 0 | 100 | | |
| 教科書 | 特になし | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で適宜指示 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 必要な画材を用意すること。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1.成果発表(作品の寸評・講評会)を通して制作した作品の評価を次回の作品制作に繋げられるか。(20点) 2.展覧会鑑賞やレクチャーなどのレポート提出(20点) 3.課題制作の完成度とテーマへの理解度(50点) 4.授業の振り返り(10点) |

レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------------------------|--------------|-------------|-------|
| 1回 | テーマ | 西洋絵画における技法論A1 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 技法論・素描論・素材論……実習に関する具体的な説明と補足 | | | |
| 2回 | テーマ | 西洋絵画における技法論A2 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 素描実習 | | | |
| 3回 | テーマ | 西洋絵画における技法論A3 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 素描実習 | | | |
| 4回 | テーマ | 西洋絵画における技法論A4 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 素描実習 | | | |
| 5回 | テーマ | 西洋絵画における技法論A5 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 素描実習 | | | |
| 6回 | テーマ | 西洋絵画における技法論A6 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品講評・解説・評価 | | | |
| 7回 | テーマ | 西洋絵画史・画家の制作に関する知見1 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 講義・レポート課題 | | | |
| 8回 | テーマ | 西洋絵画史・画家の制作に関する知見2 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 講義・レポート課題 | | | |
| 9回 | テーマ | 西洋絵画史・画家の制作に関する知見3 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 講義・レポート課題 | | | |
| 10回 | テーマ | 西洋絵画史・画家の制作に関する知見4 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 講義・レポート課題 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------------------------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | 西洋絵画における技法論B1 | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 技法論・素描論・素材論……実習に関する具体的な説明と補足 | | | |
| 12回 | テーマ | 西洋絵画における技法論B2 | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 絵画制作 | | | |
| 13回 | テーマ | 西洋絵画における技法論B3 | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 絵画制作 | | | |
| 14回 | テーマ | 西洋絵画における技法論B4 | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 絵画制作 | | | |
| 15回 | テーマ | 西洋絵画における技法論B5 | | 準備物と課題計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品講評・解説・評価 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--------------------------------------|------|------|-------------|--------------------|---------|---------|------|------------------------------|------|
| 科目名 | 日本画実習ⅡA*1(2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1673001 | 区分 | 選必 | | |
| 英文表記 | Japanese PaintingⅡA | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 8 | | |
| 担当教員 | 佐藤 和歌子 本多 由佳梨(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A412 | | | | | オフィス アワー 火曜・昼休み | | | | | |
| メールアドレス | w-sato@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 日本画,岩絵具,運筆,色紙,短冊,白描法,彫塗,没骨,溜塗,たらし込み | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>明治以降、日本の生活文化は大きく西洋文化の影響を受けながら変化してきた。日本絵画の世界もそれに伴ない大きく変化し、現代においては会場芸術として額装形態の作品が主流となるが日本建築の存続に対し、軸・色紙・短冊の形態も根強く残ることとなる。この形態・様式に対する理解と伝統技法の習得を目指し、日本画独自の美意識や自然観などから生まれる余白を用いた空間表現と金箔・銀箔を使用した背景の表現について西洋画との違いを意識しながら、自らの表現を追求する。制作の進捗状況(写生、子下絵、草稿、本画)に応じて講評、合評を行なう。</p> | | | | | | | 関連科目 | | 日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画) | |
| | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。</p> | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 墨・和紙の性質を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 筆の種類・基本的使用方法・様々な筆法を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 写生を元に作品制作において重要な小下図の役割を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | 日本画の画材の性質上、不可欠な工程である草稿の役割を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | 制作において重要であるイメージを視覚的に具現化することができるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 出席(10点) | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|-----------------|
| 予備知識 | 日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 一作品ごとに合評・採点を行う。 |

この実習は単時限完結であるため、前回の実習における技術的反省点を各自クリアしておくことが重要である。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|--------------------|--|-------------------------|---------------------|-------|
| 1回 | テーマ 内容 | 運筆 筆と筆法 | 講義・演習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 2回 | テーマ 内容 | 運筆 潤筆と乾筆、直筆と側筆 | 講義・演習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 3回 | テーマ 内容 | 運筆 和紙の種類・ドーサの有無による相違 | 講義・演習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 4回 | テーマ 内容 | 運筆 干濃淡 | 講義・演習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 5回 | テーマ 内容 | 運筆 竹の鉛筆写生 | 講義・実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 6回 | テーマ 内容 | 運筆 墨で描く(付立) | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 7回 | テーマ 内容 | 運筆・合評 合評・採点 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 180 |
| 8回 | テーマ 内容 | 人物 自画像又は実在する人物の写生 | 講義・実習 | 十分な写生を繰り返す | 720 |
| 9回 | テーマ 内容 | 人物 写生を完に小下図制作及び和紙(麻紙・楮紙)にドーサ引き | 実習 | 感覚的なイメージを具体化する | 720 |
| 10回 | テーマ 内容 | 人物 原寸大での草稿及び裏打ち | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 720 |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---------------|--------------|---------------------|--------|
| 11回 | テーマ | 人物 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 720 |
| | 内容 | 草稿の転写、墨入れ、地塗り | | | |
| 12回 | テーマ | 人物 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 本紙制作(水干絵具) | | | |
| 13回 | テーマ | 人物 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 本紙制作(水干絵具) | | | |
| 14回 | テーマ | 人物 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 本紙制作(水干絵具) | | | |
| 15回 | テーマ | 人物 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 本紙制作(水干絵具) | | | |
| 16回 | テーマ | 人物 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 180 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---------------------|------|------|-------------|---------------------|---------|---------|------|-----------|------|
| 科目名 | 洋画実習ⅡA*2(2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1673201 | 区分 | 選必 | | |
| 英文表記 | Oil PaintingⅡA | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 8 | | |
| 担当教員 | 下城賢一 熊谷有展 上野洋嗣(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A301 | | | | | オフィス アワー 金曜日5時限目 | | | | | |
| メールアドレス | shimojo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 油彩 デッサン 混合技法 人物表現 静物表現 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>洋画実習ⅠA・Bを経て、西洋絵画の総合的な完成を求める。絵画上での基礎的な表現力を養い、応用力を身につけ、自由に様々なモチーフとテーマに取り組むことを目的とする。また自らの作品の客観的な評価を自分で行うことが出来るようになり、さらにはプレゼンテーションを通して作品を他者へ向けて発表できる力を身につける。イメージの発想と技術の重要性に目を向け、西洋絵画の歴史における時代ごとの変遷や内容を理解しつつ個々の感性による表現を大切に。対象物を観察し、調和の取れた感動ある作品を目指す。この授業には汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。</p> | | | | | | | 関連科目 | | 洋画実習ⅠA、ⅠB | |
| | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 絵画上の表現力を身に付けることができる | | | | | | | | | |
| | ② | 感性による表現を大切にすることができる | | | | | | | | | |
| | ③ | 自然な空間表現ができる | | | | | | | | | |
| | ④ | 色彩について理解できている | | | | | | | | | |
| | ⑤ | 多様な画材の理解と知識がある | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 | 60 | 10 | 0 | 100 | | |
| 教科書 | プリント配布 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

洋画実習ⅠA,ⅠBを経て、絵画の総合的な完成を求める洋画実習ⅢBへと繋がる。

予備知識

実務経験
のある
教員

評価明細
基準

1.作品の講評会を受けて作品の客観的な評価と問題点などを次回の作品制作に復習する。40点 2.課題への理解と、モチーフとテーマへの理解を反映させた作品の評価。50点 3ポートフォリオによる振り返り(10点)

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------|--------------|---------------------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 制作 | 実習 | 人物着衣を描く、オリエンテーション、デッサン、エスキース、油彩による着彩 | 720 |
| | 内容 | 人物画(油彩) | | | |
| 2回 | テーマ | 制作 | " | " | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 3回 | テーマ | 制作 | " | " | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 4回 | テーマ | 制作 | " | " | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 5回 | テーマ | 制作 | " | " 作品講評 | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 6回 | テーマ | 制作 | 実習 | 静物を描く、オリエンテーション、発想、デッサン、エスキース、油彩による着彩 | 720 |
| | 内容 | 静物画(油彩) | | | |
| 7回 | テーマ | 制作 | " | " | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 8回 | テーマ | 制作 | " | " | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 9回 | テーマ | 制作 | " | " | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 10回 | テーマ | 講評 | " | " 作品講評 | 720 |
| | 内容 | " | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------|--------------|---|-------|
| 11回 | テーマ | 制作 | 実習 | 人物ヌードを描く、オリエンテーション、デッサン、エスキース、 油彩による着彩 | 720 |
| | 内容 | 人物画(油彩) | | | |
| 12回 | テーマ | 制作 | " | " | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 13回 | テーマ | 制作 | " | " | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 14回 | テーマ | 制作 | " | " | 720 |
| | 内容 | " | | | |
| 15回 | テーマ | 講評 | " | " 作品講評 | 720 |
| | 内容 | " | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|------|------|-------------|--------------------|---|------|------|------|
| 科目名 | アート・イラストレーション実習ⅡA*3(2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1673401 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Art・illustration practical trainingⅡA | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面 | 単位数 | 6 | |
| 担当教員 | 柳田 也寿志 陣内 利博(非常勤) | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | オフィス アワー 水曜日1・2 | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | イラストレーション 空間イラストレーション パースペクティブ 造形的思考を汎用する美学の知識 専門分野における基礎造形力 自己管理能力 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 背景や空間を構成する要素を理解し、平面の中で構成する力を養います。アート・イラストレーション実習ⅠA・Bでの基礎的表現を経て、空間表現・背景表現へと繋げることを目的としており、平面表現の全体構成を理解し、表現を深める制作を行う。制作課題の結果は、講評会時など適宜口頭によるフィードバックをこなっていく。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | アート・イラストレーション実習ⅠB、アート・イラストレーション実習ⅡA、アート・イラストレーション実習ⅡB、アート・イラストレーション実習ⅢA、アート・イラストレーション実習ⅢB、アート・イラストレーション実習ⅠB、デジタルツール演習Ⅰ、デジタルツール演習Ⅱ、アート・イラストレーションメディア演習Ⅰ、アート・イラストレーションメディア演習Ⅱ | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | これまでの作家による作品や歴史的背景を理解し、制作へつなげることができる。 | | | | | | | | |
| | ② | 空間を構成する要素を理解し、平面表現へ展開することができる。 | | | | | | | | |
| | ③ | さまざまな作品からインスピレーションを得て、自己の作品に昇華することができる。 | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | |
| 教科書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 基礎デッサン、アート・イラストレーションメディア演習Ⅰ・Ⅱ |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1. 作品講評会において自己の作品の評価と問題点を理解し、次回の制作に活かす姿勢を持つことができている。(20点) 2. 出題されている課題を理解しようという姿勢があり、完成度の高い作品が制作できている。(60点) 3. ポートフォリオによる振り返り(10点) 4. 授業において、課題に対し積極的に行い、創意工夫を持って制作に挑む姿勢を持っている。(10点) |

作品制作準備を十分に行い、出席することで制作時間を確保できるように心がけてください。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|------------------------------------|--------------|-------------------|-------|
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 本授業の計画・説明 | 実習 | | |
| 2回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。本単元の説明。 | 実習 | | |
| 3回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |
| 4回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |
| 5回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |
| 6回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |
| 7回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |
| 8回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |
| 9回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |
| 10回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---|--------------|-------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。 | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | 空間デッサン | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空間を構成する要素を理解し、空間をデッサンで表現する。作品の講評。 | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。本単元の説明。 | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 16回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 17回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 18回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 19回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 20回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--|--------------|-------------------|-------|
| 21回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 22回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 23回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 24回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 25回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 26回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 27回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 28回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。 | 実習 | | |
| 29回 | テーマ | グリッドを使用した空間イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | デジタルツールによる、グリッドを使用し、空間を表現したイラストレーションを制作する。作品の講評。 | 実習 | | |
| 30回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|--------------------------------|--------------|-------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 31回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 32回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 33回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 空俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 34回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 35回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 36回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 37回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 38回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 39回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 40回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-------------------------------------|--------------|-------------------|-------|
| 41回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 42回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 43回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 44回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。 | 実習 | | |
| 45回 | テーマ | クウォータービューイラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 俯瞰した表現を行う「クウォータービュー」で室内を表現する。作品の講評。 | 実習 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|------|------|-------------|--------------------|---------|--|------|------|------|
| 科目名 | アート・イラストレーションメディア演習Ⅰ*3(2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1673501 | 区分 | 選必 | | |
| 英文表記 | Art・illustration media exercises I | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 陣内 利博(非常勤) 柳田 也寿志 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | オフィス アワー 金曜日1・2 | | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | イラストレーション アニメーション メディア 教養的知識 専門分野における基礎造形力 自己管理力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 私たちの身の回りには多種多様なメディアが存在している。イラストレーションを使用するメディアは多種多様でありメディアである以上、それは伝達手段である必要がある。現代社会の中でメディアの役割を理解し、必要な形でイラストレーションを計画し制作することを目的としている。制作課題の結果は、講評会時など適宜口頭によるフィードバックをこなっていく。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | アート・イラストレーション実習ⅡA、アート・イラストレーション実習ⅡB、アート・イラストレーションメディア演習Ⅱ アート・イラストレーション実習ⅢA、アート・イラストレーション実習ⅢB、アート・イラストレーション表現探求Ⅰ、アート・イラストレーション表現探求Ⅱ | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択 【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術) 【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 社会の中に取り巻く多種多様なメディアについての理解を深めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | メディアについての知識を有し、知識を活かして各メディアに対応した作品の制作ができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | 作品制作に伴った計画をたて、その計画に従い制作を進めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業内で指示 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業内で指示 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | アート・イラストレーション実習ⅠA・Bを経て、イラストレーションにおける空間表現を理解するアート・イラストレーション実習ⅡBへと繋がる |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1.作品講評会において自己の作品の評価と問題点を理解し、次回の制作に活かす姿勢を持つことができている。(20点) 2.出題されている課題を理解しようという姿勢があり、完成度の高い作品が制作できている。(60点) 3.ポートフォリオによる振り返り(10点) 4.授業において、課題に対し積極的に行い、創意工夫を持って制作に挑む姿勢を持っている。(10点) |

作品制作準備を十分に行い、出席することで制作時間を確保できるように心がけてください。

学修上の
注意
(SBOs)

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|------------------------------------|--------------|-------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 本授業の説明 | 演習 | | |
| 2回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた制作を計画する。本単元の説明 | 演習 | | |
| 3回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた制作を計画する。 | 演習 | | |
| 4回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 5回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 6回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 7回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 8回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 9回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 10回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|----------------------------------|--------------|-------------------|--------|
| 11回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自分の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 12回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自分の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 13回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品概要を発表するプレゼンテーションを制作する。 | 演習 | | |
| 14回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品概要を発表するプレゼンテーションを制作する。 | 演習 | | |
| 15回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品概要の発表、講評を行う。 | 演習 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------------------------------|------|------|-------------|-------------------|---------------|--|--------|------|------|
| 科目名 | 3Dアート実習ⅡA*4(2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1673801 | 区分 | 必修 | | |
| 英文表記 | 3 dimensional art work ⅡA | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | ブレンド授業(対面+遠隔) | 単位数 | 6 | | |
| 担当教員 | 清島 浩徳(実務家教員) 涌井 晃(非常勤) 井上 幸喜(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L A-216 | | | | | オフィス アワー 月曜 5限 | | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 3DCG 3Dモデリング 彫刻 キャラクター造形 ゲームデザイン 基礎造形力の三要素 専門分野における基礎造形力 リテラシー | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 3DCGソフトZbrushやMAYAを応用的に使用し、作成したコンテンツをUnreal Engine5を用いて映像作品表現の基礎を修得する、また1年次に引き続き基礎的なデッサン力と立体造形感覚をより一層高めるために粘土による塑像制作も実施する。実際の素材を用いた実習では、写実的な表現を試みることで、基礎的な立体造形力を身につけることを目指す。量感や奥行きといった、立体ならではの感覚を高め、粘土素材を自由に駆使できるようになるには、多くの修練が必要である。等身人体制作は、人体の諸要素の理解と、立体造形に不可欠な各種造形要素の理解の土台の上に成り立っている。等身大の作品の制作を通してこれらの諸要素の体感的な獲得を目指す。実際の素材に触れることで学習した造形感覚を3DCGの作品で制作する。キャラクター造形に重要な人体の動きやポージング基本的な構造を理解しながら、写実的な表現とキャラクター表現の両方の表現技術を獲得する。何度も繰り返し制作を続けながら、表現者としての感性、観察眼を養う。授業以外の時間で自主的に制作を深め、毎日制作する習慣を身につけることで、表現者としての資質の向上を目指す。さらに、ポートフォリオの制作についても学習する。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 西洋彫刻論 西洋美術史 3Dアート実習ⅠA・ⅠB 3Dアート実習ⅡB 立体造形技法実習A 立体造形技法実習B | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| 20 | ① | モデルを観察して、人体の構造について理解できるようになる | | | | | | | | | |
| 20 | ② | 粘土の性質を知って塑像から型取りまでの制作過程を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| 20 | ③ | ビジュアライゼーションアプリの作成技術の修得 | | | | | | | | | |
| 20 | ④ | 専門的な3DCG制作ソフトの操作方法を理解する | | | | | | | | | |
| 20 | ⑤ | CGを用いた動画作成技術の修得 | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | ACAアドビ認定アソシエイト対応Photoshop CC試験対策 odyssey communications 筑城厚三 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 基礎科目:西洋美術史Ⅰ、西洋美術史Ⅱ、美術領域論Ⅱ(立体) |
| 実務経験のある 教員 | 清島浩徳 |
| 評価明細 基準 | ・デッサンの的確さ ・3DCGソフトオペレーションの基本的なスキルの獲得 ・映像表現ソフトオペレーションの基本的なスキルの獲得 ・等身大塑像制作の基礎的な技法と立体造形感覚の獲得 ・準備、作品管理 ・制作への真摯な取り組み ・作品を高度化するための自主的な制作 ・ポートフォリオの作成 |

・3DCGの基本的な技術の獲得だけでなく、自分なりの手法・解決策を見つけ出す意欲を持ち続ける。・制作に入る前の準備、制作後の片付け、さらに作品管理をすることも制作に必至。・実材での立体造形感覚を身につけるために粘土を常に最適な状態にし、またモデルへの配慮も忘れず授業に臨むという、基本的なマナーも身につける。観察眼を伸ばすためのデッサンや制作を毎日するペースを身につけ、表現者としての自覚を持つことが大切である。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---|--------------|--------------|--------|
| 1回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:基本操作の説明と練習課題を行う | 実習 | | |
| 2回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:前回の復習、画像データの解説、練習課題を行う | 実習 | | |
| 3回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:前回の復習、カラー設定の解説、練習課題を行う | 実習 | | |
| 4回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:前回の復習、選択範囲の解説、練習課題を行う | 実習 | | |
| 5回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:前回の復習、レイヤーの解説、練習課題を行う | 実習 | | |
| 6回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:中間まとめとして練習課題を行う | 実習 | | |
| 7回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:前回の復習、テキストの解説、練習課題を行う | 実習 | | |
| 8回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:前回の復習、レタッチの解説、練習課題を行う | 実習 | | |
| 9回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:前回の復習、ブラシ・グラデーション等の解説、練習課題を行う | 実習 | | |
| 10回 | テーマ | Photoshop & Illustrator Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | Photoshop:前回の復習、出力の解説、練習課題を行う | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---|--------------|--------------|--------|
| 11回 | テーマ | Photoshop Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 課題説明とデザインの企画・素材制作を行う | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | Photoshop Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 課題の仕上げと提出用データの作成を行う | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | Photoshop Basic2 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 制作した作品のプレゼンテーションと講評を行う 課題説明とデザインの企画・素材制作を行う | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | Illustrator Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 課題の仕上げと提出用データの作成を行う | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | Illustrator Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 制作した作品のプレゼンテーションと講評を行う | 実習 | | |
| 16回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 中品人体像像制作概説・粘土による頭像作品制作の準備 | 講義 | | |
| 17回 | テーマ | 人体デッサン基礎 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | デッサン基礎学習とポイントの基本について学習する | 実習 | | |
| 18回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrushによるボーンイングと3DCGモデルの作成 | 実習 | | |
| 19回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrushによるボーンイングと3DCGモデルの作成 | 実習 | | |
| 20回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 心棒制作と粘土による荒付け | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---------------------------------|--------------|--------------|--------|
| 21回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 心棒制作と粘土による荒付け | 実習 | | |
| 22回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 全体の構造を意識して、作品の制作を進める | 実習 | | |
| 23回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 全体の構造を意識して、作品の制作を進める | 実習 | | |
| 24回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 人体解剖学をベースに、全体の動勢を意識して、作品の制作を進める | 実習 | | |
| 25回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 人体解剖学をベースに、全体の動勢を意識して、作品の制作を進める | 実習 | | |
| 26回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 細部を仕上げて粘土原型を完成させる。 | 実習 | | |
| 27回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 粘土原型の石膏雛型を作る。 | 実習 | | |
| 28回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 石膏雛型にアクリル樹脂でキヤンデイングを行う。 | 実習 | | |
| 29回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 作品を割り出し、蓋のつなぎ目を修正する。 | 実習 | | |
| 30回 | テーマ | 講評・ディスカッション | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 作品の仕上げを行い、講評・相互評価を行う。 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|--------------------------|--------------|--------------|--------|
| 31回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Unreal Engine5についての概要説明 | | | |
| 32回 | テーマ | Unreal Engine5基礎1 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Unreal Engine5の機能と展開について | | | |
| 33回 | テーマ | Unreal Engine5基礎1 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Unreal Engine5の基本的な操作方法 | | | |
| 34回 | テーマ | Unreal Engine5基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Unreal Engine5の基本的な操作方法 | | | |
| 35回 | テーマ | Unreal Engine5基礎2 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Unreal Engine5の編集方法について | | | |
| 36回 | テーマ | Unreal Engine5基礎2 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Unreal Engine5の編集方法について | | | |
| 37回 | テーマ | VR水族館の制作1 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水槽のデザインとマケットモデルの制作 | | | |
| 38回 | テーマ | VR水族館の制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水槽のデザインとマケットモデルの制作 | | | |
| 39回 | テーマ | VR水族館の制作2 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水槽ベースの作成、クイックセルの活用 | | | |
| 40回 | テーマ | VR水族館の制作2 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 水槽ベースの作成、クイックセルの活用 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---------------------------|--------------|--------------|--------|
| 41回 | テーマ | VR水族館の制作3 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | マテリアルの基礎、(氷の表現・ペイント・ブレンド) | 実習 | | |
| 42回 | テーマ | VR水族館の制作3 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | マテリアルの基礎、(氷の表現・ペイント・ブレンド) | 実習 | | |
| 43回 | テーマ | VR水族館の制作4 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Niagaraのオペレーション基礎、(エアバブル) | 実習 | | |
| 44回 | テーマ | VR水族館の制作4 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Niagaraのオペレーション基礎、(エアバブル) | 実習 | | |
| 45回 | テーマ | 講評・相互評価 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | VR水族館の中間段階での講評・相互評価を行う。 | 実習 | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------------------------|------|------|-------------|-----------------------|------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | カービング実習*4 (2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1673901 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Carving work (Practice) | | | 開講期 | 前期集中 | 開講形態 | 対面 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 清島 浩徳(実務経験) 堀川 仁彦(非常勤) | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川実習棟107 | | | | | オフィス アワー 火曜日16時30分 | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | カービング 立体造形 専門分野における基礎造形力 造形思考を涵養する美学の知識 基礎 造形力の三要素 協働性 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 与えられたテーマよりデザインを考えて図面を描き、図面を元に発泡スチロールの塊から削り出し作品をつくります。発泡スチロールカービングに必要な機器の使用方法を修得し、基礎土台の作成後、表面に樹脂をコーティング、最終的には着色をして作品を完成させます。完成した作品は熊本県アートパレード展に出品します。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | 3Dアート実習 I A, I B, II A, II B | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 道具の扱いを修得する | | | | | | | | |
| | ② | カービングとモデリングの違いについて理解することができる | | | | | | | | |
| | ③ | テーマに沿って作品の構想を練ることができる | | | | | | | | |
| | ④ | 共同作業により協調性を身に付けることができる | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 | 50 | 10 | 20 | 100 | |
| 教科書 | 適宜連絡します。 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜連絡します。 | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|-------------------------|
| 予備知識 | 3Dアート実習ⅠA,ⅠB,ⅡA,ⅡB |
| 実務経験のある 教員 | 清島 浩徳 |
| 評価明細 基準 | 作品と制作に対する姿勢を総合的に判断し評価する |

Gパンのような生地が厚い長ズボン・長袖シャツ・運動靴・帽子か手ぬぐい・軍手を用意しておくこと。(メガネ、マスクは学校で用意します)

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|-------------------------------|--------------|--------------|--------|
| 1回 | テーマ | テーマに沿ってアイデアスケッチを描く | 実習 | イメージデッサン | 270 |
| | 内容 | テーマから発想したラフスケッチを基にアイデアスケッチを描く | | | |
| 2回 | テーマ | 発泡スチロールカービング | 実習 | 制作(発泡スチロール) | 270 |
| | 内容 | 道具(電熱線)を用いてアイデアスケッチを削り出していく | | | |
| 3回 | テーマ | 下地材の添付 | 実習 | 制作(実材) | 270 |
| | 内容 | 発泡スチロールが溶けないように下地処理を施す | | | |
| 4回 | テーマ | アクリル樹脂によるコーティング | 実習 | 制作(実材) | 270 |
| | 内容 | アクリル樹脂を貼り込み、表面を磨きだし形を整えていく。 | | | |
| 5回 | テーマ | 着色・仕上げ | 実習 | 制作 | 180 |
| | 内容 | 作品の表面に着色とコーティングを行い仕上げる。 | | | |
| 6回 | テーマ | 講評 | 講義 | レポート提出 | 90 |
| | 内容 | それぞれの作品についてのプレゼンと講評を行う。 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---------------------------------------|------|------|-------------|----|-------------------|------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 日本画実習ⅢA＊1（3美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1674401 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Japanese Painting ⅢA | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 中村 賢次 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A416 | | | | | | オフィス アワー 水曜昼休み | | | | |
| メールアドレス | ken1214@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 屋外写生 客観的造形力 技術・技法 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 日本画には古くより特有の表現技法が伝えられている。更に日本画そして絵画全般に云える事は、自然を相手に心の動くところを表現したものである。自然の形態、色彩、明暗、そして匂いや肌で感じるものが人間の感性を動かし、心に映り、心象となって、これが平面の上に描かれ絵画となって行く。特に日本画の基本的様式は平面的・装飾的な表現であり、線が主要なものとなり、対象を見たまに描写するのではなく自分の意思・感覚・思想・生活感情等を通して単純化されたものである。このことを暗まえ、自分の心に呼応した対象と向き合って日本画制作に取り組む。制作の進捗状況(写生、小下絵、草稿、本画)に応じて講評、合評を行なう。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画) | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 自然と対峙し落ち着いて写生を行なう姿勢を養うことができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 自分が感動した事象を客観的に捉える能力を養うことができるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 大作を描くために必要な過程の理解とその技術を習得することができるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 予備知識 | 日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 日常的に質疑を行ない理解度を深める。一作品ごとに合評・採点を行なう。 |

前回の実習の反省点を十分に検討した上で、毎時ごとに制作到達計画を立てる。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---------------------------|--------------|---------------------|--------|
| 1回 | テーマ | 風景 | 実習 | 作品にする風景と出会うため屋外にて写生 | 360 |
| | 内容 | 風景をテーマとして屋外にて写生及び50号パネル製作 | | | |
| 2回 | テーマ | 風景 | 実習 | 感覚的なイメージを具現化する | 360 |
| | 内容 | 小下図・草稿制作及び裏打ち | | | |
| 3回 | テーマ | 風景 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 360 |
| | 内容 | 草稿を転写、墨入れ、地塗り | | | |
| 4回 | テーマ | 風景 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 風景 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 6回 | テーマ | 風景 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 7回 | テーマ | 風景・合評 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 360 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |
| 8回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 十分に写生を繰り返す | 360 |
| | 内容 | 描く対象を各自写生及び100号パネル製作 | | | |
| 9回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 感覚的なイメージを具現化する | 360 |
| | 内容 | 小下図・草稿制作及び裏打ち | | | |
| 10回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 360 |
| | 内容 | 墨入れ、地塗り、本紙制作 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---------|--------------|---------------------|--------|
| 11回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 12回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 13回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 14回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 15回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 16回 | テーマ | 自由制作・合評 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 360 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|------|------|-------------|--------------------|------------------------------|---------|-----|--|
| 科目名 | 日本画実習ⅢB*1(3美) | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1674501 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Japanese painting Practical ⅢB | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 佐藤 和歌子 | | | | | | | | | |
| 研究室 | A412 | | | | | オフィス アワー 火曜・昼休み | | | | |
| メールアドレス | w-sato@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | 日本画,岩絵具,風景画 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 二年次までに習得した日本画の基礎的知識と技術・技法の元に各自が自由なテーマに基づき個性的表現の実践と研究を行なう。制作の進捗状況(写生、子下絵、草稿、本画)に応じて講評、合評を行なう。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | 日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画) | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 自分の表現したい世界・対象を具現化するための造形力と技術力を養うことができるようになる | | | | | | | | |
| | ② | 自分が感動した事象を客観的に捉える能力を養うことができるようになる | | | | | | | | |
| | ③ | 大作を描くために必要な全プロセスを理解できるようになる | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 出席(10点) | 100 | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 予備知識 | 日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 出席及び制作姿勢と実習に於ける全ての作品に対して評価を行う。 |

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------------------------|--------------|---------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 風景 | 実習 | 作品にする風景と出会うため屋外にて写生 | 360 |
| | 内容 | 風景をテーマとして屋外にて写生及び50号パネル製作 | | | |
| 2回 | テーマ | 風景 | 実習 | 感覚的なイメージを具現化する | 360 |
| | 内容 | 小下図・草稿制作及び裏打ち | | | |
| 3回 | テーマ | 風景 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 360 |
| | 内容 | 草稿を転写、墨入れ、地塗り | | | |
| 4回 | テーマ | 風景 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 風景 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 6回 | テーマ | 風景 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 7回 | テーマ | 風景・合評 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 360 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |
| 8回 | テーマ | 自由制作(100号) | 実習 | 十分に写生を繰り返す | 360 |
| | 内容 | 描く対象を各自写生及び100号パネル製作 | | | |
| 9回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 感覚的なイメージを具現化する | 360 |
| | 内容 | 小下図・草稿制作及び裏打ち | | | |
| 10回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 360 |
| | 内容 | 墨入れ、地塗り、本紙制作 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------|--------------|---------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 12回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 13回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 14回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 15回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 16回 | テーマ | 自由制作・合評 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 360 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------------------|------|------|-------------|----|----------------|---------|------|------|------|
| 科目名 | 洋画実習ⅢA*2(3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1675001 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Oil Painting ⅢA | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 熊谷有展 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸学3F | | | | | | オフィス アワー 金5 | | | | |
| メールアドレス | kumagae@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 作家研究 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 作家研究を通して、二年度までのカリキュラムで習得した基本的技術を完成させ、自分自身の絵画世界を展開させる。幅広い表現方法、用具の特性の理解や、洋画の歴史について学ぶ。適宜課題作品の講評を行い、学生に作品上のアドバイスを行う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 洋画実習ⅡB | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 専門的な知識や技術を身に付けることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 予備知識 | 洋画実習ⅡB |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 課題作品のデッサン・エスキースを含んだ作品 講評・採点 |

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|-----------|--------------|--|--------|
| 1回 | テーマ | 制作 | 実技 | オリエンテーション、発想、取材、デッサン、エスキース等 | 360 |
| | 内容 | テーマ、構図の決定 | | | |
| 2回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 3回 | テーマ | // | // | 構図の決定 | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 4回 | テーマ | // | // | 作家研究による自由制作。各自、自由な発想・テーマに基づいて、よりプロセスを大切にしながら取り組む | 360 |
| | 内容 | 油彩による制作 | | | |
| 5回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 6回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 7回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 8回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 9回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 10回 | テーマ | // 講評 | // | | 360 |
| | 内容 | // 中間講評 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | 制作 | 実技 | " | 360 |
| | 内容 | 油彩による制作 | | | |
| 12回 | テーマ | " | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 13回 | テーマ | " | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 14回 | テーマ | " | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 15回 | テーマ | 講評 | 講評 | " | 360 |
| | 内容 | 作品講評 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|----------------------------|------|------|-------------|----|---------------------|---------|------|------|------|
| 科目名 | 洋画実習ⅢB*2(3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1675101 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Oil Painting ⅢB | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 熊谷 有展 永田和之(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸学3F | | | | | | オフィス アワー 金曜日5時限目 | | | | |
| メールアドレス | kumagae@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 洋画ⅢB | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>大作を制作するには、特にプロセスが重要である。発想段階から取材、デッサン、エスキース等の試行錯誤を経て作品のテーマが明確化される。自主的な制作計画を身につけながら自己の造形能力、感性を錬磨し、積極的な制作活動が求められる。発想段階から制作プロセスをエスキース等を見ながら話し合いを進めていく。この授業には汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。幅広い表現方法、用具の特性や油彩画の歴史について学ぶ。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 洋画実習ⅢA | | | |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。</p> | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 作家研究をする中で自身に合う表現を探することができる | | | | | | | | | |
| | ② | 方向性・個性を確立させることができる | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | 特になし | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 特になし | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 予備知識 | 洋画実習ⅢAと連動して、テーマ制作を更に深める。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 課題作品のデッサン、エスキースを含んだ作品 講評、採点 |

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-----------|--------------|--------------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 制作 | 実技 | オリエンテーション、発想、取材、デッサン、エスキース等 | 360 |
| | 内容 | テーマ、構図の決定 | | | |
| 2回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 3回 | テーマ | 制作 | " | 構図の決定 | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 4回 | テーマ | 制作 | " | 各自、自由な発想に基づいて、よりプロセスを大事にして取り組む | 360 |
| | 内容 | 油彩による制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 6回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 7回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 8回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 9回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 10回 | テーマ | 講評 | " | " | 360 |
| | 内容 | " 中間講評 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 12回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 13回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 14回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 15回 | テーマ | 講評 | " | " | 360 |
| | 内容 | 作品講評 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-----------------------|------|------|-------------|------|---------------------|---------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 特別演習（洋画）（3美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1675402 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Special Seminar(Oil Painting) | | | | 開講期 | 前期集中 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 関口雅文（非常勤） 下城賢一 熊谷有展 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A201 | | | | | | オフィス アワー 前期・後期集中 | | | | |
| メールアドレス | shimojo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 絵画技法 色彩論 デッサン 構成・構図に関する知識 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 絵画技法を幅広く学ぶことにより、個々の学生の作品制作にフィードバックさせ 作品制作を発展させる。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 洋画実習ⅢA・ⅢB、基礎デッサンⅠ、基礎デッサンⅡ | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 適切な技法および画材のへの修練がなされたか | | | | | | | | | |
| | ② | 課題制作の完成度 | | | | | | | | | |
| | ③ | 絵画技法の知識が理解できたか | | | | | | | | | |
| | ④ | 絵画組成論について理解できたか | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法（配点） | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表（口頭・実技） | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 | 70 | 0 | 0 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 洋画実習ⅢA、ⅢB、基礎デッサンⅠ、基礎デッサンⅡ |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1作品講評会(寸評など)を受けて各学生が自らの作品制作を客観的に評価できたか(30点) 2古典技法のテンペラ絵画制作を完成度、理解度、表現への取り組みなどを基準に評価(70点) |

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-------------------|--------------|-------------|-------|
| 1回 | テーマ | 絵画技法について | 実習 | 準備物と課題計画の確認 | 420 |
| | 内容 | 絵の真や材料論について講義を行う | | | |
| 2回 | テーマ | 絵画制作について | 実習／講義 | | 840 |
| | 内容 | 各自作品上のテーマに沿って作品制作 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---------------------------|------|------|-------------|----|-----------------------|-----------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 彫刻実習ⅢA*3(3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1675601 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Sculpture trainingⅢA | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 勝野 眞言 (実務経験) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A212 | | | | | | オフィス アワー 火曜日16時30分 | | | | |
| メールアドレス | katsuno@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 粘土 人体 観察 量塊 専門分野における基礎造形力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>彫刻家としての造形活動・経験から多面的な視野についての学びを提供する。人間をテーマにした彫刻表現の歴史は永い。私自身塑造分野の世界で人間表現の追求に取り組み、国内外での発表活動を続けて半世紀近い。また、制作を通じた美術振興に関わる様々なプロジェクトの立案、支援も取り組んできた。これらの知見をもとにこの科目では、塑造による人体表現をテーマとして、身に付けるべき普遍的な造形の基礎を学びながら、成果物としての作品を地域共創活動での発表として展開する。授業は人体観察による等身大の塑造制作である。粘土の特性である可塑性や固まりなどの材料の性質を理解し、様々な角度から創意工夫や試行錯誤を行う。その手法として人間の観察による造形的な要素の理解を深めるためにポーズを固定し、時間をかけ観察によるアプローチを繰り返し行う。人体観察を通して、自然の摂理、構築を観察する中で、自由な精神に基づいた真理への探究心や、知性、感性に裏付けられた柔軟な思考力と発想力(表現の追求)を身に付ける。また、作品制作や研究を通し立案、計画、作業を自分で組み立て実現させる実行力を身に付ける。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを相互の意見交換を交えた中間講評により確認し、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。完成作品を地域共創活動として玉名市の高瀬蔵での展示会で発表する。この授業では前職における様々な制作活動(発表)を通じて得た経験を活かし、その経験を学生たちに教授している。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 基礎デッサンⅠ・Ⅱ 共通立体 彫刻実習ⅡA・ⅡB | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | デッサンによる形態把握ができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 心棒の制作が正確に出来るようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 空間の中での量塊の位置が正しく理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | プリント(解剖図) | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適時指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | <p>モチーフを人物(ヌード)とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。</p> |
| 実務経験のある 教員 | <p>勝野 眞言</p> |
| 評価明細 基準 | <p>出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。</p> |

作業着を着用し、作品を包む布、ビニール袋を準備しておくこと。モデルが入室する前に制作の準備をしておくこと。遅刻した場合休憩時間まで入口で待機しておくこと。常に室内の気温がモデル制作に適温か、留意すること。制作後の清掃は必ず行うこと。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---------------|----------------|------------------------|--------|
| 1回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 時間をかけた観察により対象の特性を理解する | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅰ 素描(デッサン) | | | |
| 2回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 短時間での対象の特性理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅱ 素描(クロッキー) | | | |
| 3回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 制作意図の確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅲ ポーズの決定 | | | |
| 4回 | テーマ | 構造の理解 | 対面授業 実習 | 芯棒による量感、動勢、構造の理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅳ 芯棒制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅴ 粘土付け | | | |
| 6回 | テーマ | 客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作の狙いの確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅵ 中間講評会 | | | |
| 7回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅶ 作り込み | | | |
| 8回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 造形原理の生かし方とその構築について | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅷ 彫刻の構築 | | | |
| 9回 | テーマ | 客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作の狙いの確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅸ 講評会 | | | |
| 10回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅹ 作り込み | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|--------|----------------|-----------------|--------|
| 11回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 12回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 13回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 14回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 制作の狙いの確認 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 15回 | テーマ | 客観的な理解 | 対面授業 実習 | 「到達度ポートフォリオ」の提出 | 180 |
| | 内容 | 講評会 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--------------------------------|------|------|-----------------|----|-----------------------|----------------------------------|----------|----------|----------|
| 科目名 | 彫刻実習ⅢB*3(3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1675701 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Sculpture trainingⅢB | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 清島浩徳(実務経験) 勝野 眞言(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A212 | | | | | | オフィス アワー 火曜日16時30分 | | | | |
| メールアドレス | katsuno@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 粘土 人体 観察 造形力 専門分野における基礎造形力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>彫刻家としての造形活動・経験から多面的な視野についての学びを提供する。人間をテーマにした彫刻表現の歴史は永い。私自身塑造分野の世界で人間表現の追求に取り組み、国内外での発表活動を続けて半世紀近い。また、制作を通じた美術振興に関わる様々なプロジェクトの立案、支援も取り組んできた。これらの知見をもとにこの科目では、塑造による人体表現をテーマとして、身に付けるべき普遍的な造形の基礎を学びながら、成果物としての作品を地域共創活動での発表として展開する。授業は人体観察による等身大の塑造制作である。粘土の特性である可塑性や固まりなどの材料の性質を理解し、様々な角度から創意工夫や試行錯誤を行う。その手法として人間の観察による造形的な要素の理解を深めるためにポーズを固定し、時間をかけ観察によるアプローチを繰り返し行う。人体観察を通して、自然の摂理、構築を観察する中で、自由な精神に基づいた真理への探究心や、知性、感性に裏付けられた柔軟な思考力と発想力(表現の追求)を身に付ける。また、作品制作や研究を通し立案、計画、作業を自分で組み立て実現させる実行力を身に付ける。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを相互の意見交換を交えた中間講評により確認し、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。完成作品を地域共創活動として玉名市の高瀬蔵での展示会で発表する。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 基礎デッサンⅠA/ⅠB 共通立 体実習 彫刻実習ⅡA/ⅡB | | | |
| 教職関連 区分 | | | | | | | | 建築学科 のみ | 建築 総合 | 建築 計画 | 建築 構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育 目標 | | | |
| JABEE 記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | デッサンにより形態の把握ができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 心棒制作が正確に出来るようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 空間の中での量塊の位置が正確に与えることができるようになる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポート フォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | | | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | <p>モチーフを人物(ヌード)とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。</p> |
| 実務経験のある 教員 | <p>清島浩徳 勝野 眞言</p> |
| 評価明細 基準 | <p>出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。</p> |

モデル使用の為室温に常に留意すること モデル使用中の教室の入退出は禁止である。制作に入るための準備、特に室温調整をあらかじめしておくこと。制作後の清掃は必ず行うこと。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---------------|----------------|------------------------|--------|
| 1回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 時間をかけた観察により対象の特性を理解する | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅰ 素描(デッサン) | | | |
| 2回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 短時間での対象の特性理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅱ 素描(クロッキー) | | | |
| 3回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 制作意図の確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅲ ポーズの決定 | | | |
| 4回 | テーマ | 構造の理解 | 対面授業 実習 | 芯棒による量感、動勢、構造の理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅳ 芯棒制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅴ 粘土付け | | | |
| 6回 | テーマ | 対象の理解 客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作の狙いの確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅵ 中間講評会 | | | |
| 7回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅶ 作り込み | | | |
| 8回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 造形原理の生かし方とその構築について | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅷ 彫刻の構築 | | | |
| 9回 | テーマ | 客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作の狙いの確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅸ 講評会 | | | |
| 10回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅹ 作り込み | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--------------|----------------|-----------------|-------|
| 11回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 12回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 13回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 14回 | テーマ | 対象の理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 15回 | テーマ | 客観的な理解 | 対面授業 実習 | 「到達度ポートフォリオ」の作成 | 180 |
| | 内容 | 講評会 制作の狙いの確認 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|----------------------------|------|------|-------------|------|-------------------|-----------------------|------|------|------|
| 科目名 | 鑄造実習A(3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1676001 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Casting Practice A | | | | 開講期 | 前期集中 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 陶山 伸一 (非常勤・実務経験) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川実習室107 | | | | | | オフィス アワー 授業の前後 | | | | |
| メールアドレス | katsuno@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 技法 窯 溶解 蠟 ブロンズ 専門分野における基礎造形力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 蠟型鑄造に対する理解を深め、実習によって蠟の合わせ方、流し方、窯の組み方、火入れ、焼成、合金の割合、金属溶解、鑄込み、仕上げなどについて、確実に安全な方法を身につける。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 蠟型鑄造に対する理解を深めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 危険な工程を伴うため、安全に作業を行うことができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 60 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | | | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|------------------------------|
| 予備知識 | 彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B |
| 実務経験のある 教員 | 陶山 伸一 |
| 評価明細 基準 | 出席・課題の取り組み・到達度を考慮し、総合的に評価する。 |

実習中に適宜指示する。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|--------------------------------|----------------|---------------|--------|
| 1回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 講義で工程の流れを知る | 80 |
| | 内容 | 蠟型鑄造法とは | | | |
| 2回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 蠟の特性を知る | 270 |
| | 内容 | 蠟原型制作 | | | |
| 3回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 工程のポイントを学ぶ | 450 |
| | 内容 | 窯詰め、焼成 火入れ、鑄型の焼成をする | | | |
| 4回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 工程のポイントを学ぶ | 450 |
| | 内容 | 鑄込み | | | |
| 5回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 到達度ポートフォリオの作成 | 80 |
| | 内容 | 仕上げ 型を割り、湯道、釘を抜く 酸洗い、着色、色止めをする | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|----------------------------------|------|------|-----------------|----|------------------|--------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 特別演習（彫刻）（3美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1676203 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Special Seminar (Sculpture) | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 清島 浩徳 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L-A-216 | | | | | | オフィス アワー 月曜5限 | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 彫刻素材 彫刻作家 教養的知識 美術史の知識・理解 自己管理能力 論理力 アカデミックス キル | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 4年次の卒業研究のための予備研究として位置づけ、研究テーマの絞込みと、制作力の向上をめざして、制作のみならず、日本及び諸外国の伝統的な美術作品から現代の美術作品まで幅広く扱い、造形的な要素についての理解を深め、民族性や地域性と表現との関連、作家研究や論理的な考察も試みながら、表現者としての資質向上を目指す。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本美術史、西洋美術史、東洋美術史、西洋彫刻論、美術領域論Ⅱ | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 主な近代彫刻家について研究し理解することができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 近代から現代の彫刻について幅広い知識を得ることが出来るようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 卒業制作の試作を行なうことができるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | 主な彫刻素材について自ら研究できるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | 鑑賞したり研究したことを端的にレポートにできるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑥ | 調べたことをプレゼンテーションできるようになる | | | | | | | | | |
| 評価方法 (配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポート フォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 20 | 30 | 30 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 適宜指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 自分の好きな作家や興味のある作品などの研究をする 制作テーマを見つける。出来るだけ多くの美術館やギャラリーに行き、作品を見る(データや画像でなく本物を見る) |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | ・彫刻芸術に対する基本的な知識を得られたか ・自他の作品に対して、自らの言葉で感想やコンセプトを伝えることができたか ・作家研究等によって、自分の作品に反映することができたか ・卒業研究テーマが決まったか |

彫刻芸術に対する深い理解者となり、高度な資質を備えた表現者となるために、論理的なアプローチと感性的なアプローチをバランスよく試み、素材研究、作家研究、制作上での技法研究、コンセプチュアルな表現研究などの中から興味深いテーマを選び、自らの研究テーマを導き出す。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|----------------------|--------------|-------------|-------|
| 1回 | テーマ | 導入 | | 演習内容を理解する | 90 |
| | 内容 | オリエンテーション | | | |
| 2回 | テーマ | 作家研究 | | 作家研究(予習) | 270 |
| | 内容 | 作家研究を行いプレゼンテーションをする | | | |
| 3回 | テーマ | 素材研究 | | 素材研究(予習) | 450 |
| | 内容 | 素材研究をし、成果発表をする | | | |
| 4回 | テーマ | テーマ設定 | | テーマ制作(予習) | 450 |
| | 内容 | テーマ制作を行い、プレゼンテーションする | | | |
| 5回 | テーマ | プレゼンテーション | | 卒業研究テーマの決定 | 90 |
| | 内容 | 総括まとめ | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|------|------|-------------|-------|--------------------|---------------|------|------|------|
| 科目名 | 卒業研究◎（日本画、洋画、彫刻、視覚芸術）（4美） | | | | 開講学年 | 4 | 講義コード | 1676401 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | Graduation Study/Work | | | | 開講期 | 通年・集中 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 16 | |
| 担当教員 | 下城賢一 中村賢次 佐藤和歌子 熊谷有展 清島浩徳 勝野眞言 永田郁 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A 2 1 6 (清島研究室) A 4 1 6 (中村研究室)・A 4 1 2 (佐藤研究室) A 3 1 1 (熊谷研究室)・A 3 1 6 (下城研究室) A 2 1 2 (勝野研究室) A 2 0 8 (永田研究室) | | | | | | オフィス アワー 火曜日昼休み | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 卒業研究 卒業制作 制作上の課題の発見・解決力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 卒業制作・研究を行う。各専門に関連する各自の卒業研究テーマを決定し、担当教官より個別の指導を受け、4年間の集大成として作品制作及び研究を行なう。制作・研究指導に対するフィードバックはその都度実施する。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 本学科で履修した全ての科目 | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 作品及び研究に於ける全プロセスへの理解を深め、テーマの具現化を目指す。その過程に於いて問題提起とその解決能力を身に付けることができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 70 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--------------------------|
| 予備知識 | 本学科で履修した全ての科目 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 研究作品と制作論、研究姿勢などを総合的に評価する |

担当教員の指導のもとで各々の研究に必要な準備・取材等に十分な時間を掛け、目標に向かって日常的に自己反省とその解決のために必要な準備を実践する

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-----------------------------|--------------|---------------------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 卒業制作・研究のサイズやテーマ設定と提出日程確認 | 720 |
| | 内容 | オリエンテーション・卒業制作・研究の流れとテーマの決定 | | | |
| 2回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 各学生が担当教員のもと、3年間で修得した内容を踏まえテーマを設定する | 720 |
| | 内容 | 制作・研究のテーマ決定 | | | |
| 3回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 設定したテーマを具現化するために必要な理論及びイメージの構築・サイズの決定 | 720 |
| | 内容 | テーマの具体化 | | | |
| 4回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作・研究に必要な取材、使用画材・機材等の準備を行う | 720 |
| | 内容 | 制作・研究のための準備 | | | |
| 5回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 6回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 7回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 8回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 9回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 10回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 12回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 13回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 14回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 15回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 16回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 17回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 18回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 19回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 20回 | テーマ | 卒業制作・研究 | | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---------|--------------|-------------------|-------|
| 21回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 22回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 23回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 24回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 25回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究と卒業展に向けての準備 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 26回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究と卒業展に向けての準備 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 27回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究と卒業展に向けての準備 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 28回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究と卒業展に向けての準備 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 29回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究と卒業展に向けての準備 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |
| 30回 | テーマ | 卒業制作・研究 | 実習・PBL | 制作及び研究と卒業展に向けての準備 | 720 |
| | 内容 | 制作・研究 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--|------|------|-------------|----|------------------|-------------|------|------|------|
| 科目名 | 芸術文化演習Ⅲ◎（4美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 1676501 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | Art & Culture Studies : Practice III | | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 関根 浩子 永田 郁 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川棟103 | | | | | | オフィス アワー 金曜3限 | | | | |
| メールアドレス | seki1963@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 論理力思考力 論理力判断力 論理的伝達力 アカデミックスキル リテラシー 学外活動の反映力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>課題を発見し、解決できる高度な専門家を目指し卒業研究を論文で提出する学生にとっては必要不可欠な科目である。本科目は、「芸術文化演習Ⅱ」に引き続き、4年次の卒業研究（論文作成）に向けて、研究課題の設定や研究の方法、論文の構成や書き方など、卒業研究（論文）の遂行に必要な一連の事柄（作品やものの見方や考え方を含む）の指導を行う。「芸術文化演習Ⅲ」では、学術論文を実際に数本読みながら、論文や論文の書き方についてさらに知識を深めた後、学生による研究発表（1名/1週間）を中心に授業を進め、課題発見力や解決能力を養う。フィードバックは、プレゼンに対する講評や、レポートの赤入れ添削、構成の修正の形で行う。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 芸術文化コースの全科目 | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 個人、または他者との討議を通じて、物事について論理的・多面的に思考することができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 論理的に正しい結論を導き出すことができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | 思考の結果を、文章または口頭で筋道を立てて他者に伝達することができる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | 学術レポートの書き方やプレゼンテーションの技法を理解し、実践できる。 | | | | | | | | | |
| | ⑤ | データを論理的・多面的に分析・考察し、適切な表現方法で他者に伝えることができる。 | | | | | | | | | |
| | ⑥ | 専門領域における学外での活動を体験し、自身の論文に反映させることができる。 | | | | | | | | | |
| 評価方法（配点） | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表（口頭・実技） | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 50 | 25 | 0 | 10 | 15 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で個別に指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で個別に指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | テーマに関するある程度の知識。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 平常の討議・口頭発表の内容、提出された小論文もしくはレポート、出席状況、ポートフォリオによって総合的に評価する。 |

受講生各自の自主的、積極的な取り組みが必要である。また、研究内容の口頭発表、小論文の提出は必須である。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-------------------------|--------------|-----------------|-------|
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | なし | 0 |
| | 内容 | オリエンテーション1(科目のガイダンス) | 講義 | | |
| 2回 | テーマ | 進捗状況報告 | 対面 | 報告準備 | 90 |
| | 内容 | オリエンテーション2(研究の進捗状況報告) | 講義 演習 | | |
| 3回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | 講義 演習 | | |
| 4回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | 講義 演習 | | |
| 5回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | 講義 演習 | | |
| 6回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | 講義 演習 | | |
| 7回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | 講義 演習 | | |
| 8回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | 講義 演習 | | |
| 9回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | 講義 演習 | | |
| 10回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | 講義 演習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|----------------------------|--------------|-----------------|-------|
| 11回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | | | |
| 12回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | | | |
| 13回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | | | |
| 14回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | | | |
| 15回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | | | |
| 16回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 事前の下調べ・論文収集(予習) | 40 |
| | 内容 | 論文講読(履修者の研究テーマに関する論文講読) | | | |
| 17回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 発表準備(予習) | 180 |
| | 内容 | 履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表 | | | |
| 18回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 発表準備(予習) | 180 |
| | 内容 | 履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表 | | | |
| 19回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 発表準備(予習) | 180 |
| | 内容 | 履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表 | | | |
| 20回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 発表準備(予習) | 180 |
| | 内容 | 履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|----------------------------|--------------|-------------|-------|
| 21回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 発表準備(予習) | 180 |
| | 内容 | 履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表 | | | |
| 22回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 発表準備(予習) | 180 |
| | 内容 | 履修者による調査・研究のP.P.等を使用した口頭発表 | | | |
| 23回 | テーマ | 執筆・添削 | 対面 | 小論文作成(予習) | 120 |
| | 内容 | 研究テーマに関する小論文執筆、添削指導 | | | |
| 24回 | テーマ | 執筆・添削 | 対面 | 小論文作成(予習) | 120 |
| | 内容 | 研究テーマに関する小論文執筆、添削指導 | | | |
| 25回 | テーマ | 執筆・添削 | 対面 | 小論文作成(予習) | 120 |
| | 内容 | 研究テーマに関する小論文執筆、添削指導 | | | |
| 26回 | テーマ | 執筆・添削 | 対面 | 小論文作成(予習) | 120 |
| | 内容 | 研究テーマに関する小論文執筆、添削指導 | | | |
| 27回 | テーマ | 執筆・添削 | 対面 | 小論文作成(予習) | 120 |
| | 内容 | 研究テーマに関する小論文執筆、添削指導 | | | |
| 28回 | テーマ | 執筆・添削 | 対面 | 小論文作成(予習) | 120 |
| | 内容 | 研究テーマに関する小論文執筆、添削指導 | | | |
| 29回 | テーマ | 執筆・添削 | 対面 | 小論文作成(予習) | 120 |
| | 内容 | 研究テーマに関する小論文執筆、添削指導 | | | |
| 30回 | テーマ | 総括 | 対面 | 小論文最終作成(予習) | 180 |
| | 内容 | 半期の総括と各学生への今後の指導／小論文提出 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|------|------|-------------|-------------------|------------|------|------|------|
| 科目名 | 卒業研究◎（芸術文化）（4美） | | | 開講学年 | 4 | 講義コード | 1676702 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | Graduation Study/Work(Art & Culture) | | | 開講期 | 通年 | 開講形態 | 対面 | 単位数 | 8 | |
| 担当教員 | 関根 浩子 永田 郁 | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川棟103 | | | | | オフィス アワー 金曜放課後 | | | | |
| メールアドレス | seki1963@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | 論理的思考力 論理的判断力 論理的伝達力 アカデミックスキル データリテラシー 学外活動の反映力 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>本科目は芸術文化コースの卒業研究(論文)を執筆するために必要不可欠な科目である。各自の卒業研究のテーマを決定し、個別に指導を受けながら、4年間の集大成として研究論文の執筆を行う。担当教員の指導下で各々の研究に必要なフィールドワークや文献収集を十分に行い、提起した問題の解明(結論)に向けてを努力することで、論文を執筆する基礎能力や汎用的調査・研究能力を養う。フィードバックは、論文の添削や構成の修正などの形で行うので、赤入れされた箇所のコメントを熟読、再考し、よりよい卒業論文にしていって欲しい。</p> | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | 芸術文化コース全科目 | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 個人で、または他者との討議を通じて、物事について論理的・多面的に思考することができる。 | | | | | | | | |
| | ② | 論理的に正しい結論を導き出すことができる。 | | | | | | | | |
| | ③ | 思考の結果を、文章または口頭で、筋道を立てて他者に伝達することができる。 | | | | | | | | |
| | ④ | 学術レポートの書き方やプレゼンテーションの技法を理解し、実践できる。 | | | | | | | | |
| | ⑤ | データを理論的・多面的に分析・考察し、適切な表現方法で他者に説明できる。 | | | | | | | | |
| | ⑥ | 専門領域に関する学外での活動を体験し、自身の論文に反映させることができる。 | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | | 20 | 70 | 10 | 0 | 100 | |
| 教科書 | 個別に指導 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 個別に指導 | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | テーマに関するある程度の事前知識が必要 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 論文(70点)と口頭発表(20点)、ポートフォリオ(10点)の総点で評価を行う。 |

先行研究を熟読し、できるだけ早く未解明の問題を絞り込み、問題解明のための資料や文献収集、インタビューを行うこと。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|----------------------|--------------|-------------|-------|
| 1回 | テーマ | 学術論文を書く | 対面 | 学生に応じて異なる | 8カ月 |
| | 内容 | 授業としては設定せず、必要に応じ随時指導 | AI PBL | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|-------------------------------|------|------|-----------------|-------------------|-------------|---|------|------|------|
| 科目名 | 特別演習（アート・イラストレーション）（2美） | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 1676801 | 区分 | 選択 | | |
| 英文表記 | Special Seminar(Art Illustration) | | | 開講期 | 前期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 原 太一（非常勤） 柳田 也寿志 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | オフィス アワー 金曜1・2 | | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | イラストレーション 絵画 油彩画 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>絵画を制作する上で、画材の選択は非常に重要である。本授業では、絵画表現として油彩画を学び、物語性を持たせた作品制作を行うものである。油彩画の歴史、素材としての画材感を学び、自己の作品に活かした制作を計画・進行する。また、物語性は非常に重要な作品の根幹であり、物語を表現する画面構成を計画することも学ぶものである。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 基礎デッサン、アート・イラストレーション実習ⅠA・B・ⅡA・B、デジタルツール演習Ⅰ・Ⅱ、アート・イラストレーションメディア演習Ⅰ・Ⅱ | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 課題制作の工程を計画し、制作を計画的に進めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 油彩画の技法を理解し制作に活かすことができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | 課題に対する知識を得て、作品の発想に役立てることができる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | 平面表現を構成する要素を理解し制作に活かすことができる。 | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポート フォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | アート・イラストレーション実習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB デジタルツール演習Ⅰ・Ⅱ |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1. 作品講評会において自己の作品の評価と問題点を理解し、次回の制作に活かす姿勢を持つことができている。(20点) 2. 出題されている課題を理解しようという姿勢があり、完成度の高い作品が制作できている。(60点) 3. ポートフォリオによる振り返り(10点) 4. 授業において、課題に対し積極的に行い、創意工夫を持って制作に挑む姿勢を持っている。(10点) |

作品制作準備を十分に行い、出席することで制作時間を確保できるように心がけてください。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|----------------------------|--------------|-------------|-------|
| 1回 | テーマ | 絵画イラストレーション制作 | 対面 | 制作の計画・準備の確認 | 360 |
| | 内容 | 油彩画によるイラストレーション作品の制作 授業説明 | 演習 | | |
| 2回 | テーマ | 絵画イラストレーション制作 | 対面 | 制作の計画・準備の確認 | 360 |
| | 内容 | 油彩画によるイラストレーション作品の制作 | 演習 | | |
| 3回 | テーマ | 絵画イラストレーション制作 | 対面 | 制作の計画・準備の確認 | 360 |
| | 内容 | 油彩画によるイラストレーション作品の制作 | 演習 | | |
| 4回 | テーマ | 絵画イラストレーション制作 | 対面 | 制作の計画・準備の確認 | 360 |
| | 内容 | 油彩画によるイラストレーション作品の制作 | 演習 | | |
| 5回 | テーマ | 絵画イラストレーション制作 | 対面 | 制作の計画・準備の確認 | 360 |
| | 内容 | 油彩画によるイラストレーション作品の制作 作品の講評 | 演習 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--|------|------|-------------|----|---------------------|---|-----|----|--|
| 科目名 | 基礎デッサンⅡ（1美） | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2670501 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | basic drawing Ⅱ | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 下城 賢一 柳田也寿志 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A214 | | | | | | オフィス アワー 水曜日・放課後 | | | | |
| メールアドレス | shimojo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | デッサン 石膏像デッサン 素描 基礎造形 構成デッサン | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | この授業では平面および立体表現領域における基礎造形力を養うことを目的とする。デッサンを通して身近なモチーフ（描く対象）を深く観察し、そのモチーフに宿る均衡、律動、バランスなどを美しさを感じながら描き、対象に向き合うことを学ぶ。さらにはモチーフが作り出す空間と室内空間を適切な光と影を表現しながら修練を重ねることで、空間に対する認識力が高まっていく。またモチーフの観察力の高まりにより、表面の質感表現からより根本的なイメージの構築へと表現が深まって行くことを目指す。各実技課題毎に毎回作品公表・採点を行います。その採点が成績になります。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本画実習 洋画実習 彫刻実習 視覚造形実習 共通絵画実習Ⅰ 共通絵画実習Ⅱ 共通立体実習 アート・イラストレーション実習 3Dアート実習 | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】・・・絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 観察力:モチーフ(対象物)を客観的に観察できる | | | | | | | | | |
| | ② | 再現性:立体物としてのモチーフを平面画面に置き換える(描く)ことができる | | | | | | | | | |
| | ③ | 構成力:平面絵画における画面の構図・構成に関するデッサン技能を駆使できる | | | | | | | | | |
| | ④ | 論理的判断力:論理的に正しい結論を導き出すことができる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | 芸術活動の制作上の技法を支える造形的な思考を形作るための知識を身につけている | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 | 50 | 10 | 0 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | シャルル・バルグのドローイングコース (株)ポーンデジタル ジェラルド・M・アッカーマン 978-4-86246-376-0 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 基礎デッサンⅠ |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1.口頭による成果発 適時に自分の作品に対し狙い及び批評を行う 各20点×2回 40点 2.作品 制作に対しての取り組む姿勢、作品の内容(表現力、完成度、他)で総合的に評価する(50点) 3.ポートフォリオによる振り返り。(10点) |

デッサン用具一式(木炭、木炭紙、鉛筆、カルトンなど)を準備する。テーマにそった内容の講義を実習内に適時行い、テーマにつながる文献等を紹介し、実習外でそれらを補う学習法を指示する。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|--------------------|----------------------|--------------|--|-------|
| 1回 | テーマ 内容 | 静物素描 2種類のモチーフから選択する。 | 実習 | 対象をよく観察し、不要な部分を整理して、表現する力を養う。 形、明暗、材質、空間の表現 | 180 |
| 2回 | テーマ 内容 | | 実習 | | 180 |
| 3回 | テーマ 内容 | | 実習 | | 180 |
| 4回 | テーマ 内容 | | 実習 | | 180 |
| 5回 | テーマ 内容 | | 実習 | | 180 |
| 6回 | テーマ 内容 | | 実習 | | 180 |
| 7回 | テーマ 内容 | | 実習 | ポートフォリオの中間チェック | 180 |
| 8回 | テーマ 内容 | 構成デッサン | 実習 | 手とモチーフを組み合わせた構成デッサン | 180 |
| 9回 | テーマ 内容 | | 実習 | | 180 |
| 10回 | テーマ 内容 | | 実習 | | 180 |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-------|--------------|--|-------|
| 11回 | テーマ | " | 実習 | " | 180 |
| | 内容 | | | | |
| 12回 | テーマ | " | 実習 | 石膏デッサンⅠより高度な石膏像に取り組むことにより、応用力を身につける。ポートフォリオの提出 | 180 |
| | 内容 | | | | |
| 13回 | テーマ | " | 実習 | " | 180 |
| | 内容 | | | | |
| 14回 | テーマ | " | 実習 | " | 180 |
| | 内容 | | | | |
| 15回 | テーマ | " | 実習 | " | 180 |
| | 内容 | | | | |
| 16回 | テーマ | 全体講評会 | | デッサンの講評会と採点 | 180 |
| | 内容 | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------------------------------|------|------|-------------|----|---------------------|-------------|------|------|------|
| 科目名 | 美術領域論Ⅰ（平面造形）（1美デ） | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2670701 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Art domain theory (Plane painting) | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 遠隔授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 下城賢一 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A-316 | | | | | | オフィス アワー 金曜日・放課後 | | | | |
| メールアドレス | shimojo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 西洋絵画全般 絵画の再現性 ロマン主義 西洋絵画の派生について キリスト教絵画 ジャンルの派生について | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>多数の作品の画像をパワーポイントで紹介しながら講義・ディスカッションをする。学生は消費者としてではなく、表現者になるためにそれらのイメージの根底を読み解いていかなければならない。近代以降の画家は何を読み取り、何を表現してきたのか。この講義では西洋絵画全般を広く紹介し、作品制作にとって必要な平面絵画の知見を身につける。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 西洋美術史・東洋美術史 | | | |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)</p> | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 西洋絵画がキリスト教芸術からどのように派生したか理解している | | | | | | | | | |
| | ② | ロマン主義がその後の美術の動向にどのような影響を与えたか理解している | | | | | | | | | |
| | ③ | 絵画史と美術技法史の完成について理解している | | | | | | | | | |
| | ④ | 自画像が表現の根幹に関わっている理由を理解している | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 85 | 0 | 0 | 10 | 5 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 日本画実習1A・洋画実習2A・彫刻実習1A・基礎デッサン1・2 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | レポート提出(レポート3課題)85点 その他(出席など就学態度)5点 ポートフォリオ 10点 |

次の講義の課題について調べておくこと

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|--------------------|-------------------------|----------------------|------------------------------------|-------|
| 1回 | テーマ 内容 | オリエンテーション シラバス説明 授業概要など | 遠隔双方向 講義 | | 40 |
| 2回 | テーマ 内容 | 絵画の発展史① | 遠隔双方向 講義 | 絵画はどのようにして始まったのか?キリスト教絵画から多角的に紐解く。 | 90 |
| 3回 | テーマ 内容 | 絵画の発展史② | 遠隔双方向 講義 | 美術におけるジャンルの発生について。 | 90 |
| 4回 | テーマ 内容 | 絵画の発展史③ | 遠隔双方向 講義 | 「ロマン主義」1 | 90 |
| 5回 | テーマ 内容 | 絵画の発展史④ | 遠隔双方向 講義 | 「ロマン主義」2 | 90 |
| 6回 | テーマ 内容 | 絵画の発展史⑤ | 遠隔双方向 講義 | 「新古典主義」 | 90 |
| 7回 | テーマ 内容 | 絵画の発展史⑥ | 遠隔双方向 講義 | 「ナビ派」 | 90 |
| 8回 | テーマ 内容 | 絵画の発展史⑦ | 遠隔双方向 講義 | 「ラファエル前派」 | 90 |
| 9回 | テーマ 内容 | 絵画の発展史⑧ | 遠隔双方向 講義 | 「特別編 クリムト」1 | 90 |
| 10回 | テーマ 内容 | 絵画の発展史⑨ | 遠隔双方向 講義 | 「特別編 クリムト」2 | 90 |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | 絵画の発展史⑩ | 遠隔双方向 | 「特別編 技法編」1 | 90 |
| | 内容 | | 講義 | | |
| 12回 | テーマ | 絵画の発展史⑪ | 遠隔双方向 | 「特別編 技法編」2 | 90 |
| | 内容 | | 講義 | | |
| 13回 | テーマ | 絵画の発展史⑫ | 遠隔双方向 | 「自画像」1 | 90 |
| | 内容 | | 講義 | | |
| 14回 | テーマ | 絵画の発展史⑬ | 遠隔双方向 | 「自画像」2 | 90 |
| | 内容 | | 講義 | | |
| 15回 | テーマ | 絵画の発展史⑭ | 遠隔双方向 | 平面絵画の総合的な視点 | 90 |
| | 内容 | | 講義 | | |
| 16回 | テーマ | | | | |
| | 内容 | | 講義 | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-------------------------------------|------|------|-------------|----|-------------------|---------|------------|----|--|--|
| 科目名 | コンピュータ演習（1美） | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2670801 | 区分 | 選択 | | |
| 英文表記 | Seminar in Computer | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | | |
| 担当教員 | 森 英顕（非常勤・実務経験） | | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 教務課前 非常勤講師室 | | | | | | オフィス アワー 授業の前後 | | | | | |
| メールアドレス | h0002636@m.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | | |
| キーワード | 教養的知識 美術史の知識・理解 論理的伝達力 コンピュータリテラシー キャリアデザイン アントレプレナーシップ | | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>コンピュータ演習は、模倣的にセルフ(自分自身)で自分自身の展覧会(個展)をディレクション(制作・進行・管理)することで、アート・ワールドの構造や表現活動におけるプロジェクトの流れと全体像を把握する。汎用的技能の習得として、Word・Photoshop・Illustrator等のアプリケーションソフトを使用し、デジタル及び紙媒体への出力・印刷データの作成方法を習得することを目的とする。各授業の冒頭では演習の導入としてミニ講義を展開する。講義では、①「デジタルアプリケーションの基礎知識」と、②「アートの語源と歴史を概観しつつ、現代におけるアートの多面的展開」について論じる。①では、既存の様々なアプリケーションの機能を概観しつつ、今後加速度的に広がるであろうコンテンツ生成AIといった人工知能を操作するためのプロンプト・エンジニアリング(AIの思考を助け、必要な情報を取り出すための手法)の基本的構造と、これからのデジタルコンテンツ作成に必要な能力が、「自分が習得した職能的なスキル」と「職能や経験さえなくとも、言語モデルを用いてAIに発動させる魔術的なスキル」の二つに変化しつつある現状についても触れる。②では、表現活動におけるアーティスト・ステートメントの作成に必要なキーワードの概念に触れつつ、現代におけるアートの現場と理論、様々なアートマーケットや二次創作の扱い方(著作権)などについても実例を元に論じる。これらは実践として応用できる知見と横断的な視野を涵養することを目的とする。《アートのためのセルフ・ディレクション》本授業の意図は「アーティストの活動発表」を自分自身で実践できる方法を身に付けることである。各授業の冒頭ではアート・ワールドへの導入として、歴史・学術・マーケットの中で生まれたアートの捉え方を概観し、「アーティストの活動発表」すなわち「自分の作品を他者に鑑賞(体験)してもらおう活動」をどのように行うのか、その行いをどのように他者に伝えていくのかを”知る”ことについて述べていく。演習では課題をこなすだけではなく自らの作家活動を見据えた視野を持って取り組むこと。</p> | | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | | コンピュータ基礎実習 | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | | |
| | ① | アートのためのセルフ・ディレクションのプロセスを理解することができる。 | | | | | | | | | | |
| | ② | コンピュータの活用法を習得することができる。 | | | | | | | | | | |
| | ③ | 企画・広報に関わる文書・フライヤー等の作成法を習得することができる。 | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | | |
| | 0 | 0 | 0 | 25 | 30 | 20 | 10 | 15 | 100 | | | |
| 教科書 | 授業の中で適宜配布する | | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で適宜配布する | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | コンピュータ基礎実習 |
| 実務経験のある 教員 | 森 英頭 |
| 評価明細 基準 | <p>点数の割り当ては以下とする。(合計100点) ①成果発表(演習9課題と最終プレゼン×各3点)30点 ②レポート(実践演習5課題×各5点)25点【展覧会企画書・ハガキ両面・A4両面・キャプション・スリッス】 ③作品 20点(実践演習5課題をすべて提出することで作品完成とし、点数を付加する。) ④ポートフォリオ 10点 ⑤その他【出席】15点(1日×1点/15回) ※実践演習(5課題)の提出は単位取得の必須条件となります。※合計点数が59点以下は不合格となります。</p> |

・授業では各自所有しているパソコンを使用する。必ず持参すること。また、事前にOffice365のword、Adobe Creative Cloud(学生・教職員個人版ライセンス)のPhotoshop、Illustrator、Acrobatをインストールしておくこと。・自身の作品発表(個展)を想定した模擬演習を行う。自分の作品(3点)を制作し、写真データを準備しておくこと。・コンピュータの操作を覚えるだけでなく、日常の中で実際に活用できることが本カリキュラムの目的である。課題を通して自分自身の様々な活動に応用できるように、その意識を持って取り組むこと。・授業の進行や成績評価基準に関わる成果発表・レポート提出(5課題)などは全てWebclass上で提出・採点する。課題提出の成績確認は、WebClassの『成績』→『集計』もしくは『テスト結果』で確認すること。提出不備など各自への連絡事項はWebclassのメッセージ上で行う。こちらも確認を怠らないこと。

学修上の
注意
(SBOs)

| 授業計画 | | | | | |
|------------|--------------------|--|--------------------------------|---|--------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
| 1回 | テーマ 内容 | コンピュータ基礎 はじめに 1. コンピュータ演習アジゲンド 2. 自分のパラメータを可視化する: 価値観レーダーチャート作成 3. 自己PR ジェネレーターフォーム入力 4. 《課題01 自己プロフィールペーパー》 | 対面授業 講義 + 課題 演習 | プロフィール作成を行うので、自分自身の活動歴をテキスト化できるように考えておくこと | 180 |
| 2回 | テーマ 内容 | 文書作成 (Word) 1. PDFとは何か 2. アートにおける印刷物 3. デザインの相場 4. 既成の展覧会フライヤーから情報を抽出する 5. リバースエンジニアリング手法とは 6. 《課題02展覧会企画書要約》 | 対面授業 講義 + 課題 演習 | 展覧会のフライヤーなど参考資料を集めておくこと | 180 |
| 3回 | テーマ 内容 | 画像編集 (Photoshop) 1. アートのためのセルフ・ディレクション: アートの起源 2. Photoshopとは 3. Photoshopでできること 4. PhotoshopとIllustratorの違い 5. ネームい写真を補正する 6. ビットマップ画像とベクター画像の違い 7. 解像度とは? 「dpi / ppi」の意味と違い 8. レイヤーとは 9. 《課題03アーティストック・ポートレート》 | 対面授業 講義 + 課題 演習 | 自分の作品制作(3点)を進めておくこと | 180 |
| 4回 | テーマ 内容 | 画像編集 (Photoshop / Illustrator) 1. データリスト活動のためのコンピュータ活用法 2. ステンドメントの役割 3. PhotoshopとIllustratorの違い(復習) 4. ビットマップデータとベクターデータ(復習) 5. ベクターデータでできること (illustrator) 6. Photoshop / 歪みと塗りつぶし 7. Photoshop / コピースタンプツール修正 8. Illustrator / クリッピングマスク 9. 《課題04クリッピングマスク》 | 対面授業 講義 + 課題 演習 | 自分の作品制作(3点)を進めておくこと | 180 |
| 5回 | テーマ 内容 | レイアウト編集 (Illustrator) 1. データとは? (語源編) 2. データの視点 3. 創造を生み出すサイクル 4. 作家活動における創造のプロセス循環 5. トレース画像の読み込み 6. 直方体、立方体の作り方 7. 色の指定 8. 矢印の作り方 9. テキストエリアの作り方 10. 《課題05 レクチャー》 | 対面授業 講義 + 課題 演習 | 自分の作品制作(3点)を進めておくこと | 180 |
| 6回 | テーマ 内容 | レイアウト編集 (Illustrator) 1. データ・芸術・美術の語源と歴史(参考文献) 2. 組版とは 3. アートのための組版 4. 展覧会ポスター 5. 展覧会フライヤー 6. 図録・カタログ 7. テキストを作成して操作する 8. レイアウトデザイン 9. スタンプの作成 10. 《課題06 レイアウトデザイン》 | 対面授業 講義 + 課題 演習 | 自分の作品制作(3点)を進めておくこと | 180 |
| 7回 | テーマ 内容 | レイアウト編集 (Illustrator) 1. 組版(活版) 2. 文字情報と作家活動 3. データとテキスト 4. エンバジューとシンパシー 5. セルフディレクションで心がけること 6. Illustratorで複数のページを作る 7. 段組みの作成 8. インデント設定 9. アイコン作成 10. 《課題07 組版》 | 対面授業 講義 + 課題 演習 | 自分の作品制作(3点)を進めておくこと | 180 |
| 8回 | テーマ 内容 | レイアウト編集 (Illustrator) 1. Adobe Creative Cloud について 2. Photoshop / Illustrator / Lightroom 3. InDesign / Acrobat 4. Dreamweaver / XD 5. Dimension 6. Premiere / After Effects 7. Audition 8. Media Encoder 9. Web デザインの種類 10. 《課題08 マップ》 | 対面授業 講義 + 課題 演習 | 自分の作品制作(3点)を進めておくこと | 180 |
| 9回 | テーマ 内容 | レイアウト編集 (Illustrator) 1. 印刷データ作成と入稿 2. 印刷方法の種類 3. 入稿データの種類 4. ネット印刷を利用する際の印刷データの注意点 5. RGBとCMYK 6. データ入稿の使用フォントについて 7. 黒色の注意点(リッチブラック) 8. PhotoshopでRGBをCMYKに変換する 9. トリムマーク(トンボ)作成 10. 《課題09 ブックジャケット》 | 対面授業 講義 + 課題 演習 | 自分が作りたいブックジャケットの書籍を選んでおくこと | 180 |
| 10回 | テーマ 内容 | 実践演習課題(1) 展覧会企画書 1. 実践演習について《アートのためのセルフ・ディレクション》 2. 仮想個展(展覧会)企画書作成 - 展覧会開催の要素を言語化する - 3. 展覧会企画書フォーム入力 4. 《実践演習課題(1) 展覧会企画書》 5. DM / フライヤーにレイアウトするマップを作成する | 対面授業 講義 + 課題 演習 | Illustratorの基本操作の確認 | 180 |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|--|----------------|---|--------|
| 11回 | テーマ | 実践演習課題(2) DM ハガキ両面 | 対面授業 | 自分の作品(3点)の写真の準備と、自分が作りたいDM(ハガキ)のイメージ図を考えてくること | 180 |
| | 内容 | 1. 個展開催のセルフ・ディレクション(展覧会開催までのプロセスを知る) 2. 展覧会の役割表記: 主催、協賛・協力・後援・助成 3. なぜ社会はアートを必要とするのか? 4. アーティストとは何か 5. アートの必要性(公共性) 6. 市場経済から見るアートとは 7. 営利・非営利の考え方 8. アートと企業 9. 企業が文化と関わる理由・目的 10. 《実践演習課題(2) DM ハガキ両面》 | 講義 + 課題 演習 | | |
| 12回 | テーマ | 実践演習課題(3) フライヤーA4両面作成 | 対面授業 | 自分の作品(3点)の写真の準備と、自分が作りたいフライヤー(A4)のイメージ図を考えてくること | 180 |
| | 内容 | 1. 日本の美術界について 2. アートワールド / Art World 3. デザイナーとコレクターを繋ぐアートディーラー 4. 画廊の種類 5. 世界のコマースギャラリー(メガ・ギャラリー) 6. アートシー / Artsy 7. アート作品の流れ 8. アートフェアとオークション 9. 《実践演習課題(3) フライヤーA4両面作成》 | 講義 + 課題 演習 | | |
| 13回 | テーマ | 実践演習課題(4) キャプション | 対面授業 | 実践演習課題をブラッシュアップしておくこと | 180 |
| | 内容 | 1. 著作権について 2. 盗用について 3. ジブリと著作権 4. 二次創作とは 5. 二次創作は著作権侵害? 6. 二次創作ガイドラインとは? 7. 著作権表示について(出典表記) 8. 付記: オマージュやレディメイド作品は著作権侵害か? 9. 《実践演習課題(4) キャプション》 | 講義 + 課題 演習 | | |
| 14回 | テーマ | 実践演習課題(5) プレスリリース | 対面授業 | 実践演習課題をブラッシュアップしておくこと | 180 |
| | 内容 | 1. 【総括】コンピュータ演習における《アートのためのセルフ・ディレクション》 2. ART活動・制作行為の作品化 3. 自己表現とは? 4. 自分の作品(自己表現)を他者に伝える 5. メディア活用をデザインする 6. 魅力的な展覧会を作り上げるには 7. 展覧会デザインの現場 8. ターゲット・オーディエンスを意識する 9. キョレーションすることで、メッセージ性を強くする 10. プレスリリース(Press Release)とは 11. 広告(advertising)とパブリシティ(publicity)との違い 12. 取材したくなるプレスリリースの書き方 13. 《実践演習課題(5) プレスリリース》 | 講義 + 課題 演習 | | |
| 15回 | テーマ | 現代から見たart特論 | 対面授業 | 提出課題である、/展覧会計画書/ フライヤー(DM)/フライヤー(A4)/キャプション/プレスリリース/ のデータの最終確認をし、提出できるよう準備をしておくこと | 180 |
| | 内容 | 1. 【アートって何?】 2. 芸術の「モノ」であることからの解放 3. 思考実験「ダントーのパネル」 4. 眼に見える相違点がないとしたら、(眼に見えない)相違点がなければならぬ。 5. アートワールドとは(異なる意見) 6. 制度的芸術定義 7. アートワールドは集合行動としての芸術 8. 芸術家の4つのタイプ 9. アートワールドの外側にある日常も「芸術」である。 10. 【芸術作品って?】 | 講義 + 課題 演習 | | |
| 16回 | テーマ | プレゼンテーション&講義 | 対面授業 | プレゼンテーションの準備をしておくこと | 180 |
| | 内容 | 1. 【プレゼンテーション講評】 2. コンピューターの活用法は変化するもの 3. AI(人工知能) 4. プロンプトエンジニアリング 5. 画像生成AI 6. AIに仕事を奪われる? 7. 【最後に】 | プレゼン + 講評 + 講義 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|----------------------------|------|------|-------------|----|--------------------|------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 日本画実習ⅠB*1(1美) | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2671001 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Japanese Painting I B | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 8 | |
| 担当教員 | 佐藤 和歌子 田淵 恵理 (非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A412 | | | | | | オフィス アワー 火曜・昼休み | | | | |
| メールアドレス | w-sato@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 日本画,細密写生,模写,鳥獣戯画 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>東洋芸術と西洋芸術の相違は、その地の人々の生活・文化・宗教等に起因するものである。その中において日本美術は正確且つ現実的な物体・空間・存在を表現するのではなく、自然との対話と融合を重んじ、精神性を求める芸術へと発展してきた。伝統技法と古典を臨模することにより、この日本画本来の美意識と自然観を探求する。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画) | | | |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p> | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 日本画の画材の基本的な使用方法を理解することができる | | | | | | | | | |
| | ② | 日常的に制作に取り組む姿勢を養うことができる | | | | | | | | | |
| | ③ | 描くために必要な集中力を身に付けることができる | | | | | | | | | |
| | ④ | 古来より続く日本美術に対して理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | 現代社会における模写の役割を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 出席及び制作姿勢(20点) | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 予備知識 | 日本画実習 I A |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 出席及び制作姿勢と実習に於ける全ての作品に対して評価を行う。 |

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------------------|------------------------------|--------------|--|--------|
| 1回 | テーマ 細密写生 鳥の剥製 | 使用する剥製の選択 和紙(美濃紙)の水張り及び鉛筆で描写 | 講義・実習 | 水張りに使用する道具(刷毛、筆洗、のり、絵皿など)の準備、手順を確認しておく | 720 |
| 2回 | テーマ 細密写生 鳥の剥製 | 鉛筆で描写 | 実習 | 日本画細密写生における鉛筆の使い方について十分に検討する | 720 |
| 3回 | テーマ 細密写生 鳥の剥製 | 鉛筆で描写 墨入れ・地塗り | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 4回 | テーマ 細密写生 鳥の剥製 | 水干絵具による細密写生 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 5回 | テーマ 細密写生 鳥の剥製 | 水干絵具による細密写生 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 6回 | テーマ 細密写生 鳥の剥製 | 水干絵具による細密写生 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 7回 | テーマ 細密写生 鳥の剥製 | 谷評・採点 | 講義・実習 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 720 |
| 8回 | テーマ 模写 鳥獣戯画 | 鳥獣戯画及び模写の技法・役割等の説明 | 講義・実習 | 模写の技法・役割について十分に検討する | 720 |
| 9回 | テーマ 模写 鳥獣戯画 | 模写(鉛筆) | 実習 | 模写における鉛筆の使い方について十分に検討する | 720 |
| 10回 | テーマ 模写 鳥獣戯画 | 模写(鉛筆) 水張り(厚美濃紙) | 実習 | 模写における鉛筆の使い方について十分に検討する | 720 |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------------|--------------|-------------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 模写 鳥獣戯画 | 実習 | 模写における鉛筆の使い方について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 模写(鉛筆) 永張り(薄美濃紙) | | | |
| 12回 | テーマ | 模写 鳥獣戯画 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 模写(墨) | | | |
| 13回 | テーマ | 模写 鳥獣戯画 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 模写(墨) | | | |
| 14回 | テーマ | 模写 鳥獣戯画 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 模写(墨) | | | |
| 15回 | テーマ | 模写 鳥獣戯画 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 模写(墨) | | | |
| 16回 | テーマ | 模写 鳥獣戯画 | 講義・実習 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 180 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|------------------------------|------|------|-------------|----|---------------------------------|---------|---------|------|--------|------|
| 科目名 | 洋画実習ⅠB＊2（1美） | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2671201 | 区分 | 選必 | | |
| 英文表記 | Oil PaintingⅠB | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 8 | | |
| 担当教員 | 下城賢一 熊谷有展 中川百合恵（非常勤） | | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A305 | | | | | | オフィス アワー 月1,2 水1,2 木1,2 金1,2 | | | | | |
| メールアドレス | kumagae@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | | |
| キーワード | 油絵具 キアロスクーロ(古典的デッサン) 静物油彩 人体骨格 素描 | | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>洋画実習ⅠAにおいて試みた基礎造形力を学ぶ課題をさら深め応用するための課題に取り組む。洋画実習ⅡBではこの基礎造形力を身につける課題に引き続き取り組みつつ1Aで評価基準とした3点をがどのような面で絵画表現にとって必要かを思考し各学生が共有できるように課題が組まれている。さらに画材への理解を深め、様々な用具の特性を理解し自らの制作に応用できるようにする。この授業での評価基準としては1Aにおける3点(観察力・技術・構成力)に加えて各学生の油彩表現における絵画的な豊かさや技法の習得、色彩と明暗の理解も併せて評価の基準とする。</p> | | | | | | | | 関連科目 | | 洋画実習1A | |
| | | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p> | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | | |
| | ① | 油彩画の基本的な技法を理解し、応用力を養うことができる。 | | | | | | | | | | |
| | ② | 無彩色から有彩色へ色彩について応用できるようになる。 | | | | | | | | | | |
| | ③ | 油絵具による質感表現に取り組むことができる。 | | | | | | | | | | |
| | ④ | グリザイユ技法による空間表現を理解することができる。 | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | 自然な人物表現ができるようになる。 | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | 室内空間が描けるようになる。 | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 | 50 | 10 | 10 | 100 | | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 洋画実習1A、基礎デッサンI・II、西洋美術史、美術領域論 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1.成果発表(作品講評会)において作品への評価を受け、問題点や解決への緒を各学生が導き出す。(10点×3回 計30点) 2.課題のテーマ、モチーフへの理解と観察、などを基準にして総合的に作品の評価を行います。50点 3ポートフォリオによる振り返り(10点) |

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------------------|--------------|------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | デッサン | 実習 | 使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認 | 540 |
| | 内容 | 着彩紙デッサン(キアロスクーロ) | | | |
| 2回 | テーマ | デッサン | 実習 | 使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認 | 1620 |
| | 内容 | 裸婦デッサン/大型木炭紙 | | | |
| 3回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認 | 2700 |
| | 内容 | 着衣人物/油彩画 | | | |
| 4回 | テーマ | 油彩画 | 実習 | 使用画材と技法の理解 準備物と課題計画の確認 | 5220 |
| | 内容 | 人物座像/デッサン、グリザイユ、油彩画 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|------|------|-------------|-------------------|---|------|------|------|
| 科目名 | アート・イラストレーション実習ⅠB*3(1美) | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2671501 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Art・illustration practical training I B | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 6 | |
| 担当教員 | 柳田 也寿志 高倉 万優(非常勤) | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | オフィス アワー 水曜1・2 | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | クロッキー モチーフデッサン 人物デッサン イラストレーション 基礎造形力の三要素 専門分野における基礎造形力 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | アート・イラストレーション実習ⅠAで養った基礎造形力をさらに深める応用的な課題に取り組む。特に、人体に着目し、その構造、バランスなど人体を構成する要素を理解し、キャラクターや人物描写へと繋げることができる造形力を養う。制作課題の結果は、講評会時など適宜口頭によるフィードバックをこなっていく。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | アート・イラストレーション実習ⅠB、アート・イラストレーション実習ⅡA、アート・イラストレーション実習ⅡB、アート・イラストレーション実習ⅢA、アート・イラストレーション実習ⅢB、アート・イラストレーション実習ⅠB、デジタルツール演習Ⅰ、デジタルツール演習Ⅱ、アート・イラストレーションメディア演習Ⅰ、アート・イラストレーションメディア演習Ⅱ | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 絵画的な基礎造形力を理解し、目的を持ってクロッキーやデッサンを行うことができる。 | | | | | | | | |
| | ② | 観察力、構成力、描写力を各課題で発揮することができる。 | | | | | | | | |
| | ③ | 絵画的な基礎造形力を身につけ、イラストレーション制作に活かすことができる。 | | | | | | | | |
| | ④ | 人体構造を理科し、応用してイラストレーションへ展開知ることができる。 | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | |
| 教科書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | デジタル演習Ⅰ・Ⅱ、アート・イラストレーション実習ⅠA |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1.作品講評会において自己の作品の評価と問題点を理解し、次回の制作に活かす姿勢を持つことができている。(20点) 2.出題されている課題を理解しようという姿勢があり、完成度の高い作品が制作できている。(60点) 3.ポートフォリオによる振り返り(10点) 4.授業において、課題に対し積極的に行い、創意工夫を持って制作に挑む姿勢を持っている。(10点) |

作品制作準備を十分に行い、出席することで制作時間を確保できるように心がけてください。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|----------------------------------|--------------|-------------------|-------|
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 本授業の計画・説明 | 実習 | | |
| 2回 | テーマ | クロッキー | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、さまざまな画材でクロッキーを行う。 | 実習 | | |
| 3回 | テーマ | クロッキー | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、さまざまな画材でクロッキーを行う。 | 実習 | | |
| 4回 | テーマ | クロッキー | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、さまざまな画材でクロッキーを行う。 | 実習 | | |
| 5回 | テーマ | クロッキー | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、さまざまな画材でクロッキーを行う。 | 実習 | | |
| 6回 | テーマ | クロッキー | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、さまざまな画材でクロッキーを行う。作品の講評 | 実習 | | |
| 7回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。単元の説明 | 実習 | | |
| 8回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。 | 実習 | | |
| 9回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。 | 実習 | | |
| 10回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|----------------------------------|--------------|-------------------|-------|
| 11回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」・「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。 | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」・「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。 | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」・「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。 | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」・「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。 | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」・「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。 | 実習 | | |
| 16回 | テーマ | セルフポートレート・ポートレート写真模写 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 「自画像」・「肖像画」どちらかを主題に写真模写を行う。作品の講評 | 実習 | | |
| 17回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。単元の説明 | 実習 | | |
| 18回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。 | 実習 | | |
| 19回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。 | 実習 | | |
| 20回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---|--------------|-------------------|-------|
| 21回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。 | 実習 | | |
| 22回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。 | 実習 | | |
| 23回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。 | 実習 | | |
| 24回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。 | 実習 | | |
| 25回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。 | 実習 | | |
| 26回 | テーマ | 人物デッサン(着衣・ヌード) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | モデルをよく観察し、クロッキー・デッサンを行う。作品の講評 | 実習 | | |
| 27回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 実画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 単元の説明 | 実習 | | |
| 28回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 実画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 29回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 実画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 30回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 実画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|------------------------------------|--------------|-------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 31回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 32回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 33回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 34回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 35回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 36回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 37回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 38回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 39回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 40回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---|--------------|---------------------------|-------|
| 41回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 42回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 43回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 44回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 | 実習 | | |
| 45回 | テーマ | 絵画表現イラストレーション | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 後期の振り返り | 180 |
| | 内容 | 美画材を使用した絵画表現を意識したイラストレーション作品を制作する。 作品の講評 | 実習 | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|------|------|-------------|-------------------|---|------|------|------|
| 科目名 | デジタルツール演習Ⅱ（1美） | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2671601 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Digital tool exercises II | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 高倉 万優(非常勤) 柳田 也寿志 | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | オフィス アワー 金曜1・2 | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | イラストレーション デジタルイラストレーション イラストレーションアプリケーション クリップスタジオ ペイント リテラシー 専門分野における基礎造形力 自己管理能力 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | デジタルによるイラストレーション作品は、様々な媒体へと変化することが前提である。その最終形態を念頭に入れた作品制作をすることはイラストレーション作品にはとても重要なため、印刷素材や形状、媒体を計画段階から念頭に入れ制作を行う。制作課題の結果は、講評会時など適宜口頭によるフィードバックをこなっていく。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | アート・イラストレーション実習ⅠB、アート・イラストレーション実習ⅡA、アート・イラストレーション実習ⅡB、アート・イラストレーション実習ⅢA、アート・イラストレーション実習ⅢB、アート・イラストレーション実習ⅠB、デジタルツール演習Ⅰ、デジタルツール演習Ⅱ、イラストレーション・メディアⅠ、イラストレーション・メディア演習Ⅱ | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | デジタルツールの基礎的な使用技術を習得している。 | | | | | | | | |
| | ② | イラストレーションアプリの基礎的な使用技術を習得している。 | | | | | | | | |
| | ③ | イラストレーションアプリの使用技術を定着させ自己の制作に使用することができる。 | | | | | | | | |
| | ④ | イラストレーションの発表形態を念頭に入れた制作ができる。 | | | | | | | | |
| | ⑤ | イラストレーションの印刷素材を念頭に入れた作品展開ができる。 | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | |
| 教科書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示 | | | | | | | | | |

基礎デッサン、デジタルツール演習Ⅰ、アート・イラストレーション実習ⅠA・B

予備知識

実務経験
のある
教員評価明細
基準

1. 作品講評会において自己の作品の評価と問題点を理解し、次回の制作に活かす姿勢を持つことができている。(20点)
2. 出題されている課題を理解しようという姿勢があり、完成度の高い作品が制作できている。(60点) 3. ポートフォリオによる振り返り(10点) 4. 授業において、課題に対し積極的に行い、創意工夫を持って制作に挑む姿勢を持っている。(10点)

作品制作準備を十分に行い、出席することで制作時間を確保できるように心がけてください。

学修上の
注意
(SBOs)

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|--|--------------|-------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 本授業の説明 | 演習 | | |
| 2回 | テーマ | 写真模写(スイーツ写真) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 自ら取材を行い、写真資料を撮影する。写真資料をもとに、デジタルツールによる写真模写を行う。本単元の説明 | 演習 | | |
| 3回 | テーマ | 写真模写(スイーツ写真) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 自ら取材を行い、写真資料を撮影する。写真資料をもとに、デジタルツールによる写真模写を行う。 | 演習 | | |
| 4回 | テーマ | 写真模写(スイーツ写真) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 自ら取材を行い、写真資料を撮影する。写真資料をもとに、デジタルツールによる写真模写を行う。 | 演習 | | |
| 5回 | テーマ | 写真模写(スイーツ写真) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 自ら取材を行い、写真資料を撮影する。写真資料をもとに、デジタルツールによる写真模写を行う。 | 演習 | | |
| 6回 | テーマ | キャラクター造形(スイーツ擬人化) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 写真模写で得られた情報から、スイーツを擬人化したキャラクター造形を行う。 | 演習 | | |
| 7回 | テーマ | キャラクター造形(スイーツ擬人化) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 写真模写で得られた情報から、スイーツを擬人化したキャラクター造形を行う。 | 演習 | | |
| 8回 | テーマ | キャラクター造形(スイーツ擬人化) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 写真模写で得られた情報から、スイーツを擬人化したキャラクター造形を行う。 | 演習 | | |
| 9回 | テーマ | キャラクター造形(スイーツ擬人化) | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 写真模写で得られた情報から、スイーツを擬人化したキャラクター造形を行う。作品の講評 | 演習 | | |
| 10回 | テーマ | 動物をモチーフにしたキャラクター造形とグッズ化 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 動物をモチーフにキャラクターを造形する。また、そのキャラクターを用いたグッズに展開しグッズを制作する。本単元の説明。 | 演習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---|--------------|-------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 動物をモチーフにしたキャラクター造形とグッズ化 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 動物をモチーフにキャラクターを造形する。また、そのキャラクターを用いたグッズに展開しグッズを制作する。 | 演習 | | |
| 12回 | テーマ | 動物をモチーフにしたキャラクター造形とグッズ化 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 動物をモチーフにキャラクターを造形する。また、そのキャラクターを用いたグッズに展開しグッズを制作する。 | 演習 | | |
| 13回 | テーマ | 動物をモチーフにしたキャラクター造形とグッズ化 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 動物をモチーフにキャラクターを造形する。また、そのキャラクターを用いたグッズに展開しグッズを制作する。 | 演習 | | |
| 14回 | テーマ | 動物をモチーフにしたキャラクター造形とグッズ化 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 動物をモチーフにキャラクターを造形する。また、そのキャラクターを用いたグッズに展開しグッズを制作する。 | 演習 | | |
| 15回 | テーマ | 動物をモチーフにしたキャラクター造形とグッズ化 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 動物をモチーフにキャラクターを造形する。また、そのキャラクターを用いたグッズに展開しグッズを制作する。作品の講評。 | 演習 | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|---|---------------------------------|------|------|-------------|------------------|--------------------|------|------|------|
| 科目名 | 3Dアート実習IB*4(1美) | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2671901 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | 3 dimensional art Work 1B | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | ブレンド授業(対面+遠隔) | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 清島 浩徳(実務経験) 涌井 晃(非常勤講師) | | | | | | | | | |
| 研究室 | L-A-104 | | | | | オフィス アワー 月曜5限 | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | 3DCG 3Dモデリング 塑像 アニメーション 専門分野における基礎造形力 リテラシー 基礎造形力の三要素 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 3DCGと実際の粘土両方による人体像の制作を行う。写実的な表現を試みることで、造形的な見方・考え方を働かせ、基礎的な立体造形力を身につけることを目指す。量感や奥行きといった、立体ならではの感覚を高め、粘土素材を自由に駆使できるようになるには、創造的な思考力、判断力、表現力を身につけるための多くの修練が必要である。全身像の制作では人体の比例や均衡、動勢、マッサなどについての理解が求められる。何度も繰り返し制作を続けながら、表現者としての感性、観察眼を養うとともに、学んだことを総合的に組み立てて、意図するものがより明確に表現できるように務める。さらに自分で作成した3DCGのモデルを基に3DCGアニメーション表現の基礎を修得する。授業以外の時間で自主的に制作を深め、毎日制作する習慣を身につけることで、表現者としての資質の向上を目指す。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | 西洋美術史、日本美術史、美術領域論Ⅱ | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 人体のデッサン力を高めることができるようになる | | | | | | | | |
| | ② | Mayaの基本操作を修得する | | | | | | | | |
| | ③ | アニメーション表現に主体的に取り組み、基礎的表現力を修得する。 | | | | | | | | |
| | ④ | 面や量感などの造形要素を理解できるようになる | | | | | | | | |
| | ⑤ | モデルを見て、的確なモデリングができるようになる | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | |
| 教科書 | 適宜指示します | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示します | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | Mayaの基本操作を理解する NSP粘土の性質を理解する 人体の骨格や筋肉などを観察して繰り返しデッサンする 立体を形作る面、量、質感、空間などや、比例、均衡、動勢、マッサなどについて理解する 彫刻の素材や制作の為の道具について研究する |
| 実務経験のある 教員 | 清島浩徳 |
| 評価明細 基準 | Mayaを用いてアニメーション表現ができるようになったか 的確なデッサンに基づくモデリングができたか 表現に工夫がみられたか 毎回テーマを持って取り組めたか |

心身ともに健康面の管理を徹底する 道具等の管理を自ら責任をもって行なう 最後まで粘り強く作品を作り上げる姿勢で臨む 自主制作を徹底する

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|-----------------------|--------------|--------------|--------|
| 1回 | テーマ | Maya Basic1 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 基本的なモデリング手順の説明【課題1 魚】 | | | |
| 2回 | テーマ | Maya Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | UV展開【課題1 魚】 | | | |
| 3回 | テーマ | Maya Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | リギング【課題1 魚】 | | | |
| 4回 | テーマ | Maya Basic1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | デニメーション【課題1 魚】 | | | |
| 5回 | テーマ | Maya Basic1 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | レンダリング【課題1 魚】 | | | |
| 6回 | テーマ | Maya Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2 鳥のアニメーション】 | | | |
| 7回 | テーマ | Maya Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2 鳥のデニメーション】 | | | |
| 8回 | テーマ | Maya Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2 鳥のデニメーション】 | | | |
| 9回 | テーマ | Maya Basic2 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2 鳥のアニメーション】 | | | |
| 10回 | テーマ | Maya Basic2 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題2 鳥のアニメーション】 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|----------------------------------|--------------|--------------|--------|
| 11回 | テーマ | Maya Basic3 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題3 ロボットのアニメーション】 | | | |
| 12回 | テーマ | Maya Basic3 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題3 ロボットのアニメーション】 | | | |
| 13回 | テーマ | Maya Basic3 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 【課題3 ロボットのアニメーション】 | | | |
| 14回 | テーマ | Maya Basic3 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題3 ロボットのアニメーション】 | | | |
| 15回 | テーマ | Maya Basic3 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 【課題3 ロボットのアニメーション】 | | | |
| 16回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 人体制作概説・粘土による人物像作品制作の準備 | | | |
| 17回 | テーマ | 人体デッサン基礎 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | デッサン基礎学習とジェスチャーボードローイングについて学習する | | | |
| 18回 | テーマ | 塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | NSP粘土による鳥の模刻を通して動勢(ムーブマン)の表現を試みる | | | |
| 19回 | テーマ | 全身人体解剖学基礎 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 全身の人体解剖学の基礎について学習する | | | |
| 20回 | テーマ | 塑像制作基礎2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | NSP粘土による動物制作 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|----------------------------|--------------|--------------|--------|
| 21回 | テーマ | 女性人物像制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | あらゆる角度からモデルをデッサンして構造を理解する。 | | | |
| 22回 | テーマ | 女性人物像制作2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | NSP粘土を用いて、人物像の荒付けをする。 | | | |
| 23回 | テーマ | 女性人物像制作3 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | NSP粘土による人物像制作を進める。 | | | |
| 24回 | テーマ | 女性人物像制作4 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | NSP粘土による人物像制作を進める。 | | | |
| 25回 | テーマ | 講評・相互評価 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 人物像の仕上げを行い、講評・相互評価を行う。 | | | |
| 26回 | テーマ | 男性人物像制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | あらゆる角度からモデルをデッサンして構造を理解する。 | | | |
| 27回 | テーマ | 男性人物像制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | NSP粘土を用いて、人物像の荒付けをする。 | | | |
| 28回 | テーマ | 男性人物像制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | NSP粘土による人物像制作を進める。 | | | |
| 29回 | テーマ | 男性人物像制作1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | NSP粘土による人物像制作を進める。 | | | |
| 30回 | テーマ | 講評・相互評価 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | NSP粘土による人物像制作を進める。 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--------------------------|------|------|-------------|-------------------|---------|---------|------|--------------|------|
| 科目名 | 立体造形技法実習A*4(1美) | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2672001 | 区分 | 必修 | | |
| 英文表記 | 3 dimensional molding technique work A | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 1 | | |
| 担当教員 | 清島 浩徳(実務経験) 堀川 仁彦(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L-A-104 | | | | | オフィス アワー 木曜日5限 | | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 石膏 型取り アクリル樹脂取り シリコン型制作 専門分野における基礎造形力 制作上の課題の発見・解決力 専門領域から派生した造形 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>塑像作品は耐久素材に置き換える必要がある。そのための素材として、石膏は欠かせないものである。今授業は石膏の性質を理解し、型取りから成型までの流れを理解し体験し、塑像作品を石膏に置き換えられるようになる。また、石膏を表現素材として活用する技法も身につける。また石膏以外の多様な材料や異なる材料を組み合わせたり、新しく開発された素材などの特性を活用したりして、試行錯誤しながら新たな表現方法を発見したり思いついたりするなど、多様な表現を追求できるようになる。さらに、毎時間実地指導を受けることで実習内容の確実な定着を促す。</p> | | | | | | | 関連科目 | | 3Dアート実習IA、IB | |
| | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻</p> | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 石膏素材を自由に扱うことができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 型取りを理解し、技法を駆使できるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 新しい素材の特性を活用した表現ができるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 特になし | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 特になし | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 塑像制作作品の完成 型取りから成型にいたるまでの行程を理解する |
| 実務経験のある 教員 | 清島浩徳 |
| 評価明細 基準 | 石膏型取りを理解し技術を体得できたか 実習の為の準備や自主的な制作ができたか 理解した内容が作品に反映できたか |

道具等は各自で必要なものを揃える

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---|--------------|--|-------|
| 1回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | 次回授業の準備説明 | 90 |
| | 内容 | モニルディングの歴史と技法内容について理解する。 | | | |
| 2回 | テーマ | 石膏素材について | 対面 | 石膏及び必要な道具の準備・購入を支持する | 90 |
| | 内容 | 石膏素材の特徴や表現の可能性について理解する | | | |
| 3回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 型の分け方、石膏の性質を理解するように著名作家の索引の研究をするように指示する。 | 90 |
| | 内容 | 頭像の石膏型取りについて学習し、自分の作品で実習する。(分割の法則、切金の打ち方) | | | |
| 4回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 頭像の石膏取り。自分の頭像作品に切金を打つ。 | | | |
| 5回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 頭像の石膏取り。肌石膏について学習し、自分の作品に石膏の1層がけを行う。 | | | |
| 6回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 頭像の石膏取り。養生の方法について学習し、自分の作品に養生入れを行う。 | | | |
| 7回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 頭像の石膏取り。型の蓋開けの方法について学習し、2人組で蓋開けを実習する。 | | | |
| 8回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 頭像の石膏取り。粘土の掻き出しと離型の修正方法について学習し実践する。 | | | |
| 9回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 成型実習。離型の内側に離型用のかり石鹸を添付する技法について学習し、実践する。 | | | |
| 10回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 成型実習。離型剤添付後の離型に石膏を塗り込んでいく方法について学習し、実践する。 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--|--------------|------------------------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 成型実習。型の内側に補強を入れて、三谷合わせの技法について学習し、実践する。 | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 削り出し実習。雌型の削り出し方法について学習し、実践する。 | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 成型実習。作品の修正方法について学習し、自身の作品を仕上げる。 | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | 石膏型取り実習1 | 対面 | 毎時間、制定の段階まで到達していない場合は放課後に補充を行う。 | 90 |
| | 内容 | 石膏の着色方法や台座への固定方法などを学習し、自身の作品を完成させる。 | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | プレゼンテーション 講評、評価 | 対面 | 自他の作品を鑑賞することで相互鑑賞力を育むことの重要性を認識させる。 | 90 |
| | 内容 | 自分の作品についてど型取りについての感想をプレゼンし、他学生と共有する。 | 評価 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------------------|------|------|-------------|----|------------------|-------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 立体造形技法実習B*4(1美) | | | | 開講学年 | 1 | 講義コード | 2672101 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | 3 dimensional molding technique work B | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 1 | |
| 担当教員 | 清島 浩徳(実務経験) 堀川 仁彦(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L-A 104 | | | | | | オフィス アワー 木曜5限 | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 3Dプリンター造形 アクリル樹脂成型 シリコン型取り 専門分野における基礎造形力 制作上の課題の発見・解決力 基礎造形力の三要素 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 石膏素材と同じく、アクリル樹脂を彫刻の成型素材として使用できることを理解し、その技法を身につけることを目指します。また、石膏やアクリル樹脂が、型取りや成型の素材としてだけでなく、表現素材としての展開もあることを学びます。また3Dプリンターの活用などにより、石膏以外の多様な材料や異なる材料を組み合わせたり、新しく開発された素材などの特性を活用したりして、試行錯誤しながら新たな表現方法を発見したり思いついたりするなど、多様な表現を追求できるようにする。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 立体技法実習A 3Dアート実習 I A I B | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 塑像作品の型取りができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | アクリル樹脂の使用方法を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | アクリル樹脂成型ができるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | 彫刻作品の着色ができるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | シリコン型取りができるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 特になし | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 特になし | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | アクリル樹脂とは何かを知っておく。3Dプリンターについて学習しておく。 |
| 実務経験のある 教員 | 清島 浩徳 |
| 評価明細 基準 | アクリル樹脂の使い方が理解できたか アクリル樹脂成型ができるようになったか 石膏を自由に使用できるようになったか 立体作品に効果的な着色ができるようになったか シリコンによる型取り技法を修得することができるようになったか |

危険な薬品等も使用するので、服装、有機溶剤対応のガスマスク等の準備が必要です

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---|--------------|---------------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | 生活の中で使用される樹脂の特性を調べてくる | 90 |
| | 内容 | 立体作品制作の素材について理解し、それぞれの表現方法について学習する。 | 講義 | | |
| 2回 | テーマ | 樹脂素材について | 対面 | 樹脂の特性と型取り方法のバリエーションについて調べてくる | 90 |
| | 内容 | 樹脂素材の特徴や表現の可能性について理解する。 | 実習 | | |
| 3回 | テーマ | アクリル樹脂型取り実習1 | 対面 | 石膏型取りとの相違点を事前に予想してくる | 90 |
| | 内容 | 頭像のアクリル樹脂型取りについて学習し、自分の作品で実習する。(石膏型取りとの違いについて学習し、実践する。) | 実習 | | |
| 4回 | テーマ | アクリル樹脂型取り実習1 | 対面 | 所定の段階まで到達しなかった場合は放課後補充実習するようにする | 90 |
| | 内容 | 頭像のアクリル樹脂型取りについて学習し、自分の作品で実習する。(石膏型取りとの違いについて学習し、実践する。) | 実習 | | |
| 5回 | テーマ | アクリル樹脂型取り実習1 | 対面 | 所定の段階まで到達しなかった場合は放課後補充実習するようにする | 90 |
| | 内容 | 頭像のアクリル樹脂型取りについて学習し、自分の作品で実習する。(石膏型取りとの違いについて学習し、実践する。) | 実習 | | |
| 6回 | テーマ | アクリル樹脂型取り実習1 | 対面 | 所定の段階まで到達しなかった場合は放課後補充実習するようにする | 90 |
| | 内容 | 頭像のアクリル樹脂型取りについて学習し、自分の作品で実習する。(石膏型取りとの違いについて学習し、実践する。) | 実習 | | |
| 7回 | テーマ | アクリル樹脂型取り実習1 | 対面 | 所定の段階まで到達しなかった場合は放課後補充実習するようにする | 90 |
| | 内容 | アクリル樹脂への修正・着色方法や台座への固定方法などを学習し、自身の作品を完成させる。 | 実習 | | |
| 8回 | テーマ | シリコン型取り実習1 | 対面 | シリコン製品の特長を調べてくる | 90 |
| | 内容 | 小品の人物像のシリコン型取りについて学習し実践する。(分割方法、シリコン層掛け) | 実習 | | |
| 9回 | テーマ | シリコン型取り実習1 | 対面 | 所定の段階まで到達しなかった場合は放課後補充実習するようにする | 90 |
| | 内容 | 小品の人物像のシリコン型取りについて学習し実践する。(シリコン2層掛けとサポートモールドの作成) | 実習 | | |
| 10回 | テーマ | シリコン型取り実習1 | 対面 | 所定の段階まで到達しなかった場合は放課後補充実習するようにする | 90 |
| | 内容 | 小品のシリコン型にレジンを流し込む技法について学習し実践する。 | 実習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--|--------------|-------------------------------------|-------|
| 11回 | テーマ | シリコン型取り実習1 | 対面 | 所定の段階まで到達しなかった場合は放課後補充実習する ようにする | 90 |
| | 内容 | レジンの修正着色方法について学習し作品を完成させる。 | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | シリコン型取り実習2 | 対面 | 3Dプリンターについて調べてくる。 | 90 |
| | 内容 | 3DCGソフトで作ったキャラクターを、3Dプリンターで出力する方法について学習し、実践する。 | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | シリコン型取り実習2 | 対面 | 所定の段階まで到達しなかった場合は放課後補充実習する ようにする | 90 |
| | 内容 | 3Dプリンターで出力した作品をシリコンで型取りする技法について学習し、実践する。 | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | シリコン型取り実習2 | 対面 | 所定の段階まで到達しなかった場合は放課後補充実習する ようにする | 90 |
| | 内容 | シリコン型にレジンを流し込み、修正、着色して作品を完成させる。 | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | プレゼンテーション 講評、評価 | 対面 | | 90 |
| | 内容 | 自分の作品について型取り方法、素材についての感想をプレゼンし、他学生と共有する。 | プレゼン 評価 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--|------|------|-------------|----|-------------------|----------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 美術概論（2美デ） | | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 2672301 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Introduction to Art | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 遠隔双方向型 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 永田 郁 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸術学部棟A208 | | | | | | オフィス アワー 水曜日4限 | | | | |
| メールアドレス | mahabala @art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 現代アート アートと社会 人類学 多自然主義／パースペクティズム アートリテラシー 教養 的知識 アカデミックスキル | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 本講義は現代アートのさまざまなテーマ・問題を取り上げ、現代アーティストの作品がどのように知覚され、何が視覚化されているか、鑑賞のポイントを解説する。現代アートを読み解くキーワードについてもテーマごとに紹介し、現代アートの理解を深め、グローバル化、テクノロジーの進化など複数の視点を持ち、批判的にアートの社会的機能・役割を考える。また熊本内外の展覧会に受講生が実際に赴き、その体験を言語化することによって客観的に作品を観るアート・リテラシー能力を習得していく。その他、国内外で開催されている展覧会等も紹介しながら、現代アートの動向を探っていく。講義中に行った小レポート等については適宜フィードバックしていく。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本美術史、西洋美術史、東洋美術史、学芸員課程科目、教職課程科目 | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修 【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術) 【各科目に含めることが必要な事項】・・・美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。) | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 本講義を通して現代アートが我々人間と人間が住む社会にとってどんな機能をもっているかを理解できる。 | | | | | | | | | |
| | ② | アートに関してその体験を自分の言葉で、整理し、伝えることができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 70 | 20 | 0 | 0 | 10 | 0 | 100 | | |
| 教科書 | 特に指定しない。 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 現代アートの本当の学び方／現代アートの本当の見方／現代アートの本当の楽しみ方 フィルムアート社 フィルムアート社 美術手帖2018.6月号(特集アートと人類学) 美術出版社 オラファー・エリアソン ときに川は橋となる フィルムアート社 東京都現代美術館監修 Sophi Calle La Marche, l'art ソフィ・カル 歩行と芸術 慶應義塾大学アートセンター マンガ版マルチスピーシーズ人類学 以文社 奥野克巳・シンジルト | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------|---|
| 予備知識 | 芸術学部開講科目全般に関連する。 |
| 実務経験のある教員 | |
| 評価明細基準 | WEBCLASSの出席レポート70点、最終課題20点、学修到達度レポート10点 |

日ごろ、展覧会に足を運び、現代アート作品を見ることに慣れておくこと。単位修得の条件は①出席(出席レポート)3分の2以上、②課題提出を満たしていること。対面授業を予定しているが、新型コロナウイルス感染の状況により集中講義または集中の遠隔授業(双方向型)に切り替える。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。教職課程履修の学生は必ず履修して下さい(必修)。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|--|----|-----------------|--|-----------|
| 1回 | テーマ 現代アートとは？ どうやって現代アートに近づくか？ | 内容 | ブレンド授業 講義 | 受講後、講義で取り上げた作品、アーティストについて参考文献等を活用して振り返るとともに、次回の講義において芸術運動や芸術理論等について聞かれても答えることができるよう理解を深めておくこと。 | 30(1) |
| 2回 | テーマ 美大における学び なぜデッサンは必要なのか？/アートは美大で学べるのか？など。 | 内容 | ブレンド授業 講義 | 2.の配布資料の復習。 | 60(1) |
| 3回 | テーマ 日本画の遺伝子 村上隆/落合多武/奈良美智/アニメーション | 内容 | ブレンド授業 講義 | 3.の配布資料の復習。 | 180 (2-3) |
| 4回 | テーマ 芸術とは？ M・デュージャント・ゲージの挑戦 | 内容 | ブレンド授業 講義 | 「4分33秒」を体験する。 | 180(4-5) |
| 5回 | テーマ 20世紀の音楽 ブレーク、シュトックハウゼン、クセナキス、ヴァレーズ他 | 内容 | ブレンド授業 鑑賞 | 学校では聞けない音楽鑑賞をどう聞いたか小レポート。 | 90(6) |
| 6回 | テーマ アートの動向/ アジアの現代アート 現代のアートの動向および近隣アジアの現代アート | 内容 | ブレンド授業 鑑賞 | 映像等を自分なりに鑑賞する。 | 90(7) |
| 7回 | テーマ モダンアートの限界 ホワイテ・キユーブとモダンアート、そしてインスタレーション | 内容 | ブレンド授業 演習 | 課題:「北川フラム更迭」問題の所在?について考える。 | 180(8-9) |
| 8回 | テーマ 出会う場所でアートは変わる 草間彌生/オラファー・エリアソン/レオナルド・エルリッヒなど | 内容 | ブレンド授業 講義 | 8.の配布資料を復習。 | 90(10) |
| 9回 | テーマ 「見る」ということ ゾフィー・カルフ/河原温など | 内容 | ブレンド授業 講義 | 9.の配布資料を復習。 | 90(11) |
| 10回 | テーマ これからのアート アートと人類学、その前にブリコラージュについて知ろう | 内容 | ブレンド授業 講義・演習 | ブリコラージュを体験する。 | 90(12) |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------------------------------|--------------|--------------------|----------------|
| 11回 | テーマ | アートと社会(最終課題) | | アーティストに関して調べて論述する。 | 270(13 -15) |
| | 内容 | ゴッセフ・ボイスの社会彫刻、我々は社会を動かす「資本」になれるのか？ | レポート作成 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---------------------------|------|------|-------------|----|-----------------------|---|------|------|------|
| 科目名 | 共通立体実習（彫刻）（2美） | | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 2672901 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Common three-dimensional training (sculpture) | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 清島浩徳（実務経験） | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A212 | | | | | | オフィス アワー 火曜日16時30分 | | | | |
| メールアドレス | katsuno@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 粘土 観察力 頭部 発見 専門分野における基礎造形力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 彫刻家としての造形活動・経験から多面的な視野についての学びを提供する。具体的には、人体の頭部を観察し、粘土による制作を通して観察力を実践的に養う機会とする。立体制作は、ただ一方方向のつじつまが合えば良いと言うのではなく、360度あらゆる方向からの観察が必要であり、見慣れた対象を改めて見つめ直す新たな発見が得られる。『観察力』は今後の造形活動を続けて行く上で必要不可欠なものである。対象をしっかり観察することによって、感動や自分の心を動かすもの、あるいは各自の狙いを素材である土を扱いながら追求を行う。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 共通デッサン1, 2 / 日本画実習1A, 1B / 洋画実習1A, 1B / 3Dアート実習1A, 1B | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 粘土による制作を通して観察力を深めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 素材の特徴を理解することができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | プリント | | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 基礎デッサン1,2 |
| 実務経験のある 教員 | 清島浩徳 |
| 評価明細 基準 | 出席・レポート提出・プレゼンテーションへの取り組み・到達度などを考慮し、総合的に評価する。 |

動きやすく作業に適した服装であること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|--------------|----------------|----------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 作家活動紹介 | 対面授業 実習 | パワーポイントで作例を示す | 180 |
| | 内容 | 立体作品紹介 | | | |
| 2回 | テーマ | 平面描写による立体の理解 | 対面授業 実習 | 鉛筆デッサン | 180 |
| | 内容 | 首画像デッサン | | | |
| 3回 | テーマ | 心棒制作 | 対面授業 実習 | 木材、棕櫚縄で頭部の心棒をつくる。粘土を土練機で練る | 180 |
| | 内容 | 心棒制作・粘土練 | | | |
| 4回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 実習 | 面の展開 | 180 |
| | 内容 | 制作 構造の理解1 | | | |
| 5回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 実習 | 量の展開 | 180 |
| | 内容 | 制作 構造の理解2 | | | |
| 6回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 実習 | 切断・分割 | 180 |
| | 内容 | 制作 塊の理解1 | | | |
| 7回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 実習 | 積む構造 | 180 |
| | 内容 | 制作 塊の理解2 | | | |
| 8回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 実習 | 組む構造 | 180 |
| | 内容 | 制作 塊の理解3 | | | |
| 9回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 実習 | 量の全体の中でのバランスの理解 | 180 |
| | 内容 | 制作 量の構成 | | | |
| 10回 | テーマ | 客観的な理解 | 対面授業 実習 | 個別にプレゼンを行う | 180 |
| | 内容 | 講評会 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|----------------|--------------|---------------|-------|
| 11回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 | 対象を観察し制作を行なう | 180 |
| | 内容 | 制作量の理解 | 実習 | | |
| 12回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | 実習 | | |
| 13回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | 実習 | | |
| 14回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | 実習 | | |
| 15回 | テーマ | 頭像観察 | 対面授業 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | 実習 | | |
| 16回 | テーマ | 客観的な理解 | 対面授業 | 到達度ポートフォリオの作成 | 180 |
| | 内容 | 講評会 個別にプレゼンを行う | 実習 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|------|------|-------------|-------------------|---------|------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 日本画実習ⅡB*1(2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 2673101 | 区分 | 選必 | | |
| 英文表記 | Japanese painting Practical ⅡB | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 8 | | |
| 担当教員 | 中村 賢次 本多 由佳梨(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A416 | | | | | オフィス アワー 水曜昼休み | | | | | |
| メールアドレス | ken1214@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 写生 小下図 草稿 日本画技法 具現化・視覚化 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 日本画制作に必要な写生・小下図・草稿・本紙の各過程の重要性を理解し実践する中で、日本の歴史と風土に培われた伝統的な日本画の画材全般の使用方法を理解し、制作において必要な集中力・持久力を養う。制作の進捗状況(写生、小下絵、草稿、本画)に応じて講評、合評を行なう。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画) | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 感動と観察による写生の重要性を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 写生を元に作品制作において重要な小下図の役割を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 日本画の画材の性質上、不可欠な工程である草稿の役割を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | 本紙における各画材の使用方法を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | 制作で最も重要である感動やイメージを視覚的に具現化することができるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| 予備知識 | 日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 日常的に質疑を行ない理解度を確認する。一作品ごとに合評・採点を行なう。 |

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行なう。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|-----------------|-----------------------------|--------------|---------------------|-------|
| 1回 | テーマ 色紙・短冊の技法 | 白描法・彫塗り・没骨・溜塗り・たらし込み等の表現技法 | 講義・演習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 2回 | テーマ 色紙 | 野菜・果物の鉛筆写生 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 3回 | テーマ 色紙 | 墨・顔彩で描く | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 4回 | テーマ 色紙 | 風景写生(鉛筆淡彩) | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 720 |
| 5回 | テーマ 色紙・短冊 | 墨彩画(墨と顔彩) | 実習 | 画材と技法について十分に検討する | 720 |
| 6回 | テーマ 短冊 | 花の写生(鉛筆淡彩) | 実習 | 画材と技法について十分に検討する | 720 |
| 7回 | テーマ 合評・採点 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 180 |
| 8回 | テーマ 花鳥画 植物 | 屋外にて植物の写生及び30号パネル製作 | 実習 | 十分な写生を繰り返す | 720 |
| 9回 | テーマ 花鳥画 植物 | 写生を元に小下図制作及び和紙(麻紙・楮紙)にドーサ引き | 実習 | 感覚的なイメージを具体化する | 720 |
| 10回 | テーマ 花鳥画 植物 | 写生を元に小下図制作及び和紙(麻紙・楮紙)にドーサ引き | 実習 | 感覚的なイメージを具体化する | 720 |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------------|--------------|---------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 花鳥画 植物 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行な | 720 |
| | 内容 | 草稿の転写、墨入れ、地塗り | | | |
| 12回 | テーマ | 花鳥画 植物 | 実習 | 画材と技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 本紙制作(岩絵具) | | | |
| 13回 | テーマ | 花鳥画 植物 | 実習 | 画材と技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 本紙制作(岩絵具) | | | |
| 14回 | テーマ | 花鳥画 植物 | 実習 | 画材と技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 本紙制作(岩絵具) | | | |
| 15回 | テーマ | 花鳥画 植物 | 実習 | 画材と技法について十分に検討する | 720 |
| | 内容 | 本紙制作(岩絵具) | | | |
| 16回 | テーマ | 合評・採点 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 180 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-------------------------|------|------|-------------|----|---------------------|----------|------|------|------|
| 科目名 | 洋画実習ⅡB*2(2美) | | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 2673301 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Thematic Practice in Oil Painting ⅡB | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 8 | |
| 担当教員 | 下城賢一 熊谷有展 上野洋嗣(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸学3F | | | | | | オフィス アワー 金曜日5時限目 | | | | |
| メールアドレス | shimojo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 油彩 人物画 素描 混合技法 絵画構成・構図研究 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>洋画実習ⅡAの課題への取り組みを経て、西洋絵画の総合的な完成を求める。テンペラ画をはじめとした古典技法にも取り組み、自らのテーマ制作に反映できるようにする。空間や明暗、色彩など基礎造形力の到達と応用への試みを全体の主題とした課題が組まれている。この授業には汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 洋画実習ⅠA・B | | | |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p> | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 基礎造形力の集大成としての力をつける | | | | | | | | | |
| | ② | 大きな画面で素描する | | | | | | | | | |
| | ③ | 空間の中にモチーフや人物があることを表現できる | | | | | | | | | |
| | ④ | 個々のテーマを持って制作に取り組むことができる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 | 50 | 10 | 0 | 100 | | |
| 教科書 | プリント配布 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | 洋画実習ⅡAと連動する |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1.作品講評会において、客観的な教員の指導と評価を受けて次回以降の作品制作に反映し発展することができる。(40点) 2.課題のモチーフとテーマを自らのものとして作品表現へ結実させることができているか。(50点) 3ポートフォリオによる振り返り(10点) |

適宜、課題による実技の道具、素材などを用意すること。学修上必要な知識や技能はそれぞれの学生でまとめておくことが望ましい。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-----------|--------------|---------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | 実技 | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 2回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 3回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 4回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 5回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 6回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 7回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 8回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 9回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 10回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------------------|--------------|---------------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 12回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 13回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | " | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 | | | |
| 14回 | テーマ | 絵画制作 油彩画A | 実技・講義 | 人物を描く 骨格や構図、構成などを前作から復習する | 180 |
| | 内容 | 人物素描・油彩画 作品講評・採点・解説 | | | |
| 15回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | 実技 | 静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 16回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 17回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 18回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 19回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 20回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物画の構図や構成を復習。基礎造形の仕上げ | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|----------------|--------------|-----------------------|-------|
| 21回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 22回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 23回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 24回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 25回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 26回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 27回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 28回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 29回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |
| 30回 | テーマ | 絵画制作 油彩画B | " | 静物油彩画の歴史的な発展から技法論を自学。 | 180 |
| | 内容 | 静物素描・油彩 進級判定作品 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-------------------------------------|------|------|-------------|-------------------|---------|---------|------|---------------------|------|
| 科目名 | アート・イラストレーション実習ⅡB*3(2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 2673601 | 区分 | 選必 | | |
| 英文表記 | Art・illustration practical trainingⅡA | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 6 | | |
| 担当教員 | 柳田 也寿志 陣内 利博 (非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | オフィス アワー 金曜4・5 | | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | イラストレーション 絵画 アナログイラストレーション デジタルイラストレーション 専門分野における基礎造形力 基礎造形力の三要素 自己管理能力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>多種多様な画材、支持体の中で自己の表現に合った画材、支持体の研究を行う。さらに、最終的な作品のあり方を念頭に入れ、作品制作計画を綿密に立てた上で制作に取り組む。アート・イラストレーション実習ⅡAの制作課題を経て、イラストレーション作品の完成度を高める研究を行う。特に画材選択に伴った「支持体」への研究は重要である。本授業では、画材・支持体を熟考し、自己の作品に適合させる制作を行う課題が組まれている。制作課題の結果は、講評会時など適宜口頭によるフィードバックをこなしていく。</p> | | | | | | | 関連科目 | | アート・イラストレーション実習ⅠA・B | |
| | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | JABEE基準 | | | | | | | | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 画材・支持体といった制作素材に関心を持ち、研究を深めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 平面表現の構成要素を理解し、自己の作品に活かすことができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | 制作の計画を立て、その計画に従って制作することができる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | 自ら作品の題材を発見する姿勢を持ち、自己の作品に表現することができる。 | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業内で指示 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業内で指示 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | アート・イラストレーション実習ⅡAと運動する。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1. 作品講評会において自己の作品の評価と問題点を理解し、次回の制作に活かす姿勢を持つことができている。(20点) 2. 出題されている課題を理解しようという姿勢があり、完成度の高い作品が制作できている。(60点) 3. ポートフォリオによる振り返り(10点) 4. 授業において、課題に対し積極的に行い、創意工夫を持って制作に挑む姿勢を持っている。(10点) |

作品制作準備を十分に行い、出席することで制作時間を確保できるように心がけてください。

学修上の
注意
(SBOs)

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|---|--------------|-------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 本授業の説明 | 演習 | | |
| 2回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。本単元の説明・準備 | 演習 | | |
| 3回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 4回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 5回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 6回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 7回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 8回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 9回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 10回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|--|--------------|-------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 11回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 12回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 13回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 14回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 15回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 16回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 17回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 18回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 19回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 20回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|--|--------------|-------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 21回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作① | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F20号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。作品の講評 | 演習 | | |
| 22回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。本単元の説明 | 演習 | | |
| 23回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 24回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 25回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 26回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 27回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 28回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 29回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 30回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|--|--------------|-------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 31回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 32回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 33回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 34回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 35回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 36回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 37回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 38回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 39回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 40回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---|--------------|-------------------|-------|
| 41回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 42回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 43回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 44回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。 | 演習 | | |
| 45回 | テーマ | 画材・支持体研究を伴ったイラストレーション作品の制作② | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | F30号程度の支持体を選択し、適合する画材とともにイラストレーション作品を制作する。作品の講評 | 演習 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--|------|------|-------------|-------------------|---------|----------------------|------|------|------|
| 科目名 | アート・イラストレーションメディア演習Ⅱ*3(2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 2673701 | 区分 | 選必 | | |
| 英文表記 | Art・illustration media exercisesⅡ | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 陣内 利博(非常勤) 柳田 也寿志 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A209 | | | | | オフィス アワー 金曜3・4 | | | | | |
| メールアドレス | yanagita@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | イラストレーション デジタルイラストレーション メディア | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 私たちの身の回りには多種多様なメディアが存在している。イラストレーションを使用するメディアは多種多様でありメディアである以上、それは伝達手段である必要がある。現代社会の中でメディアの役割を理解し、必要な形でイラストレーションを計画し制作することを目的としている。アート・イラストレーションメディア演習Ⅰに続き、メディアについて理解を深めて行き、各種作品を制作して行く。制作課題の結果は、講評会時など適宜口頭によるフィードバックをこなっていく。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | アート・イラストレーションメディア演習Ⅰ | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 社会の中に取り巻く多種多様なメディアについての理解を深めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | メディアについての知識を有し、知識を活かして各メディアに対応した作品の制作ができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | 作品制作に伴った計画をたて、その計画に従い制作を進めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | 社会との繋がりの中で自己の作品が伝達手段として | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業内で指示 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業内で指示 | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | アート・イラストレーションメディア演習Ⅰを経て、本授業へ運動する。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1. 作品講評会において自己の作品の評価と問題点を理解し、次回の制作に活かす姿勢を持つことができている。(20点) 2. 出題されている課題を理解しようという姿勢があり、完成度の高い作品が制作できている。(60点) 3. ポートフォリオによる振り返り(10点) 4. 授業において、課題に対し積極的に行い、創意工夫を持って制作に挑む姿勢を持っている。(10点) |

作品制作準備を十分に行い、出席することで制作時間を確保できるように心がけてください。

学修上の
注意
(SBOs)

| 授業計画 | | | | | |
|------------|------|------------------------------------|--------------|-------------------|-------|
| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
| 1回 | テーマ | ガイダンス | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 本授業の説明 | 演習 | | |
| 2回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた制作を計画する。本単元の説明 | 演習 | | |
| 3回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた制作を計画する。 | 演習 | | |
| 4回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 5回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 6回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 7回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 8回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 9回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 10回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自己の作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|----------------------------------|--------------|-------------------|--------|
| 11回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自らの作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 12回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | メディアを理解し、自らの作品に適応させた計画をもとに制作を行う。 | 演習 | | |
| 13回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品概要を発表するプレゼンテーションを制作する。 | 演習 | | |
| 14回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品概要を発表するプレゼンテーションを制作する。 | 演習 | | |
| 15回 | テーマ | イラストレーション作品制作 | 対面 | 課題の内容と準備物、制作計画の確認 | 180 |
| | 内容 | 作品概要の発表、講評を行う。 | 演習 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|------------------------------------|------|------|-------------|-------------------|---------------|---------|------|--|------|
| 科目名 | 3Dアート実習ⅡB*4(2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 2674001 | 区分 | 必修 | | |
| 英文表記 | 3 dimensional art work ⅡB | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | フレンド授業(対面+遠隔) | 単位数 | 6 | | |
| 担当教員 | 清島 浩徳(実務家教員) 涌井 晃(非常勤) 井上 幸喜(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L A-216 | | | | | オフィス アワー 月曜 5限 | | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 3DCG 3Dモデリング 彫刻 キャラクター造形 ゲームデザイン 基礎造形力の三要素 専門分野における基礎造形力 リテラシー | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 前期の3Dアート実習ⅡAで学習した内容を発展させ、各3DCGソフト映像作成ソフトを応用的に使用し、作成したコンテンツをUnreal Engine5を用いて映像作品表現の基礎を修得する。また前期に引き続き基礎的なデッサン力と立体造形感覚をより一層高めるために粘土による塑像制作も実施する。実際の素材を用いた実習では、写実的な表現を試みることで、基礎的な立体造形力を身につけることを目指す。量感や奥行きといった、立体ならではの感覚を高め、粘土素材を自由に駆使できるようになるには、多くの修練が必要である。等身人体制作は、人体の諸要素の理解と、立体造形に不可欠な各種造形要素の理解の土台の上に成り立っている。等身大の作品の制作を通してこれらの諸要素の体感的な獲得を目指す。実際の素材に触れることで学習した造形感覚を3DCGの作品で制作する。キャラクター造形に重要な人体の動きやポージング基本的な構造を理解しながら、写実的な表現とキャラクター表現の両方の表現技術を獲得する。何度も繰り返し制作を続けながら、表現者としての感性、観察眼を養う。授業以外の時間で自主的に制作を深め、毎日制作する習慣を身につけることで、表現者としての資質の向上を目指す。さらに、ポートフォリオの制作についても学習する。 | | | | | | | 関連科目 | | 西洋彫刻論 西洋美術史 3Dアート実習ⅠA・ⅠB 3Dアート実習ⅡB 立体造形技法実習A 立体造形技法実習B | |
| | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | モデルを観察して、人体の構造について理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 粘土の性質を知って塑像から型取りまでの制作過程を理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | ビジュアライゼーションアプリの作成技術の修得 | | | | | | | | | |
| | ④ | 専門的な3DCG制作ソフトの操作方法を理解する | | | | | | | | | |
| | ⑤ | CGを用いた動画作成技術の修得 | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | ACAアドビ認定アソシエイト対応Photoshop CC試験対策 odyssey communications 筑城厚三 | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 基礎科目:西洋美術史Ⅰ、西洋美術史Ⅱ、美術領域論Ⅱ(立体) |
| 実務経験のある 教員 | 清島 浩徳 |
| 評価明細 基準 | ・デッサンの的確さ ・3DCGソフトオペレーションの基本的なスキルの獲得 ・映像表現ソフトオペレーションの基本的なスキルの獲得 ・等身大塑像制作の基礎的な技法と立体造形感覚の獲得 ・準備、作品管理 ・制作への真摯な取り組み ・作品を高度化するための自主的な制作 ・ポートフォリオの作成 |

・3DCGの基本的な技術の獲得だけでなく、自分なりの手法・解決策を見つけ出す意欲を持ち続ける。・制作に入る前の準備、制作後の片付け、さらに作品管理をすることも制作に必至。・実材での立体造形感覚を身につけるために粘土を常に最適な状態にし、またモデルへの配慮も忘れず授業に臨むという、基本的なマナーも身につける。観察眼を伸ばすためのデッサンや制作を毎日するペースを身につけ、表現者としての自覚を持つことが大切である。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|------------------------------------|--------------|-------------|-------|
| 1回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 業界の動向紹介、授業の進め方の説明、ゲーム表現の構成要素を考える | | | |
| 2回 | テーマ | AfterEffects基礎 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 基本操作1 基本UIの理解1 | | | |
| 3回 | テーマ | AfterEffects基礎 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 基本操作2 基本UIの理解2 | | | |
| 4回 | テーマ | 中間課題制作1 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | CMリールを作る1 絵コンテ企画とモーショングラフィック作成1 | | | |
| 5回 | テーマ | 中間課題制作2 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | CMリールを作る2 絵コンテ企画とモーショングラフィック作成2 | | | |
| 6回 | テーマ | 中間課題制作3 | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | CMリールを作る3 広告の要素を考え、広告のレイアウトを制作する | | | |
| 7回 | テーマ | 発表会・講評 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 作成物のプレゼンテーションと講評 | | | |
| 8回 | テーマ | アイコン制作・画面レイアウト | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | 高精細なアイコンの作成 ゲーム画面の要素を考え、レイアウトを制作する | | | |
| 9回 | テーマ | AfterEffects モーショントレース | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | モーショントレース ツールでキャラクターをトレースアニメーション化 | | | |
| 10回 | テーマ | Twinmotion 基本制作(1) | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | Twinmotionの基本的な使い方 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--|--------------|--------------|-------|
| 11回 | テーマ | Twinmotion 基本制作(2) | 対面 | | 180 |
| | 内容 | Twinmotionを使って短い動画制作をする | | | |
| 12回 | テーマ | 最終課題制作(1) | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | AfterEffects, Twinmotionを使用し3Dmodelを音楽に合わせたイメージ動画を制作する | | | |
| 13回 | テーマ | 最終課題制作(2) | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | AfterEffects, Twinmotionを使用し3Dmodelを音楽に合わせたイメージ動画を制作する | | | |
| 14回 | テーマ | 最終課題制作(3) | 遠隔 | | 180 |
| | 内容 | AfterEffects, Twinmotionを使用し3Dmodelを音楽に合わせたイメージ動画を制作する | | | |
| 15回 | テーマ | Iプレゼン・講評 | 対面 | | 180 |
| | 内容 | イメージ動画の講評会 | | | |
| 16回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | | 180 |
| | 内容 | 等身大人体像制作概説・粘土による作品制作の準備 | | | |
| 17回 | テーマ | キャラクターのアイデアスケッチ | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 男性キャラクターの設定を考え、アイデアスケッチをする。 | | | |
| 18回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrushによるボージングと3DCGモデルの作成 | | | |
| 19回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Zbrushによるボージングと3DCGモデルの作成 | | | |
| 20回 | テーマ | 女性中品塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 心棒制作と粘土による荒付け | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------------------------------|--------------|--------------|-------|
| 21回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 心棒制作と粘土による荒付け | 実習 | | |
| 22回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 全体の構造を意識して、作品の制作を進める | 講義 | | |
| 23回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 全体の構造を意識して、作品の制作を進める | 実習 | | |
| 24回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 人体解剖学をベースに、全体の動勢を意識して、作品の制作を進める | 講義 | | |
| 25回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 人体解剖学をベースに、全体の動勢を意識して、作品の制作を進める | 講義 | | |
| 26回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎1 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 細部を仕上げて粘土原型を完成させる。 | 実習 | | |
| 27回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 粘土原型の石膏雛型を作る。 | 実習 | | |
| 28回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 石膏雛型にアクリル樹脂でキヤンペインツを行う。 | 実習 | | |
| 29回 | テーマ | 男性等身大塑造制作基礎2 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 作品を割り出し、蓋のつなぎ目を修正する。 | 実習 | | |
| 30回 | テーマ | 講評・ディスカッション | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 作品の仕上げを行い、講評・相互評価を行う。 | 講義 | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|----------------------------------|--------------|--------------|-------|
| 31回 | テーマ | オリエンテーション | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | VR水族館作成の後期の学習内容の確認と使用ソフトウェアの概要確認 | | | |
| 32回 | テーマ | VR水族館の制作5 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | ライティング基礎(基本のライティング) | | | |
| 33回 | テーマ | VR水族館の制作5 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | ライティング基礎(基本のライティング) | | | |
| 34回 | テーマ | VR水族館の制作6 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | ライティング基礎2(ライトラジエーション) | | | |
| 35回 | テーマ | VR水族館の制作6 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | ライティング基礎2(ライトラジエーション) | | | |
| 36回 | テーマ | VR水族館の制作7 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 魚を投入するアニメーションデータの基礎 | | | |
| 37回 | テーマ | VR水族館の制作7 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 魚を投入するアニメーションデータの基礎 | | | |
| 38回 | テーマ | VR水族館の制作8 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 魚を投入するBPの基礎 | | | |
| 39回 | テーマ | VR水族館の制作8 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | 魚を投入するBPの基礎 | | | |
| 40回 | テーマ | VR水族館の制作9 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | ポストプロセス | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|------------------------------|--------------|--------------|-------|
| 41回 | テーマ | VR水族館の制作9 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | ポストプロセス | | | |
| 42回 | テーマ | VR水族館の制作10 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | シーケンスの基礎と静止画や動画の書き出し | | | |
| 43回 | テーマ | VR水族館の制作10 | 遠隔 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Adobe Oremier Proでの360度動画の制作 | | | |
| 44回 | テーマ | VR水族館の制作4 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | Youtube動画アップロード方法の確認と実践 | | | |
| 45回 | テーマ | 講評・相互評価 | 対面 | 事後/課題作成(2時間) | 180 |
| | 内容 | VR水族館の最終講評・相互評価を行う。 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|------|------|-------------|----------------------|-------------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | フィギュア造形実習*4 (2美) | | | 開講学年 | 2 | 講義コード | 2674101 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | Making figurines (practice) | | | 開講期 | 後期集中 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 堀川 仁彦(非常勤講師) 清島 浩徳(実務経験) | | | | | | | | | |
| 研究室 | A-216 | | | | | オフィス アワー 月曜日 5時限目 | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | フィギュア 型取り オリジナルキャラクター制作 教養的知識 基礎造形力の三要素 専門分野 における基礎造形力 アカデミックスキル | | | | | | | | | |
| 授業概要 | フィギュア造形の一般的な素材であるスカルピー粘土を用いて、オリジナルのフィギュアモデルを作成します。オリジナルのフィギュアモデルを作るにあたって、キャラクターの設定を考え、2Dのイメージを描くことから始め、スカルピー粘土で原型を制作。原型完成後にパーツ分けを行い、それからシリコンでの型取り法を学びます。その後レジン原型に着色をして完成させます。一連のクレイによるフィギュアモデル制作過程のすべてを学習します。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | 3Dアート実習ⅠA・1B、3Dアート実習ⅡA・ⅡB、ゲームデザイン演習 | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…彫刻 | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 日本におけるフィギュアの歴史について理解する | | | | | | | | |
| | ② | オリジナルのフィギュアのアイデアスケッチをIllustratorで描けるようになる | | | | | | | | |
| | ③ | スカルピー粘土で原型制作からパーツ分けまでできるようになる。 | | | | | | | | |
| | ④ | 完成したフィギュアについてプレゼンができるようになる | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 70 | 10 | 0 | 100 | |
| 教科書 | 適宜指示します | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜指示します | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | |
| 実務経験のある 教員 | 清島 浩徳 |
| 評価明細 基準 | <p>・フィギュアの歴史について理解することができるようになる。・自分で考えた設定を基に、オリジナルのキャラクターを描くことができるようになる。・Illustratorを使ってプレゼン資料となる原画を作成することができるようになる。・スカルピー粘土で2Dのイメージから立体化できるようになる。・型取りの為にパーツ分けができるようになる。・シリコン型を作ることができるようになる。・キャストした原型にイメージ通りの着色を施すことができるようになる。・自分のフィギュア作品についてプレゼンできるようになる。</p> |

3Dアート実習ⅡA・ⅡBで制作した作品と関連付けたフィギュアとすることが好ましい。フィギュア完成後、CG映像と関連付けた発表ができるようにする。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------------------|---|--------------|--------------|--------|
| 1回 | テーマ オリエンテーション | フィギュア制作における一連の作業工程と準備するもの服装等の確認 | 対面 | | 90 |
| 2回 | テーマ フィギュアの歴史 | 日本におけるフィギュアの歴史について学習する | 対面 | | 90 |
| 3回 | テーマ アイデアスケッチ1 | オリジナルのキャラクターの設定を考えてアイデアスケッチを描く | | | 180 |
| 4回 | テーマ アイデアスケッチ2 | アイデアスケッチを基にIllustratorで描き起こし、プリントアウトする。 | | | 180 |
| 5回 | テーマ フィギュア制作1 | スカルピー粘土の特性を学び、アルミ線で心棒制作を行う | | | 90 |
| 6回 | テーマ フィギュア制作2 | 胴体部分をスカルピー粘土で肉付けをしながら形が決まったらオープンで焼成し固める | | | 180 |
| 7回 | テーマ フィギュア制作3 | 手足部分をスカルピー粘土で肉付けをしながら形が決まったらオープンで焼成し固める | | | 180 |
| 8回 | テーマ フィギュア制作4 | 頭部をスカルピー粘土で肉付けをしながら形が決まったらオープンで焼成し固める | | | 180 |
| 9回 | テーマ フィギュア制作5 | 衣服などの造形を行う。 | | | 180 |
| 10回 | テーマ フィギュア制作6 | 付属品の造形を行う。 | | | 180 |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|-------------------------------|--------------|--------------|--------|
| 11回 | テーマ | フィギュアの型取り | | | 180 |
| | 内容 | シリコンによる型取りの一連の流れについて学習する | | | |
| 12回 | テーマ | フィギュアの型取り | | | 180 |
| | 内容 | パーツごとに型の周りを油粘土で埋めて壱を作る。 | | | |
| 13回 | テーマ | フィギュアの型取り | | | 180 |
| | 内容 | シリコンを流し込み、サポートモールドを作成する。 | | | |
| 14回 | テーマ | フィギュアの型取り | | | 180 |
| | 内容 | 型の反対面に離型剤を添付後、同様にシリコンで型を取る。 | | | |
| 15回 | テーマ | フィギュアのキャストイング | | | 180 |
| | 内容 | シリコン型にレジンを流し込んで原型を作り、修正する。 | | | |
| 16回 | テーマ | フィギュアの着色 | | | 180 |
| | 内容 | エアブラシでベースの色を着色して、細部は筆で仕上げる。 | | | |
| 17回 | テーマ | プレゼンテーション・講評 | | | 90 |
| | 内容 | それぞれの作品についてプレゼンテーションを行い相互鑑賞する | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------------|------|------|-------------|-----------------------|--|-----|-----|--|
| 科目名 | 造形実習Ⅰ(3美) | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2674201 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Art practiceⅠ(Printmaking) | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 中川百合恵(非常勤) | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸術学部1階 事務室 | | | | | オフィス アワー 木曜日 1,2限目 | | | | |
| メールアドレス | shimojo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | |
| キーワード | 版画 テーマ制作 ステンシル キャラクター 絵本 | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 版画表現の一つである「ステンシル」技法を用いて平面絵画制作を行う。ここでは各学生による「テーマ制作」が主眼におかれ、さらには「物語性」を構築し、「キャラクター造形」「絵画における空間」「世界観の模索」などを通してより深い絵画制作を目指すものである。最終的には「絵本」メディアに落とし込み、作品としての完成度および達成度を目指す。 | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | 造形実習Ⅱ 共通絵画実習(日本画) 共通絵画実習(洋画) 共通立体論(彫刻) | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| | | | | | | | JABEE基準 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | |
| | ① | 版画「ステンシル」を理解できたか | | | | | | | | |
| | ② | ステンシル技法に習熟できたか | | | | | | | | |
| | ③ | 物語性について思考および制作 | | | | | | | | |
| | ④ | 絵本についての一般的な知見の獲得 | | | | | | | | |
| | ⑤ | 絵本制作 | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 0 | 0 | 0 | 10 | 20 | 60 | 10 | 0 | 100 | |
| 教科書 | 無し | | | | | | | | | |
| 参考書 | BLUEDOG George Rodrigue | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | 版画におけるステンシルの技法および参考作品。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 1 ステンシル技法による作品制作の評価(30点) 2物語性を生かした絵本作り(30点) 3レポート(10点) 4絵本のプレゼンテーション(20点) 5ポートフォリオによる振り返り(10点) |

毎回の授業の連続性が大切なので極力欠席をしないように留意すること。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|------------------------|--------------|-----------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 授業概要説明 | | レポート関連のための復讐 | 180 |
| | 内容 | ステンシル技法・絵本の作例を用いたレクチャー | | | |
| 2回 | テーマ | ステンシル実習 3・4・5・6・7・8・9回 | | 適宜、自学による振り返りと材料・道具の準備 | 1,260 |
| | 内容 | 版画技法ステンシルの制作 | | | |
| 3回 | テーマ | 絵本制作 10・11・12・13・14回 | | 適宜、自学による振り返りと材料・道具の準備 | 900 |
| | 内容 | 絵本制作・製本技法の研究 | | | |
| 4回 | テーマ | 作品プレゼン 15回 | | 適宜、自学による振り返りと材料・道具の準備 | 180 |
| | 内容 | 絵本作品のプレゼン評価・講評・解説 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---------------------------------------|------|------|-------------|----|----------------------|--------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 造形実習Ⅱ(3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2674301 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Art practice 2 | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 堀川 仁彦 (非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L-A-216 | | | | | | オフィス アワー 木曜日 5時限目 | | | | |
| メールアドレス | hirokiyo@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | フィギュア制作 立体造形 型取り 制作上の課題の発見・解決力 基礎造形力の三要素 専門分野における基礎造形力 アカデミックスキル | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>テーマをもとにオリジナルキャラクターのデザインを考え、平面のイメージを立体化する。粘土やその他の素材で立体化した作品を型取りし、恒久的に設置できる異素材に転用した後、着色を施し作品化する。一連の作品化までの過程を通して考えたことをまとめて文章化し、作品とともに発表する。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 共通立体、3Dアート実習ⅠA・ⅠB、3Dアート実習ⅡA・ⅡB | | | |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p> | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | コンセプトを立て独自のキャラクターを考案することができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 平面のイメージを立体化することができる技能を習得する | | | | | | | | | |
| | ③ | 型取りの正しい技法をマスターし、恒久的な形に展開することができるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | 自分の作品についてプレゼンできるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 60 | 30 | 0 | 100 | | |
| 教科書 | 適宜支持する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 適宜支持する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---|
| 予備知識 | |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | <p>1.コンセプトを持ってオリジナルのキャラクターをデザインすること。デザインの段階でまず最初の評価を実施します。2.平面のイメージを立体化する 粘土の段階での完成度、独自性、創造性を評価します。3.粘土を型取りし、樹脂などの素材に置き換え、着色して仕上げる。作品を評価します。4.作品についてプレゼンをする。プレゼン資料、発表の様子、相互鑑賞の様子を総合的に評価します。</p> |

作業に適した服装を準備すること

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|--------------------|---|--------------|-------------|-------|
| 1回 | テーマ 内容 | オリエンテーション 実習の天まがな流れを理解するとともに、実習に必要な服装、道具等を準備する。 | 講義 | | 90 |
| 2回 | テーマ 内容 | キャラクター創作のポイントについて テーマを基に、オリジナルのキャラクターデザインを作るうえで注意するポイントについての解説を聞く。 | 講義 | | 90 |
| 3回 | テーマ 内容 | キャラクターデザイン実習1 テーマ、コンセプトを基にして、オリジナルのキャラクターのアイデアスケッチを描く。 | 実習 | | 180 |
| 4回 | テーマ 内容 | キャラクターデザイン実習2 アイデアスケッチから発想を広げ、彩色のイメージを加えたイメージ画を完成させる。 | 実習 | | 180 |
| 5回 | テーマ 内容 | 立体化する素材研究及び立体化するポイント 平面的イメージを立体化するうえで3面図の活用を図るとともに、自分の表現するものに適した素材を選択する。 | 実習 | | 90 |
| 6回 | テーマ 内容 | 立体原型制作1 3面図とアイデアスケッチを基に、心棒を制作する。 | 実習 | | 180 |
| 7回 | テーマ 内容 | 立体原型制作2 出来上がった心棒に粘土であら付けを施していく。 | 実習 | | 180 |
| 8回 | テーマ 内容 | 立体原型制作3 出来上がった心棒に粘土であら付けを施していく。 | 実習 | | 180 |
| 9回 | テーマ 内容 | 立体原型制作4 出来上がった心棒に粘土であら付けを施していく。 | 実習 | | 180 |
| 10回 | テーマ 内容 | 立体原型制作5 出来上がった心棒に粘土であら付けを施していく。 | 実習 | | 90 |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-----------------------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | 型取り技法について | | | 180 |
| | 内容 | 石膏雌型の作成法について学習する | | | |
| 12回 | テーマ | 作品の雌型作成 | | | 180 |
| | 内容 | 石膏雌型の作成法について学習する | | | |
| 13回 | テーマ | 作品の型取り1 | | | 180 |
| | 内容 | キャストイングの技法について学習する | | | |
| 14回 | テーマ | 作品の型取り2 作品割り出し | | | 180 |
| | 内容 | 作品の割り出しと修正の方法について学習する | | | |
| 15回 | テーマ | 作品プレゼンと自己評価 | | | 180 |
| | 内容 | 自分の作品について発表し、相互鑑賞をする。 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|----------------------------------|------|------|-------------|----|-------------------|------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 日本画実習ⅣA＊1（3美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2674601 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Japanese Painting ⅣA | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 中村 賢次 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A416 | | | | | | オフィス アワー 水曜昼休み | | | | |
| メールアドレス | ken1214@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 客観的造形思考 技術・技法 自己管理と表現 社会における役割 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 制作の第一歩である感動という主観性を大切にしながら、作品の内容、テーマ、画材の取り扱いを含めた技術・技法など全プロセスに渡って客観的な制作プランを組み立て、より高度な作品の完成を目指す。更に日本画制作において現代に生きる者として広い視野に立ち、独創的な表現を目指す。制作の進捗状況(写生、小下絵、草稿、本画)に応じて講評、合評を行なう。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画) | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 制作を通じて自己判断能力を高めることができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 表現するために必要な自身の技術・技法について理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 大作を制作するために必要な全プロセスを理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | 現代社会における日本画と自己の役割を認識できるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB

予備知識

実務経験
のある
教員評価明細
基準

日常的な質疑により理解度を確認する。一作品ごとに合評・採点を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---------------|--------------|---------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 十分な写生を繰り返す | 360 |
| | 内容 | 写生及び150号パネル製作 | | | |
| 2回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 感覚的なイメージを具現化する | 360 |
| | 内容 | 小下図・草稿制作及び裏打ち | | | |
| 3回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 360 |
| | 内容 | 墨入れ・地塗り | | | |
| 4回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 6回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 7回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 8回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 9回 | テーマ | 自由制作・合評 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 360 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |
| 10回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 十分な写生を繰り返す | 360 |
| | 内容 | 写生及び50号パネル製作 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-------------|--------------|---------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 感覚的なイメージを具現化する | 360 |
| | 内容 | 小下図・草稿及び裏打ち | | | |
| 12回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 360 |
| | 内容 | 墨入れ・地塗り | | | |
| 13回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 14回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 15回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 16回 | テーマ | 自由制作・合評 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 360 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|----------------------------------|------|------|-------------|----|-------------------|------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 日本画実習ⅣB (3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2674701 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Japanese Painting IVB | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 佐藤 和歌子 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A416 | | | | | | オフィス アワー 水曜昼休み | | | | |
| メールアドレス | w-sato@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 日本画,岩絵具 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 制作の第一歩である感動という主観性を大切にしながら、作品の内容、テーマ、画材の取り扱いを含めた技術・技法など全プロセスに渡って客観的な制作プランを組み立て、より高度な作品の完成を目指す。更に日本画制作において現代に生きる者として広い視野に立ち、独創的な表現を目指す。制作の進捗状況(写生、子下絵、草稿、本画)に応じて講評、合評を行なう。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本画実習Ⅰ～Ⅳ、特別演習(日本画)、学外演習(日本画) | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目/教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像)表現を含む。 | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 制作を通じて自己判断能力を高めることができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 表現するために必要な自身の技術・技法について理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 大作を制作するために必要な全プロセスを理解できるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | 現代社会における日本画と自己の役割を認識できるようになる | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 出席及び制作姿勢10点 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB、特別演習(日本画)

予備知識

実務経験
のある
教員評価明細
基準

日常的な質疑により理解度を確認する。一作品ごとに合評・採点を行う。

前回の実習における自己の反省点に基づいて、その解決に向けての画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|---------------|--------------|---------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 十分な写生を繰り返す | 360 |
| | 内容 | 写生及び150号パネル製作 | | | |
| 2回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 感覚的なイメージを具現化する | 360 |
| | 内容 | 小下図・草稿制作及び裏打ち | | | |
| 3回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 360 |
| | 内容 | 墨入れ・地塗り | | | |
| 4回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 6回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 7回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 8回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 9回 | テーマ | 自由制作・合評 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 360 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |
| 10回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 十分な写生を繰り返す | 360 |
| | 内容 | 写生及び50号パネル製作 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|-------------|--------------|---------------------|--------|
| 11回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 感覚的なイメージを具現化する | 360 |
| | 内容 | 小下図・草稿及び裏打ち | | | |
| 12回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | カタチに対して十分な検討を行なう | 360 |
| | 内容 | 墨入れ・地塗り | | | |
| 13回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 14回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 15回 | テーマ | 自由制作 | 実習 | 画材や技法について十分に検討する | 360 |
| | 内容 | 本紙制作 | | | |
| 16回 | テーマ | 自由制作・合評 | 講義 | 客観的に自身の作品を見て課題を検討する | 360 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---------------------------|------|------|-------------|------|--------------------|---|------|------|------|
| 科目名 | 特別演習（日本画）（3美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2674801 | 区分 | 選択 | |
| 英文表記 | Special Seminar (Japanese Painting) | | | | 開講期 | 後期集中 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 中村 賢次 佐藤 和歌子 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A416 A414 | | | | | | オフィス アワー 火曜・昼休み | | | | |
| メールアドレス | ken1214@@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 絹本 技術・技法 古典絵画 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>明治以降、日本は西洋文化の影響を大きく受け、生活様式や文化も大きく変化してきた。日本画の世界においても同様で、現代では額装形態の作品が主流となり、それに伴ない、古来より用いられてきた材料である絵絹の使用が減ってきた。しかしこの絹に描かれた絵画は紙とは異なった美しさを持ち、更にその技術・技法も違うことを踏まえ、日本画の材料研究を行なう。制作の進捗状況(写生、子下絵、草稿、本画)に応じて講評、合評を行なう。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB、日本画実習ⅣA、日本画実習ⅣB、学外演習(日本画) | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 古典技法材料である絹本について理解することができる | | | | | | | | | |
| | ② | 絹本制作における技術・技法を身に付けることができる | | | | | | | | | |
| | ③ | 日本の古典絵画への理解を深めることができる | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 予備知識 | 日本美術史、日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 日常的に質疑を行い理解度を確認する。合評による作品評価。 |

絵絹は非常にデリケートな材料であるため、授業前にその日に実施可能な作業工程を十分に検討し、それに必要な画材の準備をする。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-----------------|--------------|-----------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 花鳥 | 講義 | 絹による古典技法の理解を深める | 90 |
| | 内容 | 絹本に於ける伝統的な画材と技法 | | | |
| 2回 | テーマ | 花鳥 | 講義 | 絹による古典技法の理解を深める | 90 |
| | 内容 | 絹本に於ける伝統的な表現様式 | | | |
| 3回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | モチーフの持つ特色を観察・考察する | 90 |
| | 内容 | 各自用意した花の写生 | | | |
| 4回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 日本画における空間表現について理解を深める | 90 |
| | 内容 | 小下図の制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 日本画における空間表現について理解を深める | 90 |
| | 内容 | 原寸大の草稿制作 | | | |
| 6回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 日本画における空間表現について理解を深める | 90 |
| | 内容 | 原寸大の草稿制作 | | | |
| 7回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 絹と墨について十分な理解をする | 90 |
| | 内容 | 草稿の転写と墨入れ | | | |
| 8回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 絹と胡粉について十分な理解をする | 90 |
| | 内容 | 絹に胡粉を塗る(下塗り) | | | |
| 9回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 日本画における空間表現について理解を深める | 90 |
| | 内容 | 空間を意識した彩裏色 | | | |
| 10回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 画材の使用方法・表現について見当する | 90 |
| | 内容 | 制作 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-------|--------------|--------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 画材の使用方法・表現について見当する | 90 |
| | 内容 | 制作 | | | |
| 12回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 画材の使用方法・表現について見当する | 90 |
| | 内容 | 制作 | | | |
| 13回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 画材の使用方法・表現について見当する | 90 |
| | 内容 | 制作 | | | |
| 14回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 画材の使用方法・表現について見当する | 90 |
| | 内容 | 制作 | | | |
| 15回 | テーマ | 花鳥 | 実習 | 画材の使用方法・表現について見当する | 90 |
| | 内容 | 制作 | | | |
| 16回 | テーマ | 花鳥 | 講義 | 客観的に自身の作品を評価する | 90 |
| | 内容 | 合評・採点 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--------------------------------|------|------|-------------|------|-------------------|---|------|------|------|
| 科目名 | 学外演習（日本画）◎（3美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2674901 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | Off-site study (Japanese Painting) | | | | 開講期 | 後期集中 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 中村 賢次 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A416 | | | | | | オフィス アワー 水曜昼休み | | | | |
| メールアドレス | ken1214@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 美術館見学 レポート作成 美術史 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 九州内にある美術館・博物館等の文化施設、及び国又は県指定の重要文化財の見学・視察を行い、芸術や日本文化に接する機会を通して、個々の造形に於ける表現をより広めることを目指す。提出されたレポートに対し、個別に講評を行う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 日本画実習ⅠA、日本画実習ⅠB、日本画実習ⅡA、日本画実習ⅡB、日本画実習ⅢA、日本画実習ⅢB、特別演習（日本画） | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 専門領域の理解を深めることができるようになる | | | | | | | | | |
| | ② | 芸術全般、特に専門領域外の理解を深めることができるようになる | | | | | | | | | |
| | ③ | 鑑賞能力を高めることができるようになる | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法（配点） | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表（口頭・実技） | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 60 | 0 | 0 | 10 | 30 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------|---------------|
| 予備知識 | 日本美術史、西洋美術史 |
| 実務経験のある教員 | |
| 評価明細基準 | レポート及び出席による採点 |

毎回事前に見学・視察先の情報を入手し、それについての理解を深めた上で現地で現物に触れるように準備する

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------------|--------------|--------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 美術館・博物館見学 | 実習 | 見学予定の展覧会情報の確認とレポートの作成 | 450 |
| | 内容 | 熊本市現代美術館の見学 | | | |
| 2回 | テーマ | 美術館・博物館見学 | 実習 | 見学予定の展覧会情報の確認とレポートの作成 | 450 |
| | 内容 | 熊本県立美術館の見学 | | | |
| 3回 | テーマ | 美術館・博物館見学 | 実習 | 見学予定の展覧会情報の確認とレポートの作成 | 450 |
| | 内容 | 九州内の美術館の見学 | | | |
| 4回 | テーマ | 重要文化財視察 | 実習 | 見学予定の文化財についての情報確認とレポート作成 | 450 |
| | 内容 | 熊本県内の国宝・重要文化財の視察 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|------|------|-------------|----|----------------|---------------|------|------|------|
| 科目名 | 洋画実習ⅣA*2(3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2675201 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Oil Painting IV A | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 熊谷有展 柳田也寿志 永田和之(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸学3F | | | | | | オフィス アワー 金5 | | | | |
| メールアドレス | kumagae@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 自由制作 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 自身で課題を見つけての自由制作。自身のイメージを造形化させる。画材を使いこなす。このことを踏まえ、創造的な作品を生み出すキッカケを掴む。授業の中で適宜、作品講評会を行い作品上のアドバイスと評価を行う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 洋画実習ⅡA、洋画実習ⅡB | | | |
| 教職関連区分 | 【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。) | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 独自の絵画表現を試みることにより、個性(オリジナリティ)を理解することができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------|-------------------|
| 予備知識 | 洋画実習ⅢA |
| 実務経験のある教員 | |
| 評価明細基準 | 授業への積極的な参加と作品による。 |

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|-------------------------|--------------|--------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 制作 | 実技 | オリエンテーション、発想、デッサン、エスキース等 | 360 |
| | 内容 | 自由制作(イメージと技法) テーマ、構図の決定 | | | |
| 2回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 3回 | テーマ | // | // | 構図の決定 | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 4回 | テーマ | // | // | 制作 | 360 |
| | 内容 | 自由制作 | | | |
| 5回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 6回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 7回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 8回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 9回 | テーマ | // | // | | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 10回 | テーマ | // 講評 | 講評 | // 中間講評 | 360 |
| | 内容 | 中間講評 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------|--------------|-------------|-------|
| 11回 | テーマ | 制作 | 実技 | 制作 | 360 |
| | 内容 | 油彩による制作 | | | |
| 12回 | テーマ | 〃 | 〃 | 〃 | 360 |
| | 内容 | 〃 | | | |
| 13回 | テーマ | 〃 〃 | 〃 | 〃 | 360 |
| | 内容 | 〃 | | | |
| 14回 | テーマ | 〃 | 〃 | 〃 | 360 |
| | 内容 | 〃 | | | |
| 15回 | テーマ | 講評 | 〃 講評 | 〃 作品講評 | 360 |
| | 内容 | 作品講評 | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|------------------------|------|------|-------------|----|---------------------|---------|---------|------|------|------|
| 科目名 | 洋画実習ⅣB (3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2675301 | 区分 | 選択 | | |
| 英文表記 | Oil Painting ⅣB | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | | |
| 担当教員 | 熊谷有展 永田和之 (非常勤) | | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 芸学3F | | | | | | オフィス アワー 金曜日5時限目 | | | | | |
| メールアドレス | kumagae@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | | |
| キーワード | 洋画ⅣB | | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>洋画実習ⅣA(自由制作)をもう一步進めた高度な研究。この授業は、汎用的技能の論理的思考力、問題解決力と、態度・志向性の自己管理力の内容も含まれている。洋画に関する幅広い表現技法、用具の特性、また、油彩画の歴史についての理解を深める。授業の中で適宜、作品講評会を行い作品上のアドバイスと評価を行う。</p> | | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | | 洋画実習ⅢB | | | |
| 教職関連区分 | <p>【教員免許状取得のための必修・選択】…選択【科目区分】…教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(中学校及び高等学校 美術)【各科目に含めることが必要な事項】…絵画(映像メディア表現を含む。)</p> | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | | |
| | ① | 自己表現ができる | | | | | | | | | | |
| | ② | 今後の制作の原点となるものを探ることができる | | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 10 | 20 | 100 | | | |
| 教科書 | 特になし | | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 特になし | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|------------------|
| 予備知識 | 洋画実習ⅣAと連動する。 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 授業への積極的な参加と作品による |

画材の準備及び技術に関する検討を十分に行う

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|-----------|--------------|--|--------|
| 1回 | テーマ | 制作 | 実技 | オリエンテーション、発想、取材、デッサン、エスキース等 | 360 |
| | 内容 | テーマ、構図の決定 | | | |
| 2回 | テーマ | // | // | // | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 3回 | テーマ | // | // | 構図の決定 | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 4回 | テーマ | // | // | 作家研究による自由制作。各自、自由な発想・テーマに基づいて、よりプロセスを大切にしながら取り組む | 360 |
| | 内容 | 油彩による制作 | | | |
| 5回 | テーマ | // | // | // | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 6回 | テーマ | // | // | // | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 7回 | テーマ | // | // | // | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 8回 | テーマ | // | // | // | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 9回 | テーマ | // | // | // | 360 |
| | 内容 | // | | | |
| 10回 | テーマ | 講評 | // 講評 | // | 360 |
| | 内容 | 中間講評 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題 (予習・復習) | 時間 (分) |
|------------|------|---------|--------------|--------------|--------|
| 11回 | テーマ | 制作 | " | " | 360 |
| | 内容 | 油彩による制作 | | | |
| 12回 | テーマ | " | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 13回 | テーマ | " | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 14回 | テーマ | " | " | " | 360 |
| | 内容 | " | | | |
| 15回 | テーマ | 講評 | " | " | 360 |
| | 内容 | 作品講評 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------------------------------|-----------------------------------|------|------|-----------------|------|------------------|--|------|------|------|
| 科目名 | 学外演習（洋画）◎（3美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2675502 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | Off-site study(Oilpaintng) | | | | 開講期 | 後期集中 | 開講形態 | ブレンド授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 下城賢一 熊谷有展 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | L号館A201 | | | | | | オフィス アワー 後期集中 | | | | |
| メールアドレス | kumagae@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 美術展見学 見学ノート 美術史 絵画史 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 見学する展覧会の下調べ。展示してある作品と作家の時代や歴史等の予習。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 洋画実習ⅠB、洋画実習ⅡA、洋画実習ⅡB、洋画実習ⅢA、洋画実習ⅢB、洋画実習ⅣA、洋画実習ⅣB | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 見学レポートにおいて展覧会や作家・作品の魅力を説明することができる | | | | | | | | | |
| | ② | 鑑賞力とプレゼンテーションを強化することができる | | | | | | | | | |
| | ③ | 美術史を理解している | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法 (配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポート フォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 60 | 20 | 0 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 展覧会カタログ | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------|-------------------|
| 予備知識 | 日本美術史、西洋美術史、西洋画特論 |
| 実務経験のある教員 | |
| 評価明細基準 | 鑑賞力、文章力、積極的な授業参加 |

レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|--------------------|--------------------------|----------------|------------------------|-------|
| 1回 | テーマ 内容 | 鑑賞 国内外の美術展見学 | 見学／講義 | 該当する展覧会・作家や作品について調べておく | 任意 |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------------------------------|------|------|-------------|----|-----------------------|------------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 彫刻実習ⅣA＊3（3美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2675801 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Sculpture trainingⅣA | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 勝野 眞言（実務経験） | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A212 | | | | | | オフィス アワー 火曜日16時30分 | | | | |
| メールアドレス | katsuno@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 彫刻 人体 観察 粘土 専門分野における基礎造形力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 彫刻家としての造形活動・経験から多面的な視野についての学びを提供する。主として粘土を用い人体をモチーフとして人物塑造制作を行う。その中で、可塑性や固まりなどの材料の性質を理解し、観察を通して人の形、量を構成する動きや構造などの造形要素を考察し、彫刻の諸要素の関連を探っていく。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを明確にし、そのテーマに向かって制作することが自己の確認、そして新たな自己への巡り合い、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B、4A／基礎デッサン1、2 | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 粘土による制作を通して観察力を深めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 粘土素材の特性(量の把握と移動)を理解し、制作に活かすことができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | プリント | | | | | | | | | | |
| 参考書 | プリント | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | <p>モチーフを人物とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。</p> |
| 実務経験のある 教員 | <p>勝野 眞言</p> |
| 評価明細 基準 | <p>出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。</p> |

作業着着用。制作前には空調管理を行うこと。各自制作終了後には整理整頓を行うこと。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------------|----------------|------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 時間をかけた観察により対象の特性を理解する | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅰ 素描(デッサン) | | | |
| 2回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 短時間での対象の特性理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅱ 素描(クロッキー) | | | |
| 3回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作意図の確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅲ ポーズの決定 | | | |
| 4回 | テーマ | 対象の構造の理解 | 対面授業 実習 | 芯棒による量感、動勢、構造の理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅳ 芯棒制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅴ 粘土付け | | | |
| 6回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作の狙いの確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅵ 中間講評会 | | | |
| 7回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅶ 作り込み | | | |
| 8回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 造形原理の生かし方とその構築について | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅷ 彫刻の構築 | | | |
| 9回 | テーマ | 作品の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作の狙いの確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅸ 講評会 | | | |
| 10回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅹ 作り込み | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--------------|----------------|---------------|-------|
| 11回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 12回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 13回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 14回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 15回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 16回 | テーマ | 作品の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 到達度ポートフォリオの作成 | 180 |
| | 内容 | 講評会 制作の狙いの確認 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-----------------------------------|------|------|-------------|----|-----------------------|------------------------------------|------|------|------|
| 科目名 | 彫刻実習ⅣB*3(3美) | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2675901 | 区分 | 選必 | |
| 英文表記 | Sculpture trainingⅣB | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 清島浩徳(実務経験) 勝野真言(非常勤) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A212 | | | | | | オフィス アワー 火曜日16時30分 | | | | |
| メールアドレス | katsuno@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 彫刻 人体 観察 粘土 専門分野における基礎造形力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 彫刻家としての造形活動・経験から多面的な視野についての学びを提供する。主として粘土を用い人体をモチーフとして人物塑造制作を行う。その中で、可塑性や固まりなどの材料の性質を理解し、観察を通して人の形、量を構成する動きや構造などの造形要素を考察し、彫刻の諸要素の関連を探っていく。授業を進めるなかで、学生各自が制作にあたってのテーマを明確にし、そのテーマに向かって制作することが自己の確認、そして新たな自己への巡り合い、お互いの切磋琢磨の場となるよう授業を組み立て展開する。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B、4A/基礎デッサン1、2 | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 粘土による制作を通して観察力を深めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 粘土素材の特性(量の把握と移動)を理解し、制作に活かすことができる | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 60 | 10 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | プリント | | | | | | | | | | |
| 参考書 | プリント | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | <p>モチーフを人物とする。対象をしっかり観察し、素描により個々の制作意図を固め、粘土による塑造制作へと展開して行く。その中で基本的な造形力を確認して行く。</p> |
| 実務経験のある 教員 | <p>勝野 眞言</p> |
| 評価明細 基準 | <p>出席・課題の取り組み・作品の到達度などを考慮し、総合的に評価する。</p> |

作業着着用。制作前には空調管理を行うこと。各自制作終了後には整理整頓を行うこと。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|---------------|----------------|------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 時間をかけた観察により対象の特性を理解する | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅰ 素描(デッサン) | | | |
| 2回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 短時間での対象の特性理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅱ 素描(クロッキー) | | | |
| 3回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作意図の確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅲ ポーズの決定 | | | |
| 4回 | テーマ | 対象の構造の理解 | 対面授業 実習 | 芯棒による量感、動勢、構造の理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅳ 芯棒制作 | | | |
| 5回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅴ 粘土付け | | | |
| 6回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作の狙いの確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅵ 中間講評会 | | | |
| 7回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅶ 作り込み | | | |
| 8回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 造形原理の生かし方とその構築について | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅷ 彫刻の構築 | | | |
| 9回 | テーマ | 作品の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 制作の狙いの確認 | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅸ 講評会 | | | |
| 10回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 量感、動勢、構造の理解及び細部へのアプローチ | 180 |
| | 内容 | 制作Ⅹ 作り込み | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--------------|----------------|---------------|-------|
| 11回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 12回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 13回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 14回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 15回 | テーマ | 対象の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 同上 | 180 |
| | 内容 | 同上 | | | |
| 16回 | テーマ | 作品の客観的な理解 | 対面授業 実習 | 到達度ポートフォリオの作成 | 180 |
| | 内容 | 講評会 制作の狙いの確認 | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|----------------------------|------|------|-------------|-------------------|---------|-----------------------|------|------|------|
| 科目名 | 鑄造実習B(3美) (鑄造実習*4(1美)) | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2676101 | 区分 | 選択 | | |
| 英文表記 | Casting Practice B | | | 開講期 | 後期集中 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 陶山 伸一 (非常勤・実務経験) | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川実習室107 | | | | | オフィス アワー 授業の前後 | | | | | |
| メールアドレス | katsuno@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 技法 窯 溶解 蝋 ブロンズ | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 蝋型鑄造に対する理解を深め、実習によって蝋の合わせ方、流し方、窯の組み方、火入れ、焼成、合金の割合、金属溶解、鑄込み、仕上げなどについて、確実に安全な方法を身につける。本授業を通して汎用的造形力・表現力を体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 蝋型鑄造に対する理解を深めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 危険な工程を伴うため、安全に作業を行うことができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 60 | 10 | 20 | 100 | | |
| 教科書 | プリント | | | | | | | | | | |
| 参考書 | プリント | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|------------------------------|
| 予備知識 | 彫刻実習1A、1B、2A、2B、3A、3B |
| 実務経験のある 教員 | 陶山 伸一 |
| 評価明細 基準 | 出席・課題の取り組み・到達度を考慮し、総合的に評価する。 |

実習中に適宜指示する。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題(予習・復習) | 時間(分) |
|------------|------|--------------------------------|----------------|---------------|-------|
| 1回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 講義で工程の流れを知る | 80 |
| | 内容 | 蠟型鑄造法とは | | | |
| 2回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 蠟の特性を知る | 270 |
| | 内容 | 蠟原型制作 | | | |
| 3回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 工程のポイントを学ぶ | 450 |
| | 内容 | 窯詰め、焼成 火入れ、鑄型の焼成をする | | | |
| 4回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 工程のポイントを学ぶ | 450 |
| | 内容 | 鑄込み | | | |
| 5回 | テーマ | 鑄造技法 | 対面授業 実習 | 到達度ポートフォリオの作成 | 90 |
| | 内容 | 仕上げ 型を割り、湯道、釘を抜く 酸洗い、着色、色止めをする | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|-------------------------|------|------|-------------|------|-----------------------|-----------|------|------|------|
| 科目名 | 学外演習（彫刻）◎（3美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2676303 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | extracurricular exercise | | | | 開講期 | 後期集中 | 開講形態 | 対面授業 | 単位数 | 2 | |
| 担当教員 | 清島浩徳（実務経験） | | | | | | | | | | |
| 研究室 | A212 | | | | | | オフィス アワー 火曜日16時30分 | | | | |
| メールアドレス | katsuno@art.sojo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 地域 美術館 工房 文化 史跡 学外活動の反映 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 彫刻家としての造形活動・経験から多面的な視野についての学びを提供する。地域にある美術館や工房、あるいは文化的な施設や史跡等を視察し、ジャンルを越えて幅広く芸術や作家に触れることによって、制作者としての資質を高めることを目指す。実施内容は、大学が企画した研修等に積極的に参加するか、個人的に視察や研修を行なうこととし、いずれも視察ノートを作成し提出する。本授業を通して汎用的観察力・コミュニケーションスキルを体得し、人間社会の構築や発展に持続的に貢献できる能力を身に付けることで、幅広い視野を涵養し積極的かつ柔軟に取り組む姿勢を養う。 | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 彫刻実習4A、4B | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 幅広く芸術に親しみ、理解を深めることができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 視察で得た見識を文章にまとめることができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | | | | |
| | ④ | | | | | | | | | | |
| | ⑤ | | | | | | | | | | |
| | ⑥ | | | | | | | | | | |
| 評価方法（配点） | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表（口頭・実技） | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 50 | 20 | 0 | 20 | 10 | 100 | | |
| 教科書 | プリント | | | | | | | | | | |
| 参考書 | プリント | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|-------------------------------|
| 予備知識 | 彫刻実習1A,1B,2A,2B,3A |
| 実務経験のある 教員 | 勝野 眞言 |
| 評価明細 基準 | 視察の回数、プレゼンテーション、視察ノートの内容で評価する |

彫刻芸術に対する深い理解者となり、高度な資質を備えた表現者となるために、論理、素材、作家、制作上での技法、コンセプチュアルな表現などの中から興味深いテーマを選び、見学する美術館などを導き出す。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|----------------|------------------|-------------|-------|
| 1回 | テーマ | オリエンテーション | 対面授業 講義 | 授業内容を理解する | 90分 |
| | 内容 | 導入 | | | |
| 2回 | テーマ | 活動と研究 | 対面授業 学外研修 | 活動と研究のまとめ | 270分 |
| | 内容 | 学外視察Ⅰ(美術館など) | | | |
| 3回 | テーマ | 活動と研究 | 対面授業 学外研修 | 活動と研究のまとめ | 450分 |
| | 内容 | 学外視察Ⅱ(美術館など) | | | |
| 4回 | テーマ | 活動と研究 | 対面授業 学外研修 | 活動と研究のまとめ | 450分 |
| | 内容 | 学外視察Ⅲ(美術館など) | | | |
| 5回 | テーマ | プレゼンテーション | 対面授業 授業 | 活動と研究のまとめ | 90分 |
| | 内容 | 学外視察のプレゼンテーション | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|------|------|-------------|----|-------------------|-------------|------|------|------|
| 科目名 | 芸術文化演習Ⅳ◎（４美） | | | | 開講学年 | 3 | 講義コード | 2676601 | 区分 | 必修 | |
| 英文表記 | Art & Culture Studies : Practice IV | | | | 開講期 | 後期 | 開講形態 | 対面 | 単位数 | 4 | |
| 担当教員 | 関根 浩子 永田 郁 | | | | | | | | | | |
| 研究室 | 硯川棟103 | | | | | | オフィス アワー 金曜放課後 | | | | |
| メールアドレス | seki1963@art.sajo-u.ac.jp | | | | | | | | | | |
| キーワード | 論理的思考力 論理的判断力 論理的伝達力 アカデミックスキル データリテラシー 学外活動の反映力 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>課題発見力や解決能力を身に付けて論文提出を目指す芸術文化コースの学生にとって必要不可欠な科目である。本科目は、芸術文化演習の最後の科目であり、卒業研究(論文)提出に向けて、研究課題の設定や研究の方法、論文の構成や書き方など、卒業研究(論文)の遂行に必要な一連の事柄(作品やもの見方や考え方を含む)の最終指導を行う。「芸術文化演習Ⅳ」でも、各学生の研究テーマに関する学術論文を数本読みながら、論文や論文の書き方についてさらに知識を深めた後、後半は学生の論文の構成指導・添削指導も開始して完成させ、その一連の作業の中で汎用的解決能力を養う。フィードバックは、プレゼンに対する講評や、論文の赤入れ添削、構成の組み換え等の指導の形で行う。</p> | | | | | | | 関連科目 | | | |
| | | | | | | | | 芸術文化コースの全科目 | | | |
| 教職関連区分 | | | | | | | | 建築学科のみ | 建築総合 | 建築計画 | 建築構造 |
| | | | | | | | | 学修・教育目標 | | | |
| JABEE記号 | 学生の到達度目標 | | | | | | | | | | |
| | ① | 個人、または他者との討議を通じて、物事について論理的・多面的に思考することができる。 | | | | | | | | | |
| | ② | 論理的に正しい結論を導き出すことができる。 | | | | | | | | | |
| | ③ | 思考の結果を、文章または口頭で、筋道を立てて他者に伝達することができる。 | | | | | | | | | |
| | ④ | 学術レポートの書き方やプレゼンテーションの技法を理解し、実践することができる。 | | | | | | | | | |
| | ⑤ | データを理論的・多面的に分析・考察し、適切な表現方法で他者に説明できる。 | | | | | | | | | |
| | ⑥ | 専門領域に関する学外での活動を体験し、自身の論文に反映させることができる。 | | | | | | | | | |
| 評価方法(配点) | 中間試験 | 定期試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | | |
| | 0 | 0 | 0 | 50 | 25 | 0 | 10 | 15 | 100 | | |
| 教科書 | 授業の中で個別に指示する | | | | | | | | | | |
| 参考書 | 授業の中で個別に指示する | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 予備知識 | テーマに関する深い知識 |
| 実務経験のある 教員 | |
| 評価明細 基準 | 平常の討議・口頭発表の内容、提出された小論文もしくはレポート、出席状況、ポートフォリオによって総合的に評価する。 |

受講生各自の自主的、積極的な取り組みが必要である。また、研究内容の口頭発表、小論文の提出は必須である。レポート等の提出物のコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなす。

学修上の
注意
(SBOs)

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-------------------|--------------|------------------------------------|-------|
| 1回 | テーマ | 概説 | 対面 | 科目のガイダンス | 90 |
| | 内容 | オリエンテーション1 | | | |
| 2回 | テーマ | 進捗状況報告 | 対面 | 研究の進捗状況報告 | 90 |
| | 内容 | オリエンテーション2 | | | |
| 3回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 4回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 5回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 6回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ文・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 7回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 8回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 9回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文・文献検索・取寄せ・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 10回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|-------------------|--------------|-----------------------------------|-------|
| 11回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 12回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 13回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 14回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 15回 | テーマ | 論文講読 | 対面 | 論文内容の整理・問題点抽出(復習)と論文取寄せ・文献検索・作品調査 | 180 |
| | 内容 | 研究テーマに関する論文・単行書講読 | | | |
| 16回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 研究のP.P.等を使用した口頭発表準備 | 180 |
| | 内容 | 学生による研究発表 | | | |
| 17回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 研究のP.P.等を使用した口頭発表準備 | 180 |
| | 内容 | 学生による研究発表 | | | |
| 18回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 研究のP.P.等を使用した口頭発表準備 | 180 |
| | 内容 | 学生による研究発表 | | | |
| 19回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 研究のP.P.等を使用した口頭発表準備 | 180 |
| | 内容 | 学生による研究発表 | | | |
| 20回 | テーマ | 口頭発表 | 対面 | 研究のP.P.等を使用した口頭発表準備 | 180 |
| | 内容 | 学生による研究発表 | | | |

授業計画

| 回数 (日付) | 授業内容 | | 開講形態 授業形態 | 学習課題（予習・復習） | 時間（分） |
|------------|------|------------|--------------|------------------|-------|
| 21回 | テーマ | 小論文執筆 | 対面 | 論文執筆 | 180 |
| | 内容 | 小論文執筆・添削指導 | | | |
| 22回 | テーマ | 小論文執筆 | 対面 | 論文執筆・修正(予習・復習) | 180 |
| | 内容 | 小論文執筆・添削指導 | | | |
| 23回 | テーマ | 小論文執筆 | 対面 | 論文執筆・修正(予習・復習) | 180 |
| | 内容 | 小論文執筆・添削指導 | | | |
| 24回 | テーマ | 小論文執筆 | 対面 | 論文執筆・修正(予習・復習) | 180 |
| | 内容 | 小論文執筆・添削指導 | | | |
| 25回 | テーマ | 小論文執筆 | 対面 | 論文執筆・修正(予習・復習) | 180 |
| | 内容 | 小論文執筆・添削指導 | | | |
| 26回 | テーマ | 小論文執筆 | 対面 | 論文執筆指導(添削指導を含む) | 180 |
| | 内容 | 小論文執筆・添削指導 | | | |
| 27回 | テーマ | 小論文執筆 | 対面 | 論文執筆指導(添削指導を含む) | 180 |
| | 内容 | 小論文執筆・添削指導 | | | |
| 28回 | テーマ | 小論文執筆 | 対面 | 論文執筆指導(添削指導を含む) | 180 |
| | 内容 | 小論文執筆・添削指導 | | | |
| 29回 | テーマ | 小論文執筆 | 対面 | 論文執筆指導(添削指導を含む) | 180 |
| | 内容 | 小論文執筆・添削指導 | | | |
| 30回 | テーマ | 総括 | 対面 | 半期の総括と各学生への今後の指導 | 180 |
| | 内容 | 研究総括・小論文提出 | | | |